

令和 6 年度

江東区長期計画区民アンケート調査

報 告 書

令和 7 年 3 月



スポーツと人情が熱いまち

江東区

目 次

I. 調査の概要	1
II. サンプル（調査回答者）特性	4
III. 江東区長期計画における成果指標	8
IV. 調査結果	29
【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】	29
【地球温暖化対策と環境保全】	38
【持続可能な資源循環型地域社会の形成】	41
【みんなで取り組む子育て家庭への支援】	44
【一人一人に向き合う学校教育の充実】	51
【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】	52
【次代を担う青少年の健全育成の推進】	56
【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】	62
【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】	66
【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】	73
【生涯にわたり学習できる環境の充実】	82
【スポーツを楽しめる環境の充実】	88
【文化・歴史の継承と観光振興】	90
【切れ目のない支援による母子保健の充実】	95
【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】	96
【感染症対策と生活衛生の確保】	107
【高齢者支援と活躍の推進】	110
【障害者支援と共生社会の実現】	115
【地域福祉と生活支援の充実】	119
【計画的なまちづくりの推進】	128
【良好な住宅の形成と住環境の向上】	134
【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】	136
【災害に強い都市の形成】	140
【地域防災力の強化】	144
【犯罪のないまちづくり】	149
資料：調査票の見本	157

I. 調査の概要

・ 調査の目的

本調査は令和2年度から11年度までを計画期間とする「江東区長期計画」において、各施策に設定する施策実現に関する指標のうち、区民の意識や生活実態に基づくものについて、その現状値を把握することを目的として実施した。

・ 調査の方法

- ① 調査対象 区内在住の満18歳以上の人（令和6年6月1日時点での満年齢）
- ② 対象者数 3,000人
- ③ 抽出方法 住民基本台帳（令和6年6月1日現在）から無作為抽出
- ④ 調査方法 郵送配布、郵送回収及びインターネット（電子申請）による回収
- ⑤ 調査期間 令和6年6月21日送付、7月11日締切

・ 調査項目

- ・ みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現
- ・ 地球温暖化対策と環境保全
- ・ 持続可能な資源循環型地域社会の形成
- ・ みんなで取り組む子育て家庭への支援
- ・ 一人一人に向き合う学校教育の充実
- ・ こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり
- ・ 次代を担う青少年の健全育成の推進
- ・ 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成
- ・ 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化
- ・ 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現
- ・ 生涯にわたり学習できる環境の充実
- ・ スポーツを楽しめる環境の充実
- ・ 文化・歴史の継承と観光振興
- ・ 切れ目のない支援による母子保健の充実
- ・ 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実
- ・ 感染症対策と生活衛生の確保
- ・ 高齢者支援と活躍の推進
- ・ 障害者支援と共生社会の実現
- ・ 地域福祉と生活支援の充実
- ・ 計画的なまちづくりの推進
- ・ 良好な住宅の形成と住環境の向上
- ・ 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備
- ・ 災害に強い都市の形成
- ・ 地域防災力の強化
- ・ 犯罪のないまちづくり

・ 回収結果

- ① 標本数 3,000票
- ② 有効回答数 1,246票（インターネット回答606票含む）
- ③ 有効回収率 41.5%

・ 報告書の見方

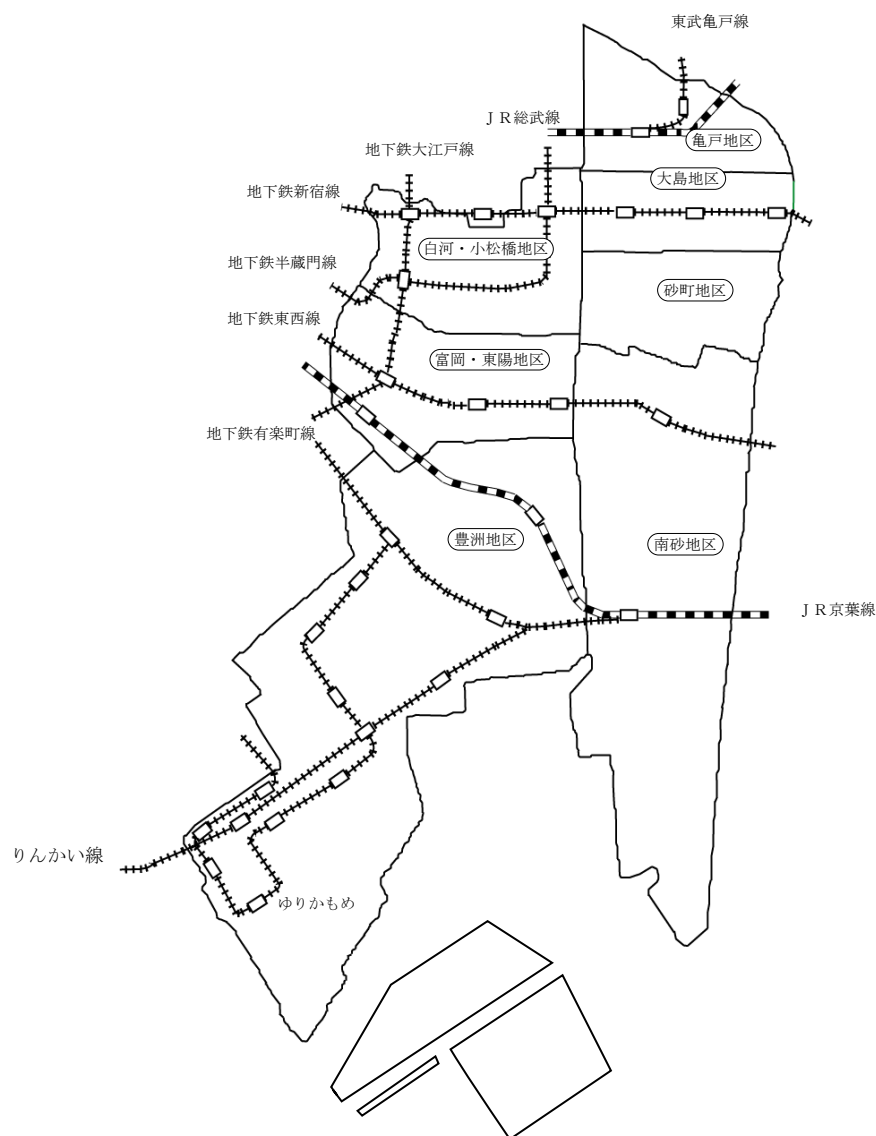
① 集計について

比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、比率の合計が100.0%にならない場合がある。

② 設問ごとの集計の基数

全員が回答すべき設問では、1,246となるが、回答者が限定される場合は、この数を下回る。なお、無回答・無効回答は基数から除いて算出している。

図表 I - 1 地区区分図



図表 I - 2 地区・町丁目対応表

地 区	該 当 町 丁 目
白 河	清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋
小 松 橋	千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利
富 岡	佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島
東 陽	木場、東陽、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番)、新砂 1 丁目 1 番、海の森
豊 洲	塩浜、枝川、豊洲、東雲、有明、辰巳、潮見、青海
亀 戸	亀戸
大 島	大島
砂 町	北砂、南砂 1 丁目・5 丁目、南砂 2 丁目 (24 番～34 番)、東砂 1 丁目～5 丁目
南 砂	東砂 6 丁目～8 丁目、南砂 2 丁目 (1 番 1 号～5 号・5 番～7 番・24 番～34 番を除く)・3・4・6・7 丁目、新砂 1 丁目 (1 番を除く)・2・3 丁目、新木場、夢の島、若洲

- ・ 標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下表のとおりである。標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、①比率算出の基数（n）、②回答比率（p）によって異なる。

標本誤差=±2
$$\sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(100-p)}{n}}$$

N=母集団
n=回収数
p=回答率

図表 I－3 誤差率

回答比率 (p) (n)	90％または 10％程度	80％または 20％程度	70％または 30％程度	60％または 40％程度	50％程度
1,246	1.70%	2.26%	2.59%	2.77%	2.83%
1,100	1.81%	2.41%	2.76%	2.95%	3.01%
1,000	1.90%	2.53%	2.90%	3.10%	3.16%
500	2.68%	3.58%	4.10%	4.38%	4.47%
300	3.46%	4.62%	5.29%	5.66%	5.77%
100	6.00%	8.00%	9.16%	9.80%	10.00%

※母集団は令和6年6月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：462,985人）

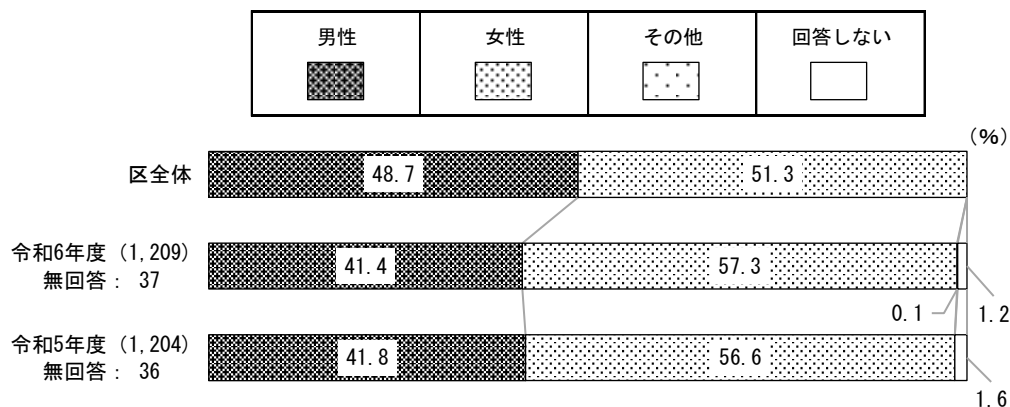
上表は、各設問における、各選択肢の回答率に応じた標本誤差の大きさを表している。本調査の場合は、回収数が1,246サンプルであったため、ある設問Aの選択肢aの回答率が50％であった場合（誤差が最も大きくなる場合）でも、その結果の誤差は±2.83％、すなわち、母集団（全区民）の回答率は47.17％～52.83％の範囲内に収まっていることを示している。

Ⅱ. サンプル（調査回答者）特性

F 1 性別

- 区全体では、男性、女性は概ね同じ割合であるが、回答者の性別では女性の割合が男性より15.9ポイント高くなっている。

図表Ⅱ－１ 性別



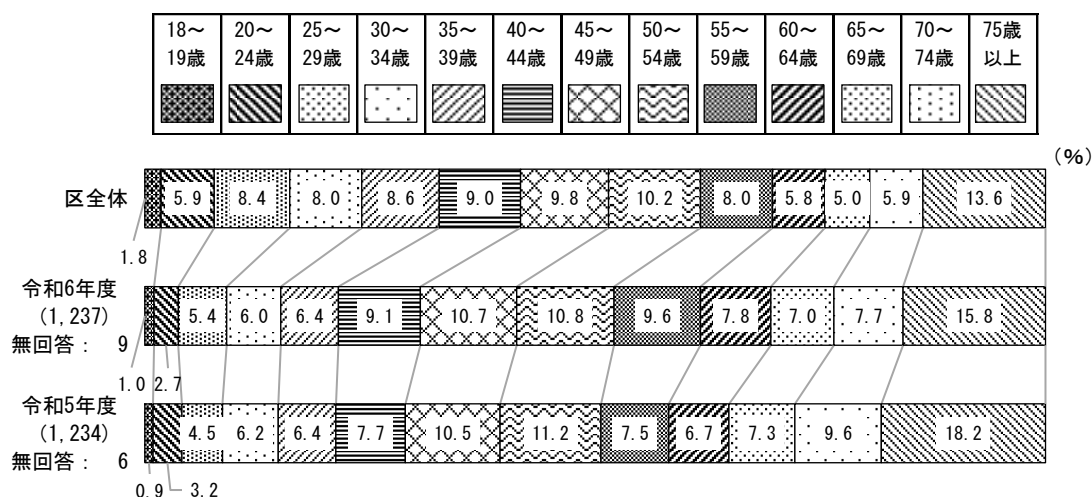
※ 区全体は令和6年6月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：462,985人）

※ 「回答しない」は令和5年度から追加された選択肢

F 2 年齢

- 年齢別では、75歳以上が15.8%で最も高く、70歳以上の回答者は全体の23.5%となっている。年代別でみると、10歳代は1.0%、20歳代は8.1%、30歳代は12.4%、40歳代は19.8%、50歳代は20.4%、60歳代は14.8%となっている。

図表Ⅱ－２ 年齢

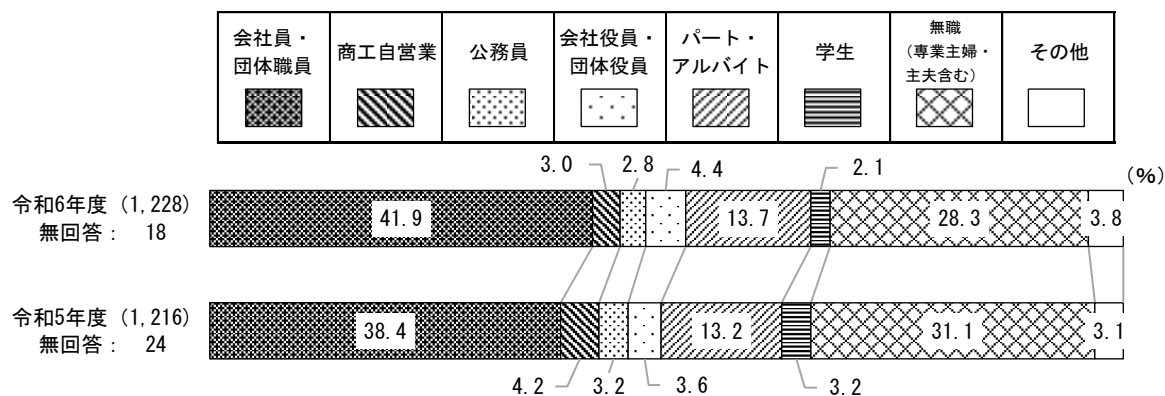


※ 区全体は令和6年6月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：462,985人）

F 3 職業

- ・職業別では、会社員・団体職員が41.9%で最も高く、次いで無職（専業主婦・主夫含む）が28.3%となっている。

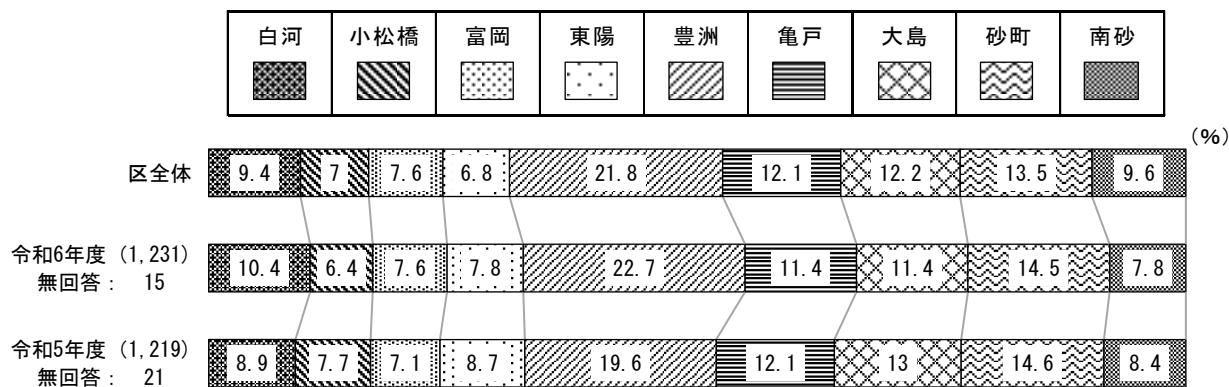
図表Ⅱ－3 職業



F 4 居住地区

- ・居住地区別では、豊洲地区が22.7%で最も高く、次いで砂町地区が14.5%となっている。

図表Ⅱ－4 居住地区

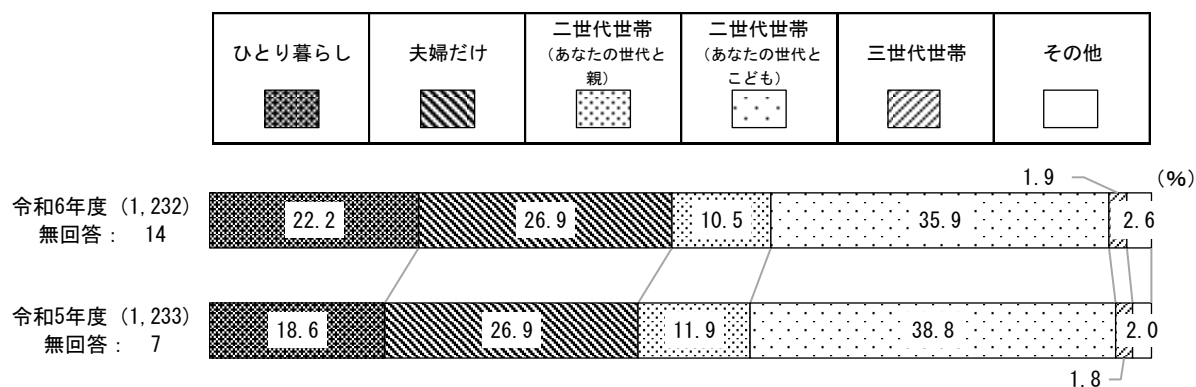


※ 区全体は令和6年6月1日時点の住民基本台帳上の満18歳以上（人口：462,985人）

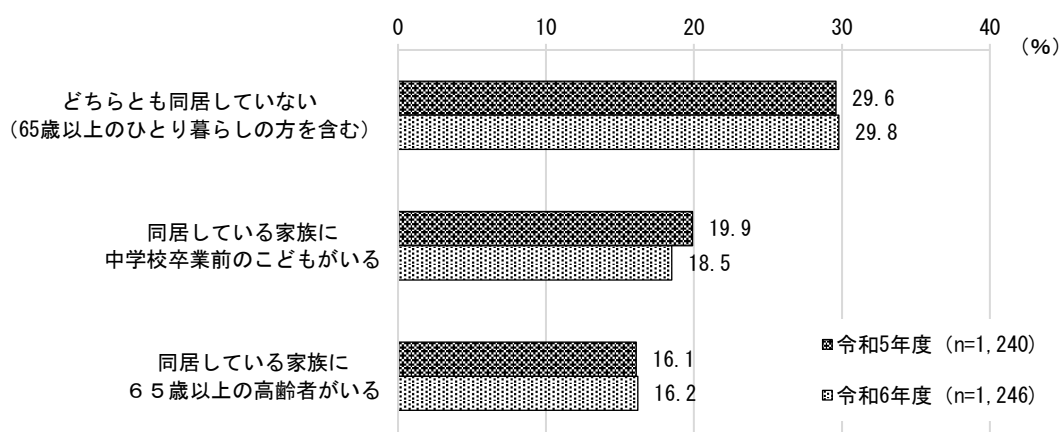
F 5 世帯の構成

- 世帯の構成別では、二世帯世帯（あなたの世代とこども）が35.9%で最も高く、次いで夫婦だけが26.9%となっている。また、家族に中学校卒業前のこどもがいる回答者が18.5%、家族に65歳以上の高齢者がいる回答者が16.2%となっている。

図表Ⅱ－5 世帯の構成



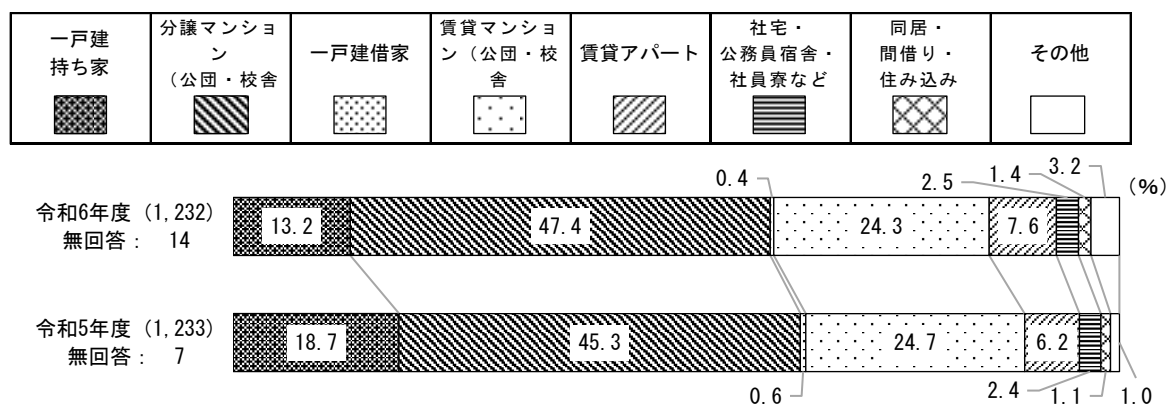
図表Ⅱ－6 世帯に中学校卒業前のこども及び65歳以上の高齢者のいる回答者



F 6 住宅の形態

- ・住宅の形態別では、分譲マンション（公団・公社含む）が47.4%で最も高く、次いで賃貸マンション（公団・公社含む）が24.3%となっている。

図表Ⅱ－７ 住宅の形態



※ 公団とは「UR都市機構（旧日本住宅公団、住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団）」、公社とは「東京都住宅供給公社」を指す。

Ⅲ. 江東区長期計画における成果指標

- ・本アンケートの結果を利用した長期計画の各施策の指標について整理した。なお、単位は全て「%」である。
- ・全ての集計は小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、2つ以上の項目を合計した割合は、各集計値を合計した数値とは異なる場合がある。
- ・割合については、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならない場合がある。
- ・成果指標の数値は母集団から無回答を除いて算出した。
- ・問7-1、8-1、10-1、25-1、30-1、36②③、40-1、40-2、45-1、45-2、59-1は、指標数値の取得とは直接関係がないため、本項では記載しない。これらの設問の結果は、「Ⅳ. 調査結果」を参照のこと。

■問1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1（詳細はP29）	
指標名：	水辺と緑に満足している区民の割合
算出方法：	「1. 満足している」及び「2. どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値：	72.7%

図表Ⅲ-1 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1 集計結果

n=1,240	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
回答数	297	604	212	55	34	38
割合	24.0%	48.7%	17.1%	4.4%	2.7%	3.1%

無回答：6

■問2 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1（詳細はP31）	
指標名：	水辺と緑に関する活動に取り組んでいる区民の割合
算出方法：	「12. 特に何もしていない」以外の選択肢を1個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	30.6%

図表Ⅲ-2 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1 集計結果

n=1,237	1個選択	2個選択	3個選択	4個選択	5個選択	6個以上選択	特に何もしていないのみ
回答数	302	51	17	6	2	0	872
割合	24.4%	4.1%	1.4%	0.5%	0.2%	0.0%	69.4%

無回答：9

■問3 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1（詳細はP34）	
指標名：	江東区では水辺や緑に親しむ機会があると回答した区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	66.1%

図表Ⅲ-3 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1 集計結果

n=1,238	そう感じる	どちらかとい えばそう 感じる	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 感じない	そう感じない	わからない
回答数	325	493	188	61	96	75
割合	26.3%	39.8%	15.2%	4.9%	7.8%	6.1%

無回答：8

■問4 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1（詳細はP36）	
指標名：	生物多様性の内容を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 言葉の意味を知っていた」の割合を算出
指標値：	39.8%

図表Ⅲ-4 みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現：施策1 集計結果

n=1,240	言葉の意味を知っていた	言葉の意味は知らないが、言葉は 聞いたことがあった	知らなかった
回答数	493	372	375
割合	39.8%	30.0%	30.2%

無回答：6

■問5 地球温暖化対策と環境保全：施策2（詳細はP38）	
指標名：	環境に配慮した行動に取り組む区民の割合
算出方法：	「12. 特に何もしていない」以外の選択肢を5個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	66.8%

図表Ⅲ-5 地球温暖化対策と環境保全：施策2 集計結果

n=1,234	1個 選択	2個 選択	3個 選択	4個 選択	5個 選択	6個 選択	7個 選択	8個 選択	9個 選択	10個 選択	11個 選択	特に何 もして いない のみ
回答数	45	53	122	174	212	181	152	126	109	28	16	16
割合	3.6%	4.3%	9.9%	14.1%	17.2%	14.7%	12.3%	10.2%	8.8%	2.3%	1.3%	1.3%

無回答：12

■問 6 持続可能な資源循環型地域社会の形成：施策 3（詳細はP41）	
指標名：	ごみを減らす活動に取り組んでいる区民の割合
算出方法：	「10. 特に何もしていない」以外の選択肢を 4 個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	55.9%

図表Ⅲ-6 持続可能な資源循環型地域社会の形成：施策 3 集計結果

n=1,234	1個 選択	2個 選択	3個 選択	4個 選択	5個 選択	6個 選択	7個 選択	8個 選択	9個 選択	特に何 もして いない のみ
回答数	126	149	232	237	207	140	70	34	2	37
割合	10.2%	12.1%	18.8%	19.2%	16.8%	11.3%	5.7%	2.8%	0.2%	3.0%

無回答：12

■問 7 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策 5（詳細はP44）	
指標名：	地域に見守られて子育てしていると感じる保護者の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	57.4%

図表Ⅲ-7 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策 5 集計結果

n=223	そう感じる	どちらかといえば そう感じる	どちらかといえば そう感じない	そう感じない	わからない
回答数	18	110	47	32	16
割合	8.1%	49.3%	21.1%	14.3%	7.2%

無回答：15

■問 8 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策 5（詳細はP45）	
指標名：	必要な子育て情報が入手できる保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	65.2%

図表Ⅲ-8 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策 5 集計結果

n=221	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
回答数	20	124	48	18	11
割合	9.0%	56.1%	21.7%	8.1%	5.0%

無回答：17

■問9 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5（詳細はP46）	
指標名：	しつけであっても子どもに体罰を与えてはならないと理解している区民の割合
算出方法：	「1. しつけであっても体罰はすべきではない」の割合を算出
指標値：	63.6%

図表Ⅲ-9 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=1,096	しつけであっても 体罰はすべきではない	しつけのためなら、 ある程度の体罰も やむを得ない	しつけのためなら、 体罰は必要である	わからない
回答数	697	305	12	82
割合	63.6%	27.8%	1.1%	7.5%

無回答：150

■問10 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5（詳細はP48）	
指標名：	児童虐待を疑ったときの通告先を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 知っている」の割合を算出
指標値：	37.7%

図表Ⅲ-10 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策5 集計結果

n=1,077	知っている	知らない
回答数	406	671
割合	37.7%	62.3%

無回答：169

■問11 一人一人に向き合う学校教育の充実：施策6（詳細はP51）	
指標名：	江東区では児童・生徒一人一人に向き合った教育を推進していると考え保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	32.1%

図表Ⅲ-11 みんなで取り組む子育て家庭への支援：施策6 集計結果

n=224	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	8	64	59	30	18	45
割合	3.6%	28.6%	26.3%	13.4%	8.0%	20.1%

無回答：14

■問12 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策8（詳細はP52）	
指標名：	こどもの安全・安心な居場所があると感じている区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	41.5%

図表Ⅲ-12 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策8 集計結果

n=1,084	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	121	329	280	86	60	208
割合	11.2%	30.4%	25.8%	7.9%	5.5%	19.2%

無回答：162

■問13 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策8（詳細はP54）	
指標名：	行政・地域の活動により、こどもの安全・安心が確保されていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	48.2%

図表Ⅲ-13 こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり：施策8 集計結果

n=1,148	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	154	399	237	79	58	221
割合	13.4%	34.8%	20.6%	6.9%	5.1%	19.3%

無回答：98

■問14 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9（詳細はP56）	
指標名：	青少年が健全に育つことができる環境が整っていると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	20.6%

図表Ⅲ-14 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9 集計結果

n=1,163	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	40	200	283	68	58	514
割合	3.4%	17.2%	24.3%	5.8%	5.0%	44.2%

無回答：83

■問15 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9（詳細はP58）	
指標名：	この1年にサークルや趣味を目的として区公共施設を利用または地域などの活動に参加したことの有る青少年の割合
算出方法：	青少年（40歳未満）の回答者における「1. ある」の割合を算出
指標値：	20.2%

図表Ⅲ-15 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9 集計結果

n=263	ある	ない
回答数	53	210
割合	20.2%	79.8%

無回答：2

■問45 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9（詳細はP119）	
指標名：	「どこにも助けてくれる人がいない」「どこにも相談できる人がいない」とする青少年の割合
算出方法：	青少年（40歳未満）の回答者における「2. いらない」の割合を算出
指標値：	10.2%

図表Ⅲ-16 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9 集計結果

n=265	いる	いない	どちらともいえない
回答数	208	27	30
割合	78.5%	10.2%	11.3%

無回答：0

■問16 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9（詳細はP60）	
指標名：	SNSやスマートフォン等の安全な利用方法やルール、マナーについて学んだことがある青少年の割合
算出方法：	青少年（40歳未満）の回答者における「1. ある」の割合を算出
指標値：	57.4%

図表Ⅲ-17 次代を担う青少年の健全育成の推進：施策9 集計結果

n=263	ある	ない
回答数	151	112
割合	57.4%	42.6%

無回答：2

■問17 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10（詳細はP62）	
指標名：	区内の企業やお店が元気に活動していると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	45.3%

図表Ⅲ-18 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 集計結果

n=1,205	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	106	440	317	107	86	149
割合	8.8%	36.5%	26.3%	8.9%	7.1%	12.4%

無回答：41

■問18 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10（詳細はP64）	
指標名：	魅力ある商店街やお店が区内にあると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	59.4%

図表Ⅲ-19 魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成：施策10 集計結果

n=1,204	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない
回答数	245	470	289	110	90
割合	20.3%	39.0%	24.0%	9.1%	7.5%

無回答：42

■問19 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11（詳細はP66）	
指標名：	この1年間に地域活動に参加した区民の割合
算出方法：	「1. よく参加している」及び「2. ときどき参加している」の割合を算出
指標値：	15.8%

図表Ⅲ-20 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=1,207	よく参加している	ときどき 参加している	参加したことはあるが、 今はほとんど 参加していない	まったく参加した ことはない
回答数	62	129	222	794
割合	5.1%	10.7%	18.4%	65.8%

無回答：39

■問19-1 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11（詳細はP68）	
指標名：	地域活動に関心がない区民の割合
算出方法：	問19で「3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」または「4. まったく参加したことはない」と回答した区民における「4. どちらかといえばそう思わない」及び「5. そう思わない」の割合を算出
指標値：	43.4%

図表Ⅲ-21 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=643	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
回答数	37	129	198	108	171
割合	5.8%	20.1%	30.8%	16.8%	26.6%

無回答：373

■問20 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11（詳細はP69）	
指標名：	気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	61.6%

図表Ⅲ-22 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=1,225	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	304	450	181	60	48	182
割合	24.8%	36.7%	14.8%	4.9%	3.9%	14.9%

無回答：21

■問21 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11（詳細はP71）	
指標名：	この1年間に地域イベントに参加したことがある区民の割合
算出方法：	「1. 参加した」の割合を算出
指標値：	30.7%

図表Ⅲ-23 人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化：施策11 集計結果

n=1,230	参加した	参加していない
回答数	378	852
割合	30.7%	69.3%

無回答：16

■問22 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12（詳細はP73）	
指標名：	江東区は多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	44.8%

図表Ⅲ-24 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,222	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
回答数	118	429	554	72	49
割合	9.7%	35.1%	45.3%	5.9%	4.0%

無回答：24

■問23 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12（詳細はP75）	
指標名：	多様性について自分にも関わりがあると感じている区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	52.3%

図表Ⅲ-25 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,216	そう感じる	どちらかといえば そう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえば そう感じない	そう感じない
回答数	237	399	324	107	149
割合	19.5%	32.8%	26.6%	8.8%	12.3%

無回答：30

■問24 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12（詳細はP77）	
指標名：	仕事と生活の調和がとれた生き方を実現することが出来ていると答えた区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	49.2%

図表Ⅲ-26 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,222	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	183	418	222	163	148	88
割合	15.0%	34.2%	18.2%	13.3%	12.1%	7.2%

無回答：24

■問25 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12（詳細はP79）	
指標名：	DV相談窓口を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 知っている」の割合を算出
指標値：	33.1%

図表Ⅲ-27 多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現：施策12 集計結果

n=1,198	知っている	知らない
回答数	396	802
割合	33.1%	66.9%

無回答：48

■問26 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13（詳細はP82）	
指標名：	趣味や学習などの集まりに参加している区民の割合
算出方法：	「1. よく参加している」及び「2. ときどき参加している」の割合を算出
指標値：	13.5%

図表Ⅲ-28 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 集計結果

n=1,227	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
回答数	82	84	205	856
割合	6.7%	6.8%	16.7%	69.8%

無回答：19

■問27 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13（詳細はP84）	
指標名：	学習や講座などから新たに学び、地域活動や仕事などに活かしたいと考えている区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	54.5%

図表Ⅲ-29 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 集計結果

n=1,212	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
回答数	213	447	319	84	149
割合	17.6%	36.9%	26.3%	6.9%	12.3%

無回答：34

■問28 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13（詳細はP86）	
指標名：	図書館が学びの場として役立っていると感じている区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	73.8%

図表Ⅲ-30 生涯にわたり学習できる環境の充実：施策13 集計結果

n=1,227	そう感じる	どちらかといえば そう感じる	どちらかといえば そう感じない	そう感じない	わからない
回答数	410	496	85	61	175
割合	33.4%	40.4%	6.9%	5.0%	14.3%

無回答：19

■問29 スポーツを楽しめる環境の充実：施策14（詳細はP88）	
指標名：	週1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合
算出方法：	「1. 週3日以上（年151日以上）」、「2. 週2日程度（年101日～150日）」、「3. 週1日程度（年51日～100日）」と回答した区民の割合を算出
指標値：	49.5%

■問29 スポーツを楽しめる環境の充実：施策14（詳細はP88）	
指標名：	年1回以上スポーツ・運動を行う区民の割合
算出方法：	「1. 週3日以上（年151日以上）」、「2. 週2日程度（年101日～150日）」、「3. 週1日程度（年51日～100日）」、「4. 月に1～3日程度（年12日～50日）」、「5. 3か月に1～2日程度（年4日～11日）」、「6. 年に1～3日程度」と回答した区民の割合を算出
指標値：	70.8%

図表Ⅲ-31 スポーツを楽しめる環境の充実：施策14 集計結果

n=1,224	週3日以上 （年151日 以上）	週2日程度 （年101日 ～150日）	週1日程度 （年51日 ～100日）	月に1～3 日程度 （年12日 ～50）	3か月に1 ～2日程度 （年4日～ 11日）	年に1～3 日程度	スポー ツ・運動 をした が、頻度 はわから ない	スポー ツ・運動 を全くし なかった
回答数	238	172	196	155	51	54	125	233
割合	19.4%	14.1%	16.0%	12.7%	4.2%	4.4%	10.2%	19.0%

無回答：22

■問30 文化・歴史の継承と観光振興：施策15（詳細はP90）	
指標名：	江東区は魅力的な文化観光資源があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	87.4%

図表Ⅲ-32 文化・歴史の継承と観光振興：施策15 集計結果

n=1,216	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない
回答数	182	881	36	29	88
割合	15.0%	72.5%	3.0%	2.4%	7.2%

無回答：30

■問31 文化・歴史の継承と観光振興：施策15（詳細はP93）	
指標名：	江東区には未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統芸能があると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	69.6%

図表Ⅲ-33 文化・歴史の継承と観光振興：施策15 集計結果

n=1,210	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	496	346	102	51	32	183
割合	41.0%	28.6%	8.4%	4.2%	2.6%	15.1%

無回答：36

■問32 切れ目のない支援による母子保健の充実：施策16（詳細はP95）	
指標名：	母子保健サービスが充実していると思う保護者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	70.7%

図表Ⅲ-34 切れ目のない支援による母子保健の充実：施策16 集計結果

n=225	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	58	101	24	12	9	21
割合	25.8%	44.9%	10.7%	5.3%	4.0%	9.3%

無回答：13

■問33 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17（詳細はP96）	
指標名：	自分は健康だと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	65.5%

図表Ⅲ-35 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,233	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	298	509	182	109	122	13
割合	24.2%	41.3%	14.8%	8.8%	9.9%	1.1%

無回答：13

■問34 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17（詳細はP98）	
指標名：	悩みを抱えた時やストレスを感じた時、支援を求めることにためらいを感じる区民の割合
算出方法：	「1. そう感じる」及び「2. どちらかといえばそう感じる」の割合を算出
指標値：	43.5%

図表Ⅲ-36 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,231	そう感じる	どちらかとい えばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう感 じない	そう感じない
回答数	196	340	292	204	199
割合	15.9%	27.6%	23.7%	16.6%	16.2%

無回答：15

■問35 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17（詳細はP100）	
指標名：	この1年間でがん検診を受診した区民の割合
算出方法：	「5. がん検診は受けていない」と回答した区民を除く割合を算出 (n - 「がん検診を受けていない」 / n) ※無回答を除く
指標値：	56.0%

図表Ⅲ-37 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,219	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどの がん検診	その他	がん検診は 受けていない
回答数	231	257	215	58	536
割合	18.9%	21.1%	17.6%	4.8%	44.0%

無回答：27

■問36 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17（詳細はP102）	
指標名：	かかりつけ医を持つ区民の割合
算出方法：	「1. もっている」の割合を算出
指標値：	65.4%

図表Ⅲ-38 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,234	もっている	もっていない
回答数	807	427
割合	65.4%	34.6%

無回答：12

■問37 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17（詳細はP105）	
指標名：	必要な時に、必要とする医療を受けられると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	64.0%

図表Ⅲ-39 健康づくりの推進と保健・医療体制の充実：施策17 集計結果

n=1,235	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
回答数	324	467	268	105	71
割合	26.2%	37.8%	21.7%	8.5%	5.7%

無回答：11

■問38 感染症対策と生活衛生の確保：施策18（詳細はP107）	
指標名：	「手洗い」「咳エチケット」を実施している区民の割合
算出方法：	「手洗い」「咳エチケット」全てについて「行っている」と回答した割合を算出
指標値：	93.2%

図表Ⅲ-40 感染症対策と生活衛生の確保：施策18 集計結果

n=1,238	両方行っている	どちらか片方のみ 行っている	両方行っていない
回答数	1,154	74	10
割合	93.2%	6.0%	0.8%

無回答：8

■問39 高齢者支援と活躍の推進：施策19（詳細はP110）	
指標名：	生きがいや幸せを感じている高齢者の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	64.2%

図表Ⅲ-41 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=369	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	105	132	71	22	26	13
割合	28.5%	35.8%	19.2%	6.0%	7.0%	3.5%

無回答：9

■問40 高齢者支援と活躍の推進：施策19（詳細はP110）	
指標名：	地域活動や就労をしている高齢者の割合
算出方法：	「1. 就労している」及び「2. 地域活動をしている」の割合を算出
指標値：	30.2%

図表Ⅲ-42 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=364	就労をしている	地域活動をしている	何もしていない
回答数	55	57	254
割合	15.1%	15.7%	69.8%

無回答：14

■問41 高齢者支援と活躍の推進：施策19（詳細はP112）	
指標名：	地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動内容を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 内容を知っている」及び「2. ある程度の内容は知っている」の割合を算出
指標値：	29.1%

図表Ⅲ-43 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=1,184	内容を知っている	ある程度の内容は知っ ている	内容は知らないが、 聞いたことはある	知らない
回答数	131	213	268	572
割合	11.1%	18.0%	22.6%	48.3%

無回答：62

■問42 高齢者支援と活躍の推進：施策19（詳細はP114）	
指標名：	介護予防活動に取り組んでいる区民の割合
算出方法：	「7. 特に何もしていない」以外の選択肢を3個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	42.8%

図表Ⅲ-44 高齢者支援と活躍の推進：施策19 集計結果

n=362	1個 選択	2個 選択	3個 選択	4個 選択	5個 選択	6個 選択	特に何も していない のみ
回答数	69	89	95	49	10	1	49
割合	19.1%	24.6%	26.2%	13.5%	2.8%	0.3%	13.5%

無回答：16

■問43 障害者支援と共生社会の実現：施策20（詳細はP115）	
指標名：	まちで障害者が困っているときに声をかけたことのある区民の割合
算出方法：	「1. ある」の割合を算出
指標値：	47.6%

図表Ⅲ-46 障害者支援と共生社会の実現：施策20 集計結果

n=1,207	ある	ない
回答数	575	632
割合	47.6%	52.4%

無回答：39

■問44 障害者支援と共生社会の実現：施策20（詳細はP117）	
指標名：	障害者が社会参加しやすいまちだと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	22.5%

図表Ⅲ-45 障害者支援と共生社会の実現：施策20 集計結果

n=1,215	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	47	226	285	55	46	556
割合	3.9%	18.6%	23.5%	4.5%	3.8%	45.8%

無回答：31

■問45 地域福祉と生活支援の充実：施策21（詳細はP119）	
指標名：	身近に生活の相談をすることができる人がいる区民の割合
算出方法：	「1. いる」の割合を算出
指標値：	71.0%

図表Ⅲ-47 地域福祉と生活支援の充実：施策 21 集計結果

n=1,206	いる	いない	どちらともいえない
回答数	856	202	148
割合	71.0%	16.7%	12.3%

無回答：40

■問46 地域福祉と生活支援の充実：施策21（詳細はP125）	
指標名：	民生・児童委員や社会福祉協議会等、困りごとの相談先を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 知っている」の割合を算出
指標値：	22.2%

図表Ⅲ-48 地域福祉と生活支援の充実：施策 21 集計結果

n=1,217	知っている	知らない
回答数	270	947
割合	22.2%	77.8%

無回答：29

■問47 計画的なまちづくりの推進：施策22（詳細はP128）	
指標名：	地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	47.1%

図表Ⅲ-49 計画的なまちづくりの推進：施策 22 集計結果

n=1,231	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	126	454	272	80	66	233
割合	10.2%	36.9%	22.1%	6.5%	5.4%	18.9%

無回答：15

■問48 計画的なまちづくりの推進：施策22（詳細はP130）	
指標名：	江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	58.4%

図表Ⅲ-50 計画的なまちづくりの推進：施策 22 集計結果

n=1,232	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
回答数	182	538	322	99	91
割合	14.8%	43.7%	26.1%	8.0%	7.4%

無回答：14

■問49 計画的なまちづくりの推進：施策22（詳細はP132）	
指標名：	江東区ではユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	46.0%

図表Ⅲ-51 計画的なまちづくりの推進：施策 22 集計結果

n=1,228	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
回答数	110	455	419	136	108
割合	9.0%	37.1%	34.1%	11.1%	8.8%

無回答：18

■問50 良好な住宅の形成と住環境の向上：施策23（詳細はP134）	
指標名：	住環境に満足している区民の割合
算出方法：	「1. 満足している」及び「2. どちらかといえば満足している」の割合を算出
指標値：	74.8%

図表Ⅲ-52 良好な住宅の形成と住環境の向上：施策 23 集計結果

n=1,232	満足している	どちらかといえば 満足している	どちらとも いえない	どちらかといえば 不満である	不満である
回答数	328	593	152	103	56
割合	26.6%	48.1%	12.3%	8.4%	4.5%

無回答：14

■問51 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24（詳細はP136）	
指標名：	区内の移動環境に対する区民の満足度
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	58.0%

図表Ⅲ-53 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策 24 集計結果

n=1,231	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	253	461	204	152	141	20
割合	20.6%	37.4%	16.6%	12.3%	11.5%	1.6%

無回答：15

■問52 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策24（詳細はP138）	
指標名：	交通ルールが定着していると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	41.4%

図表Ⅲ-54 便利で安全な道路・交通ネットワークの整備：施策 24 集計結果

n=1,228	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない
回答数	124	384	370	201	149
割合	10.1%	31.3%	30.1%	16.4%	12.1%

無回答：18

■問53 災害に強い都市の形成：施策25（詳細はP140）	
指標名：	災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	31.1%

図表Ⅲ-55 災害に強い都市の形成：施策 25 集計結果

n=1,227	そう思う	どちらかとい えばそう思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう思わ ない	そう思わない	わからない
回答数	70	312	355	154	136	200
割合	5.7%	25.4%	28.9%	12.6%	11.1%	16.3%

無回答：19

■問54 災害に強い都市の形成：施策25（詳細はP142）	
指標名：	江東区洪水ハザードマップを見たことがあり、自宅周辺の状況を理解している区民の割合
算出方法：	「1. 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合を算出
指標値：	65.3%

図表Ⅲ-56 災害に強い都市の形成：施策25 集計結果

n=1,229	見たことがあり、 自宅周辺の状況も 把握している	見たことはあるが、 自宅周辺の状況は わからない	見たことはない	あることも知らない
回答数	803	345	70	11
割合	65.3%	28.1%	5.7%	0.9%

無回答：17

■問55 地域防災力の強化：施策26（詳細はP144）	
指標名：	1年以内に防災訓練などの防災活動に参加したことがある区民の割合
算出方法：	「1. 過去1年以内に参加した」の割合を算出
指標値：	14.5%

図表Ⅲ-58 地域防災力の強化：施策26 集計結果

n=1,230	過去1年以内に 参加した	過去3年以内に 参加した	これまでに1度以上 参加した	参加したことがない
回答数	178	116	308	628
割合	14.5%	9.4%	25.0%	51.1%

無回答：16

■問56 地域防災力の強化：施策26（詳細はP146）	
指標名：	「災害時に必要な備えが来ている」区民の割合
算出方法：	「11. 特に何もしていない」以外の選択肢を5個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	40.6%

■問56 地域防災力の強化：施策26（詳細はP146）	
指標名：	家具などの転倒防止策を行っている区民の割合
算出方法：	「1. 家具などの転倒防止対策」の割合を算出
指標値：	44.4%

図表Ⅲ-57 地域防災力の強化：施策26 集計結果

n=1,233	1個 選択	2個 選択	3個 選択	4個 選択	5個 選択	6個 選択	7個 選択	8個 選択	9個 選択	10個 選択	特に何 もして いない のみ
回答数	92	163	191	199	149	146	92	82	32	0	87
割合	7.5%	13.2%	15.5%	16.1%	12.1%	11.8%	7.5%	6.7%	2.6%	0%	7.1%

無回答：13

■問57 犯罪のないまちづくり：施策27（詳細はP149）	
指標名：	治安が良いと思う区民の割合
算出方法：	「1. そう思う」及び「2. どちらかといえばそう思う」の割合を算出
指標値：	64.7%

図表Ⅲ-59 犯罪のないまちづくり：施策27 集計結果

n=1,221	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない
回答数	187	603	310	86	35
割合	15.3%	49.4%	25.4%	7.0%	2.9%

無回答：25

■問58 犯罪のないまちづくり：施策27（詳細はP151）	
指標名：	日常生活で防犯対策をしている区民の割合
算出方法：	「9. 特に何もしていない」以外の選択肢を3個以上選んだ区民の割合を算出
指標値：	45.9%

図表Ⅲ-60 犯罪のないまちづくり：施策27 集計結果

n=1,226	1個 選択	2個 選択	3個 選択	4個 選択	5個 選択	6個 選択	7個 選択	8個 選択	特に何も していないのみ
回答数	217	377	284	148	81	35	14	1	69
割合	17.7%	30.8%	23.2%	12.1%	6.6%	2.9%	1.1%	0.1%	5.6%

無回答：20

■問59 犯罪のないまちづくり：施策27（詳細はP154）	
指標名：	消費者トラブルについて相談できる所を知っている区民の割合
算出方法：	「1. 知っている」の割合を算出
指標値：	45.0%

図表Ⅲ-61 犯罪のないまちづくり：施策27 集計結果

n=1,207	知っている	知らない
回答数	543	664
割合	45.0%	55.0%

無回答：39

IV. 調査結果

- ・各設問について、分析を行った。なお、分析にあたっては、成果指標同様に無回答は割合に含めない。また、各設問の無回答数は記載していない。
- ・全ての集計は小数点以下第2位を四捨五入して算出しており、2つ以上の項目を合計した割合は、それぞれの四捨五入した数値を合計したものである。そのため、「Ⅲ. 江東区長期計画における成果指標」で表示されている指標値の合計値と数値が異なる場合がある。
- ・回答者が限定される設問は標本数が少なくなるため、単純集計のみとなっている。
- ・属性別の集計において塗りつぶしをしている項目は、その区分の上位2つまでの項目を示している。

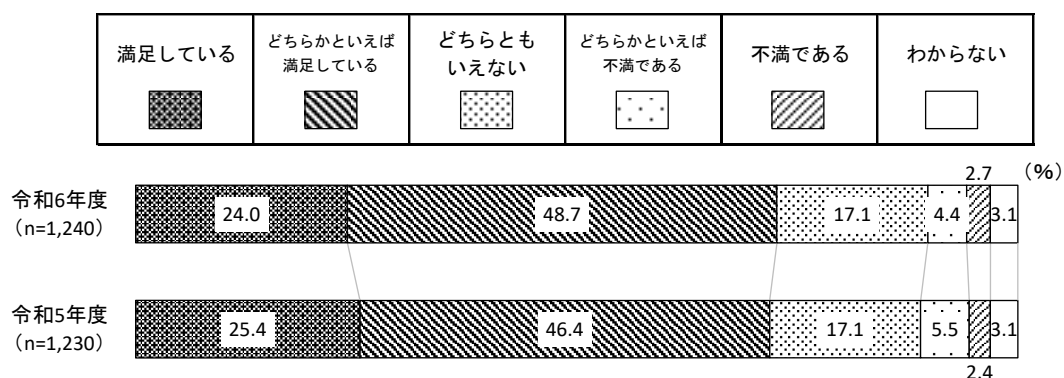
【みどりの中の都市「CITY IN THE GREEN」の実現】

問1 あなたは、江東区内の水辺と緑に満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえば満足している」が48.7%で最も高く、次いで「満足している」(24.0%)となっている。
- ・これらを合わせた『満足している(計)』の割合は72.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『満足している(計)』が0.9ポイント増加している。

図表Ⅳ－1 水辺と緑に対する満足度



① 地区別

- ・地区別では、『満足している(計)』の割合は、南砂地区(79.2%)、白河地区(78.1%)、東陽地区(77.1%)、砂町地区(76.7%)、富岡地区(76.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－2 水辺と緑に対する満足度(地区別)

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
全体	1,240	24.0	48.7	17.1	4.4	2.7	3.1
白河	128	25.0	53.1	12.5	4.7	0.0	4.7
小松橋	79	22.8	49.4	21.5	1.3	5.1	0.0
富岡	93	32.3	44.1	16.1	6.5	0.0	1.1
東陽	96	32.3	44.8	15.6	3.1	1.0	3.1
豊洲	280	24.3	48.2	16.1	5.7	2.9	2.9
亀戸	140	20.7	41.4	22.1	5.7	5.0	5.0
大島	140	17.1	47.1	24.3	2.9	4.3	4.3
砂町	176	23.3	53.4	14.2	4.0	1.7	3.4
南砂	96	21.9	57.3	11.5	3.1	5.2	1.0
居住地区不詳	12	25.0	41.7	25.0	8.3	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『満足している（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『満足している（計）』の割合は、男性では18～19歳、25～29歳、35～39歳、45～59歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では25～34歳、40～49歳、55～59歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－３ 水辺と緑に対する満足度（性年齢別）

＜男性＞		（％）					
	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
全体	497	24.5	47.9	16.3	4.6	3.2	3.4
18～19歳	8	12.5	62.5	12.5	12.5	0.0	0.0
20～24歳	13	38.5	30.8	15.4	0.0	15.4	0.0
25～29歳	22	50.0	22.7	13.6	4.5	0.0	9.1
30～34歳	23	21.7	43.5	21.7	0.0	8.7	4.3
35～39歳	33	27.3	48.5	12.1	9.1	0.0	3.0
40～44歳	47	19.1	46.8	14.9	6.4	4.3	8.5
45～49歳	49	12.2	61.2	18.4	4.1	4.1	0.0
50～54歳	47	23.4	57.4	12.8	2.1	4.3	0.0
55～59歳	53	26.4	49.1	11.3	5.7	0.0	7.5
60～64歳	47	19.1	48.9	14.9	10.6	0.0	6.4
65～69歳	37	18.9	51.4	18.9	2.7	8.1	0.0
70～74歳	40	32.5	47.5	12.5	2.5	5.0	0.0
75歳以上	77	28.6	40.3	24.7	2.6	1.3	2.6
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

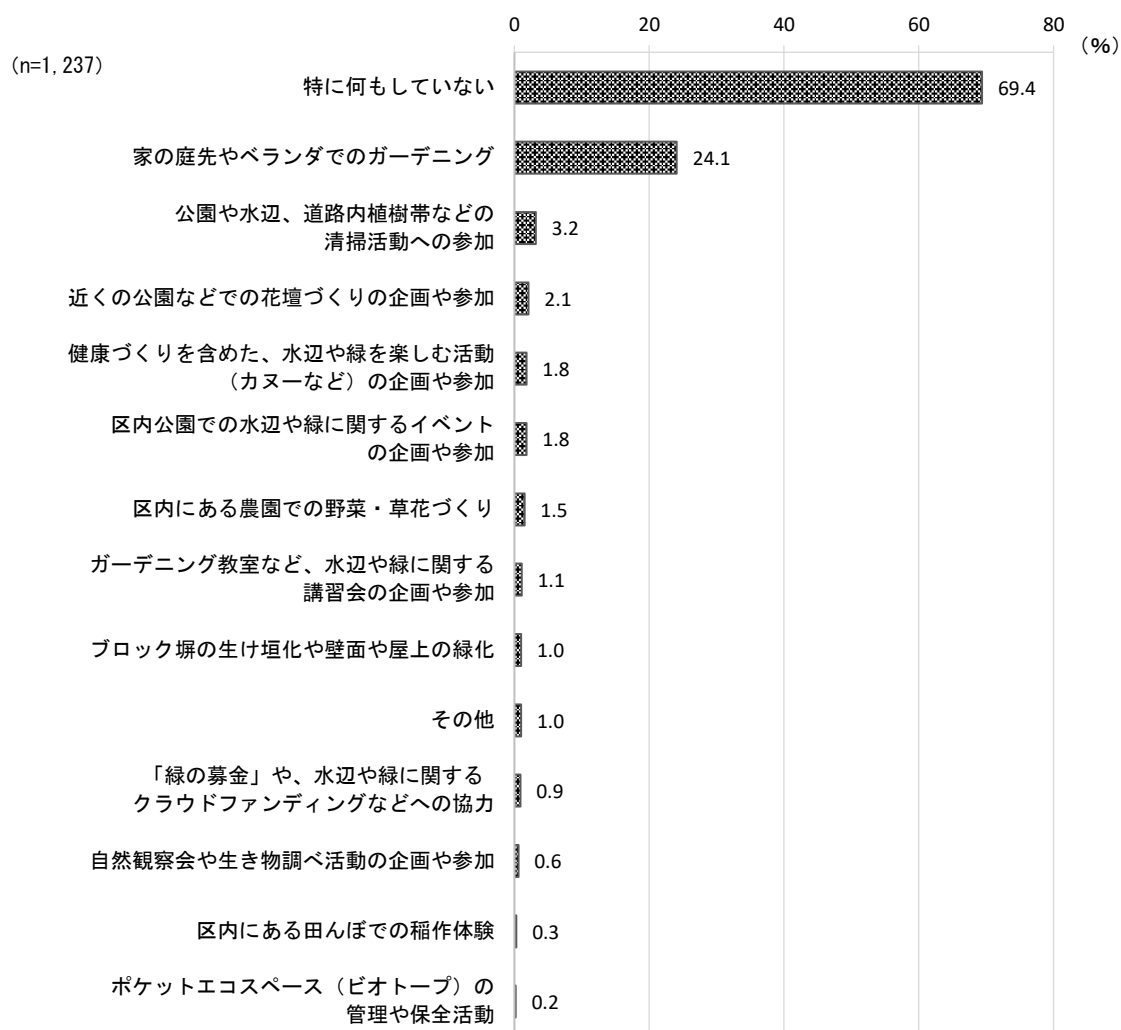
＜女性＞		（％）					
	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない
全体	693	23.5	49.5	17.9	4.3	2.6	2.2
18～19歳	4	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	22.2	44.4	16.7	5.6	5.6	5.6
25～29歳	45	17.8	57.8	11.1	6.7	2.2	4.4
30～34歳	49	26.5	51.0	20.4	2.0	0.0	0.0
35～39歳	45	31.1	35.6	20.0	6.7	6.7	0.0
40～44歳	64	23.4	50.0	17.2	6.3	1.6	1.6
45～49歳	79	29.1	50.6	17.7	0.0	1.3	1.3
50～54歳	84	19.0	50.0	20.2	3.6	4.8	2.4
55～59歳	64	18.8	59.4	14.1	4.7	3.1	0.0
60～64歳	46	13.0	54.3	17.4	8.7	2.2	4.3
65～69歳	48	25.0	45.8	16.7	6.3	4.2	2.1
70～74歳	49	26.5	51.0	18.4	4.1	0.0	0.0
75歳以上	97	26.8	43.3	20.6	2.1	2.1	5.2
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問2 あなたは、以下のような水辺と緑に関する活動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体>

- ・「家の庭先やベランダでのガーデニング」が24.1%で最も高く、次いで「公園や水辺、道路内植樹帯などの清掃活動への参加」(3.2%)、「近くの公園などでの花壇づくりの企画や参加」(2.1%)となっている。
- ・一方で、「特に何もしていない」と回答した人が、69.4%となっている。

図表Ⅳ－4 水辺と緑に関する活動



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で1位は「特に何もしていない」となっており、続いて「家の庭先やベランダでのガーデニング」が2位となっている。

図表Ⅳ－5 水辺と緑に関する活動（地区別）

(%)

	n	近くの公園や花壇づくりの企画や参加	家の庭先やベランダでのガーデニング	公園や水辺、道路内帯などの清掃活動への参加	自然観察会や生き物調査などの企画や参加	ポケットエース（ピオ）の管理や保全活動	区内にある田んぼでの稲作体験	区内にある農園での野菜・草花づくり	健康づくりを含めた、水辺や緑を楽しむ活動（カヌーなどの企画や参加）	ガーデニング教室など、水辺や緑に関する講習会の企画や参加	「緑の募金」や、水辺や緑に関するクラウドファンディングなどへの協力	区内公園での水辺や緑に関するイベントの企画や参加	ブロックの生け垣や壁面緑化	特に何もしていない	その他
全体	1,237	2.1	24.1	3.2	0.6	0.2	0.3	1.5	1.8	1.1	0.9	1.8	1.0	69.4	1.0
白河	128	0.8	26.6	4.7	0.0	0.0	0.8	0.8	0.8	1.6	0.0	0.8	2.3	69.5	0.8
小松橋	78	2.6	32.1	1.3	1.3	0.0	0.0	2.6	1.3	2.6	2.6	0.0	2.6	65.4	0.0
富岡	93	3.2	28.0	3.2	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	2.2	0.0	3.2	1.1	63.4	3.2
東陽	96	2.1	19.8	3.1	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	2.1	1.0	1.0	0.0	71.9	1.0
豊洲	278	3.2	22.3	5.0	1.1	0.4	0.0	2.2	2.9	0.7	1.1	3.6	0.7	68.3	1.1
亀戸	140	3.6	25.7	1.4	1.4	0.0	0.7	0.7	2.1	0.7	1.4	2.9	1.4	68.6	2.9
大島	140	1.4	19.3	1.4	0.7	0.0	0.0	1.4	3.6	0.0	0.0	0.7	0.0	75.0	0.0
砂町	176	0.6	24.4	2.8	0.0	0.0	0.6	1.1	1.1	0.6	0.6	0.6	0.6	73.3	0.0
南砂	96	0.0	25.0	3.1	1.0	0.0	1.0	3.1	2.1	1.0	2.1	0.0	0.0	64.6	0.0
居住地区不詳	12	8.3	16.7	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	8.3	75.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「特に何もしていない」が1位となっている。
- ・年齢別にみると、男性では「家の庭先やベランダでのガーデニング」の割合が、70歳以上で他の年代よりも高くなっている。女性では「家の庭先やベランダでのガーデニング」の割合が、65歳以上で他の年代よりも高くなっている。

図表Ⅳ－6 水辺と緑に関する活動（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	近くの公園などでの花壇づくりの企画や参加	家の庭先やベランダでのガーデニング	公園や水辺、道路内帯などの清掃活動への参加	自然観察会や物産活動の企画や参加	ポケットスペース（ビオトープ）の管理や保全活動	区内にある田んぼでの稲作体験	区内にある農園での野菜・草花づくり	健康づくりを含めた、水辺や緑を楽しむ活動（カヌーなどの企画や参加）	ガーデニング教室など、水辺や緑に関する講習会の企画や参加	「緑の募金」や、水辺や緑に関するクラウドファンディングなどへの協力	区内公園での水辺や緑に関するイベントの企画や参加	ブロック塀の生け垣や壁面緑化	特に何もしていない	その他
全体	497	2.8	20.7	2.8	0.0	0.2	0.2	1.6	2.2	0.0	0.6	1.8	1.4	72.4	1.4
18～19歳	8	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0
20～24歳	13	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	92.3	0.0
25～29歳	22	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	90.9	0.0
30～34歳	23	4.3	13.0	0.0	0.0	0.0	4.3	4.3	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	73.9	0.0
35～39歳	33	12.1	12.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	78.8	0.0
40～44歳	46	0.0	17.4	4.3	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	78.3	0.0
45～49歳	49	0.0	24.5	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	6.1	0.0	0.0	0.0	2.0	73.5	4.1
50～54歳	47	4.3	19.1	4.3	0.0	2.1	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	4.3	4.3	76.6	0.0
55～59歳	53	0.0	15.1	5.7	0.0	0.0	0.0	1.9	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	71.7	1.9
60～64歳	47	6.4	12.8	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	6.4	0.0	83.0	0.0
65～69歳	37	2.7	16.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	5.4	0.0	2.7	5.4	0.0	70.3	2.7
70～74歳	41	0.0	29.3	2.4	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	65.9	2.4
75歳以上	77	1.3	37.7	3.9	0.0	0.0	0.0	2.6	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	54.5	2.6
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

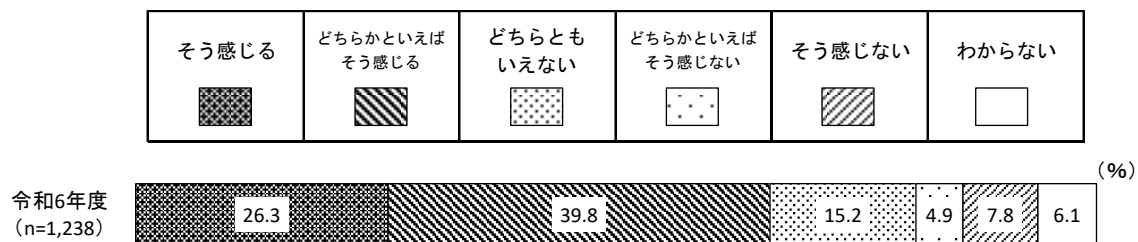
	n	近くの公園などでの花壇づくりの企画や参加	家の庭先やベランダでのガーデニング	公園や水辺、道路内帯などの清掃活動への参加	自然観察会や物産活動の企画や参加	ポケットスペース（ビオトープ）の管理や保全活動	区内にある田んぼでの稲作体験	区内にある農園での野菜・草花づくり	健康づくりを含めた、水辺や緑を楽しむ活動（カヌーなどの企画や参加）	ガーデニング教室など、水辺や緑に関する講習会の企画や参加	「緑の募金」や、水辺や緑に関するクラウドファンディングなどへの協力	区内公園での水辺や緑に関するイベントの企画や参加	ブロック塀の生け垣や壁面緑化	特に何もしていない	その他
全体	690	1.6	26.7	3.6	1.2	0.1	0.4	1.6	1.6	1.9	1.2	1.7	0.6	67.0	0.7
18～19歳	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
20～24歳	17	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	88.2	0.0
25～29歳	45	0.0	20.0	2.2	4.4	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	0.0	2.2	73.3	0.0
30～34歳	48	0.0	12.5	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5	0.0
35～39歳	45	0.0	17.8	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8	0.0
40～44歳	64	4.7	15.6	4.7	3.1	1.6	1.6	1.6	3.1	1.6	3.1	4.7	3.1	70.3	1.6
45～49歳	79	1.3	17.7	5.1	1.3	0.0	1.3	2.5	5.1	5.1	2.5	1.3	0.0	72.2	1.3
50～54歳	84	0.0	21.4	1.2	2.4	0.0	1.2	4.8	1.2	2.4	0.0	2.4	0.0	71.4	0.0
55～59歳	64	3.1	35.9	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	1.6	0.0	64.1	0.0
60～64歳	46	0.0	28.3	6.5	0.0	0.0	0.0	2.2	2.2	0.0	0.0	2.2	0.0	65.2	0.0
65～69歳	48	2.1	50.0	8.3	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	2.1	4.2	0.0	2.1	41.7	0.0
70～74歳	49	2.0	42.9	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	2.0	2.0	0.0	55.1	2.0
75歳以上	96	3.1	37.5	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	3.1	0.0	56.3	2.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問3 あなたは、江東区では水辺と緑に親しむ機会があると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「どちらかといえばそう感じる」が39.8%で最も高く、次いで「そう感じる」(26.3%)となっている。
- ・「そう感じる」(26.3%)と「どちらかといえばそう感じる」(39.8%)を合わせた『そう感じる(計)』の割合は66.1%となっている。

図表Ⅳ－7 水辺と緑に親しむ機会



① 地区別

- ・地区別では、『そう感じる(計)』の割合は、東陽地区(73.0%)、豊洲地区(70.7%)、富岡地区(69.9%)、白河地区(69.5%)、小松橋地区(69.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－8 水辺に親しむ機会(地区別)

	n	そう感じる	どちらか といえば そう 感じる	どちらとも いえない	どちらか といえば そう 感じない	そう感じ ない	わから ない
全体	1,238	26.3	39.8	15.2	4.9	7.8	6.1
白河	128	23.4	46.1	11.7	2.3	7.8	8.6
小松橋	78	25.6	43.6	17.9	2.6	7.7	2.6
富岡	93	33.3	36.6	12.9	6.5	5.4	5.4
東陽	96	29.2	43.8	11.5	4.2	4.2	7.3
豊洲	280	31.1	39.6	12.9	3.6	8.6	4.3
亀戸	139	17.3	43.2	17.3	7.9	7.9	6.5
大島	138	20.3	37.0	21.7	5.8	8.7	6.5
砂町	178	28.1	34.8	16.9	4.5	8.4	7.3
南砂	96	25.0	38.5	14.6	9.4	6.3	6.3
居住地区不詳	12	25.0	25.0	16.7	0.0	25.0	8.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう感じる（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では18～19歳、25～39歳、45～49歳、55～59歳、65～69歳で男性全体を上回っている。女性では35～49歳、55～59歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－ 9 水辺に親しむ機会（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感じない	そう感じない	わからない
全体	499	27.9	39.3	17.4	4.2	6.8	4.4
18～19歳	8	25.0	62.5	0.0	12.5	0.0	0.0
20～24歳	13	38.5	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7
25～29歳	22	31.8	36.4	9.1	0.0	9.1	13.6
30～34歳	23	30.4	39.1	17.4	4.3	4.3	4.3
35～39歳	33	27.3	48.5	18.2	6.1	0.0	0.0
40～44歳	47	14.9	42.6	14.9	10.6	6.4	10.6
45～49歳	49	22.4	46.9	14.3	4.1	10.2	2.0
50～54歳	47	31.9	34.0	21.3	4.3	8.5	0.0
55～59歳	53	26.4	56.6	3.8	1.9	7.5	3.8
60～64歳	47	29.8	34.0	14.9	6.4	8.5	6.4
65～69歳	37	35.1	32.4	27.0	0.0	5.4	0.0
70～74歳	40	25.0	27.5	32.5	5.0	5.0	5.0
75歳以上	79	30.4	35.4	21.5	0.0	7.6	5.1
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感じない	そう感じない	わからない
全体	689	25.3	40.5	13.2	5.7	8.7	6.7
18～19歳	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0
20～24歳	17	23.5	35.3	5.9	5.9	29.4	0.0
25～29歳	45	28.9	28.9	11.1	8.9	8.9	13.3
30～34歳	49	36.7	28.6	10.2	12.2	4.1	8.2
35～39歳	45	31.1	40.0	8.9	8.9	8.9	2.2
40～44歳	64	26.6	48.4	12.5	3.1	3.1	6.3
45～49歳	79	26.6	45.6	11.4	6.3	7.6	2.5
50～54歳	84	19.0	41.7	11.9	4.8	15.5	7.1
55～59歳	64	23.4	50.0	12.5	3.1	6.3	4.7
60～64歳	46	28.3	37.0	8.7	4.3	10.9	10.9
65～69歳	48	16.7	43.8	20.8	10.4	4.2	4.2
70～74歳	49	26.5	42.9	16.3	2.0	10.2	2.0
75歳以上	94	22.3	35.1	19.1	3.2	7.4	12.8
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

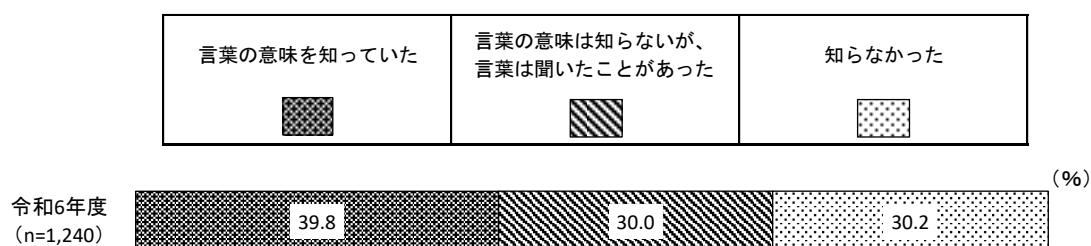
問4 あなたは、「生物多様性」について知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

「生物多様性」とは、様々な生態系が存在すること並びに生物の種間及び種内に様々な差異が存在することをいう。

<全体>

- ・「言葉の意味を知っていた」が39.8%で最も高く、次いで「知らなかった」(30.2%)となっている。

図表Ⅳ－10 生物多様性への知識



① 地区別

- ・地区別では、「言葉の意味を知っていた」の割合は、砂町地区を除くすべての地区で、一番高くなっている。

図表Ⅳ－11 生物多様性への知識（地区別）

	n	言葉の意味を知っていた	言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった	知らなかった
全体	1,240	39.8	30.0	30.2
白河	128	41.4	30.5	28.1
小松橋	78	43.6	25.6	30.8
富岡	93	40.9	25.8	33.3
東陽	96	40.6	30.2	29.2
豊洲	279	41.2	29.4	29.4
亀戸	139	41.0	27.3	31.7
大島	140	40.7	26.4	32.9
砂町	179	29.6	38.5	31.8
南砂	96	39.6	33.3	27.1
居住地区不詳	12	75.0	16.7	8.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「言葉の意味を知っていた」の割合は、男性（48.0％）の方が女性（34.3％）より13.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「言葉の意味を知っていた」の割合は、男性では18～19歳、25～29歳、35～39歳、55～64歳で男性全体を上回っている。女性では25～39歳、45～49歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－12 生物多様性への知識（性年齢別）

<男性>		(%)		
	n	言葉の意味を知っていた	言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった	知らなかった
全体	500	48.0	26.0	26.0
18～19歳	8	50.0	25.0	25.0
20～24歳	13	46.2	15.4	38.5
25～29歳	22	59.1	22.7	18.2
30～34歳	23	43.5	34.8	21.7
35～39歳	33	75.8	9.1	15.2
40～44歳	47	44.7	29.8	25.5
45～49歳	49	46.9	22.4	30.6
50～54歳	47	42.6	29.8	27.7
55～59歳	53	49.1	22.6	28.3
60～64歳	47	55.3	25.5	19.1
65～69歳	37	45.9	32.4	21.6
70～74歳	41	43.9	24.4	31.7
75歳以上	79	38.0	31.6	30.4
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0

<女性>		(%)		
	n	言葉の意味を知っていた	言葉の意味は知らないが、言葉は聞いたことがあった	知らなかった
全体	691	34.3	32.1	33.6
18～19歳	4	25.0	25.0	50.0
20～24歳	18	33.3	44.4	22.2
25～29歳	45	53.3	26.7	20.0
30～34歳	49	46.9	22.4	30.6
35～39歳	45	51.1	22.2	26.7
40～44歳	64	31.3	32.8	35.9
45～49歳	79	38.0	30.4	31.6
50～54歳	84	32.1	25.0	42.9
55～59歳	64	25.0	34.4	40.6
60～64歳	46	32.6	26.1	41.3
65～69歳	48	33.3	41.7	25.0
70～74歳	49	36.7	36.7	26.5
75歳以上	95	18.9	43.2	37.9
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0

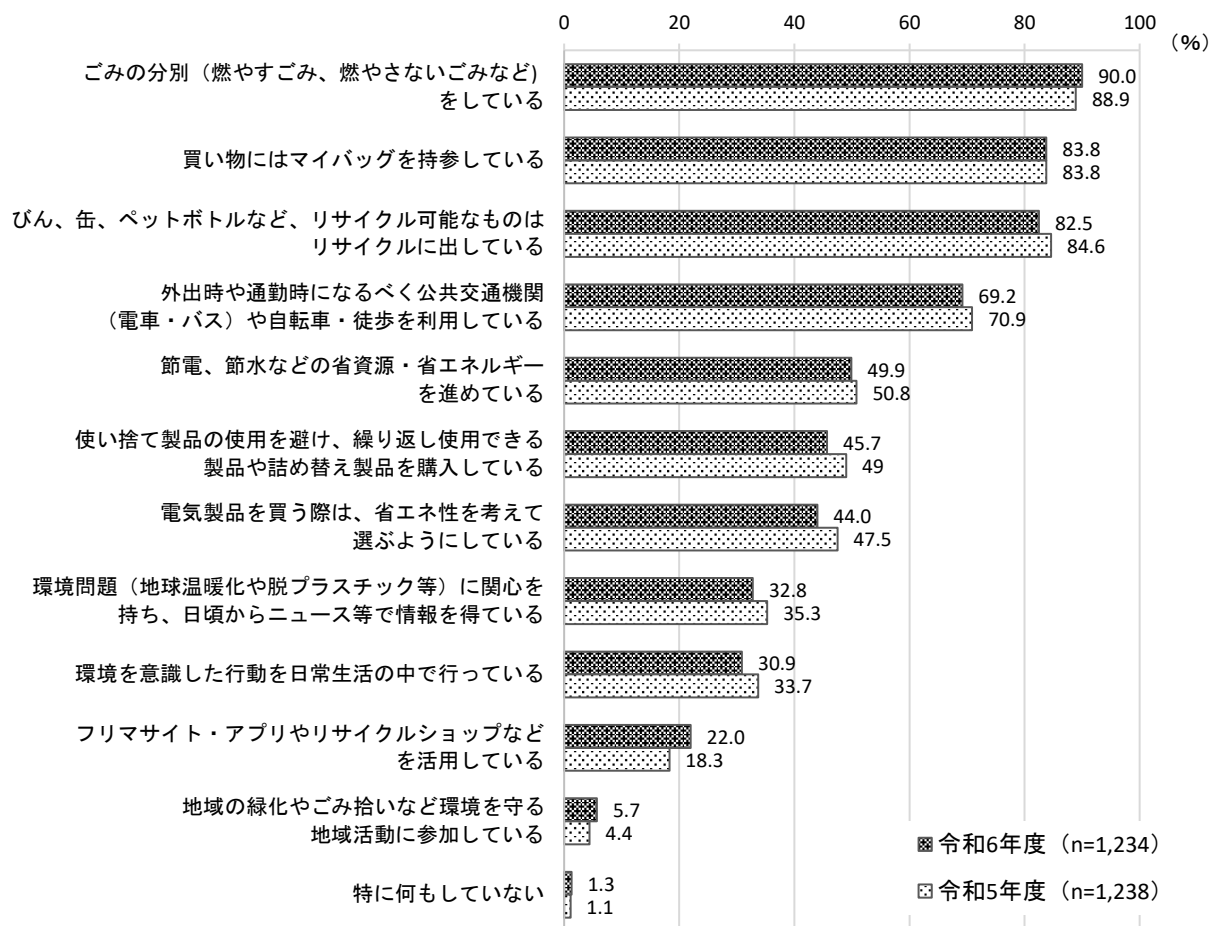
【地球温暖化対策と環境保全】

問5 あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が90.0%で最も高く、次いで「買い物にはマイバッグを持参している」（83.8%）、「びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している」（82.5%）となっている。
- ・前回調査と比較すると、「電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選ぶようにしている」が3.5ポイント減少、「使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している」が3.3ポイント減少している。

図表Ⅳ－13 環境に配慮した行動



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が1位となっている。次いで、白河地区、富岡地区、東陽地区、豊洲地区、亀戸地区、大島地区では「買い物にはマイバッグを持参している」が、小松橋地区、砂町地区、南砂地区では「びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している」が2位となっている。

図表Ⅳ－14 環境に配慮した行動（地区別）

													(%)
	n	環境を 意識した行動 を日常生活 の中で 行っている	外出時 や通勤 時になる べく公共交 通機関（電 車・バス）や 自転車・徒 歩を利用 している	節電、 節水など の省資源・ 省エネを 進めている	電気製 品を買う 際は、省 エネを考 えて選ぶ よう にしている	使い捨て の製品を 避け、繰 り返して 使える製 品や詰め 替え製品 を購入し ている	フリマ サイ・ア ブリサイ クルシヨ ッなど を活用 している	ごみの 分別（燃 やすごみ 、燃や さない ごみなど） をしている	びん、 缶、ペ ットボ トルな ど、リ サイク ル可 能なも の はリ サイク ルに 出 して いる	買い物 にはマ イバッ グを持 参して いる	環境問 題（地 球温暖 化や脱 プラ スチック 等）に 関心を 持ち、 日頃か らニュー ス等 で情 報を 得て いる	地域の 緑化や ごみ拾 いなど 環境を 守る地 域活動 に参加 してい る	特に何 もして いない
全体	1,234	30.9	69.2	49.9	44.0	45.7	22.0	90.0	82.5	83.8	32.8	5.7	1.3
白河	127	37.0	72.4	49.6	46.5	44.9	26.8	89.0	81.9	84.3	23.6	6.3	3.1
小松橋	79	35.4	68.4	44.3	44.3	43.0	22.8	91.1	82.3	77.2	31.6	6.3	1.3
富岡	92	28.3	66.3	54.3	37.0	42.4	21.7	92.4	80.4	81.5	38.0	7.6	0.0
東陽	94	33.0	74.5	51.1	36.2	46.8	19.1	90.4	78.7	89.4	30.9	3.2	2.1
豊洲	280	36.8	65.0	51.4	51.8	50.0	26.8	89.3	83.9	84.6	41.1	6.4	1.4
亀戸	138	23.9	73.9	47.8	44.2	43.5	21.0	90.6	84.1	84.8	30.4	5.8	0.7
大島	135	26.7	68.9	51.1	31.9	41.5	13.3	88.9	77.8	81.5	32.6	3.0	1.5
砂町	178	24.2	70.8	53.4	47.2	46.1	19.1	91.0	85.4	84.3	24.2	6.2	0.6
南砂	96	31.3	70.8	41.7	43.8	45.8	21.9	91.7	85.4	84.4	36.5	4.2	0.0
居住地区不詳	15	26.7	40.0	40.0	40.0	53.3	33.3	73.3	73.3	80.0	46.7	13.3	6.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに、「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」が1位であり、次いで、男性では「びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している」が、女性では「買い物にはマイバッグを持参している」が2位となっている。
- ・年齢別にみると、男性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」の割合は、45～54歳と60歳以上で男性全体を上回っている。女性では「ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみなど）をしている」の割合は、18～19歳と50歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－15 環境に配慮した行動（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	環境を 意識した行動 を日常生活で 行っている	外出時 や通勤時 になるべく 公共交通機 関（電・バ ス）や自 転車・徒 歩を利用 している	節電、 節水など の省エネ を進めて いる	電製品を 買う際は、 省エネを 考えて選 ぶように している	使い捨て 製品の使 用を避け、 繰り返し 使用する 製品や替 え製品を 購入して いる	フリマ サイト・ア プライサイ クルショ ップなど を活用し ている	ごみの 分別（燃 やすごみ、 燃やさない ごみなど） をしている	びん、 缶、ペッ トルなど、 リサイクル 可能なも のはリサイ クルに出 している	買い物 にはマイ バッグを持 参している	環境問 題（地球 温暖化や 脱プラ スチック 等）に関 心をもち、 日頃から ニュース 等で情 報を得て いる	地域の 緑化や ごみ拾 いなど 環境を 守る地 域活動 に参加 している	特に何 もし ない
全体	496	30.4	62.3	42.7	39.3	37.9	17.5	87.3	79.6	74.8	31.5	5.2	2.6
18～19歳	8	37.5	100.0	50.0	12.5	50.0	37.5	75.0	75.0	75.0	37.5	12.5	0.0
20～24歳	13	30.8	30.8	15.4	23.1	38.5	23.1	69.2	53.8	38.5	46.2	15.4	0.0
25～29歳	22	31.8	81.8	45.5	13.6	27.3	9.1	86.4	63.6	59.1	22.7	4.5	0.0
30～34歳	23	34.8	73.9	30.4	39.1	34.8	17.4	69.6	69.6	73.9	17.4	13.0	8.7
35～39歳	33	45.5	45.5	30.3	39.4	39.4	27.3	72.7	69.7	66.7	12.1	0.0	6.1
40～44歳	46	23.9	54.3	28.3	23.9	30.4	34.8	82.6	78.3	80.4	8.7	4.3	6.5
45～49歳	49	22.4	55.1	36.7	34.7	30.6	18.4	89.8	73.5	73.5	22.4	2.0	2.0
50～54歳	47	29.8	59.6	40.4	42.6	42.6	21.3	91.5	74.5	72.3	34.0	6.4	0.0
55～59歳	53	34.0	69.8	50.9	49.1	39.6	20.8	86.8	88.7	71.7	37.7	5.7	1.9
60～64歳	46	39.1	60.9	45.7	52.2	43.5	23.9	93.5	87.0	84.8	47.8	4.3	2.2
65～69歳	37	24.3	59.5	54.1	35.1	35.1	10.8	94.6	83.8	89.2	35.1	2.7	2.7
70～74歳	40	22.5	77.5	40.0	40.0	42.5	5.0	95.0	90.0	75.0	40.0	12.5	2.5
75歳以上	78	30.8	62.8	56.4	48.7	39.7	3.8	91.0	85.9	76.9	39.7	2.6	1.3
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	環境を 意識した行動 を日常生活 で行って いる	外出時 や通勤時 になるべく 公共交通機 関（電・バ ス）や自 転車・徒 歩を利用 している	節電、 節水など の省エネ を進めて いる	電製品を 買う際は、 省エネを 考えて選 ぶように している	使い捨て 製品の使 用を避け、 繰り返し 使用する 製品や替 え製品を 購入して いる	フリマ サイト・ア プライサイ クルショ ップなど を活用し ている	ごみの 分別（燃 やすごみ、 燃やさない ごみなど） をしている	びん、 缶、ペッ トルなど、 リサイクル 可能なも のはリサイ クルに出 している	買い物 にはマイ バッグを持 参している	環境問 題（地球 温暖化や 脱プラ スチック 等）に関 心をもち、 日頃から ニュース 等で情 報を得て いる	地域の 緑化や ごみ拾 いなど 環境を 守る地 域活動 に参加 している	特に何 もし ない
全体	685	32.3	74.7	55.2	47.9	51.8	26.3	92.0	84.8	90.8	33.3	5.7	0.3
18～19歳	4	50.0	75.0	100.0	50.0	50.0	25.0	100.0	50.0	75.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	17	23.5	76.5	47.1	11.8	29.4	41.2	76.5	52.9	76.5	23.5	5.9	5.9
25～29歳	45	24.4	80.0	46.7	20.0	44.4	24.4	88.9	53.3	80.0	17.8	2.2	0.0
30～34歳	49	22.4	71.4	46.9	32.7	40.8	44.9	85.7	73.5	91.8	18.4	4.1	0.0
35～39歳	45	40.0	66.7	46.7	44.4	48.9	48.9	88.9	82.2	84.4	22.2	2.2	0.0
40～44歳	64	32.8	62.5	51.6	37.5	50.0	35.9	84.4	82.8	85.9	17.2	4.7	0.0
45～49歳	78	28.2	73.1	52.6	51.3	53.8	34.6	89.7	87.2	91.0	26.9	7.7	0.0
50～54歳	83	37.3	73.5	54.2	54.2	55.4	34.9	97.6	89.2	91.6	41.0	4.8	0.0
55～59歳	64	31.3	76.6	57.8	57.8	57.8	15.6	95.3	93.8	98.4	37.5	1.6	0.0
60～64歳	46	34.8	84.8	56.5	50.0	54.3	15.2	95.7	97.8	93.5	45.7	6.5	0.0
65～69歳	48	43.8	81.3	77.1	68.8	66.7	18.8	93.8	95.8	93.8	50.0	16.7	0.0
70～74歳	47	38.3	83.0	61.7	57.4	59.6	10.6	97.9	87.2	95.7	36.2	10.6	0.0
75歳以上	94	27.7	75.5	55.3	53.2	45.7	7.4	94.7	90.4	93.6	47.9	4.3	1.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

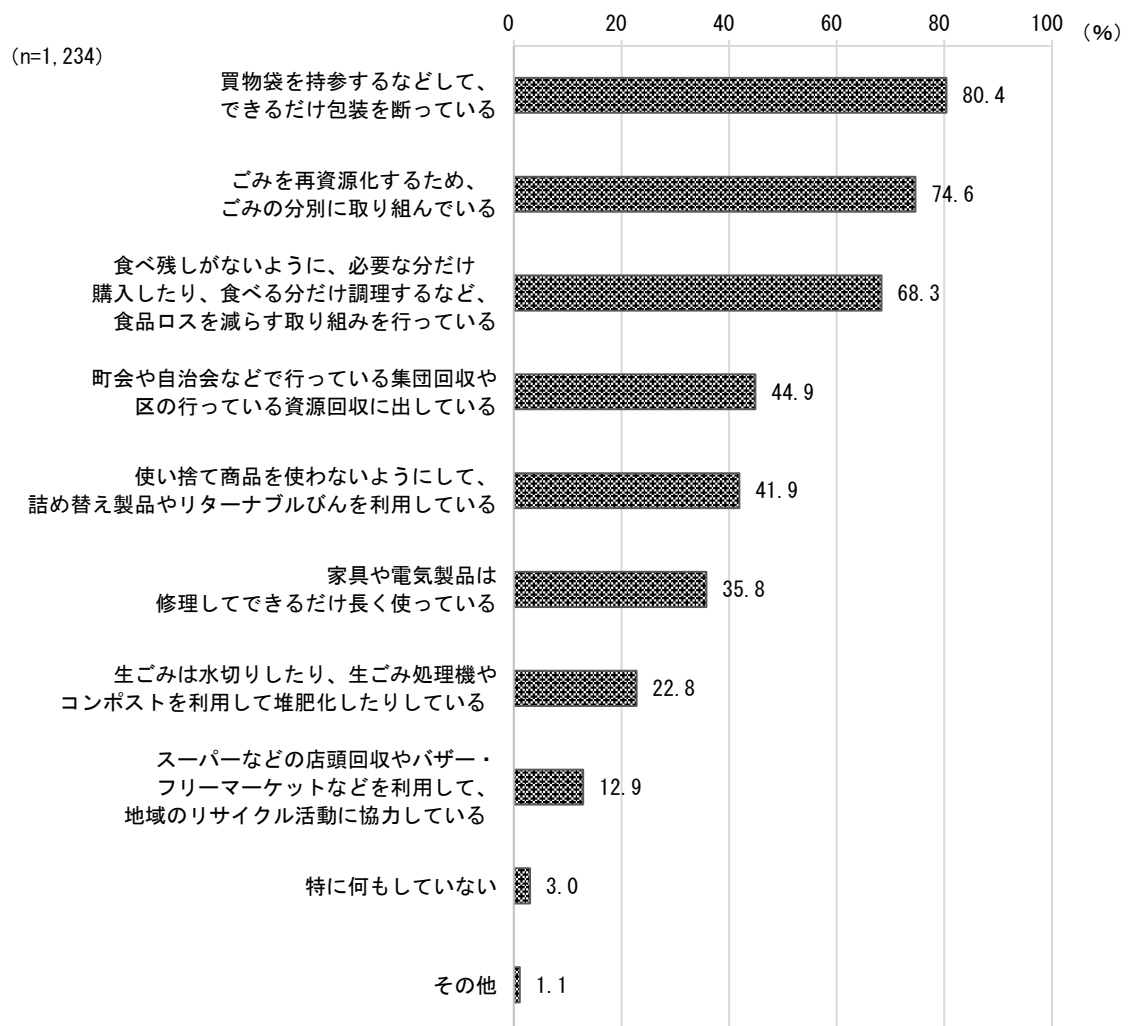
【持続可能な資源循環型地域社会の形成】

問6 あなたは、以下のようなごみを減らすための行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

<全体>

- ・「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」が80.4%で最も高く、次いで「ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる」（74.6%）、「食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロスを減らす取り組みを行っている」（68.3%）となっている。
- ・一方で、「特に何もしていない」と回答した人が、3.0%となっている。

図表Ⅳ－16 ゴみを減らすための行動



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」が1位となっている。次いで、どの地区でも「ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる」が2位であり、東陽地区のみ「食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロスを減らす取り組みを行っている」が同率で2位となっている。

図表Ⅳ－17 ゴミを減らすための行動（地区別）

(%)

	n	買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている	食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロスを減らす取り組みを行っている	使い捨て商品を使わないようにして、詰め替え製品やリターナブル品を利用している	町会や自治会などで行っている集団回収や区の行っている資源回収に出している	家具や電気製品は修理してできるだけ長く使っている	生ごみは水切りし、生ごみ処理機やコンポストを利用して堆肥化している	スーパーなどの店頭回収やバザー・フリーマーケットなどを利用して、地域のリサイクル活動に協力している	ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる	その他	特に何もしていない
全体	1,234	80.4	68.3	41.9	44.9	35.8	22.8	12.9	74.6	1.1	3.0
白河	127	81.1	75.6	39.4	47.2	43.3	26.0	15.0	76.4	0.8	0.8
小松橋	79	74.7	57.0	41.8	40.5	25.3	26.6	10.1	74.7	1.3	5.1
富岡	92	78.3	65.2	38.0	37.0	40.2	16.3	5.4	72.8	0.0	2.2
東陽	94	83.0	66.0	39.4	39.4	27.7	24.5	14.9	66.0	2.1	4.3
豊洲	280	77.9	71.4	46.4	39.3	38.9	28.6	13.2	77.1	1.4	3.2
亀戸	138	80.4	68.8	38.4	52.9	35.5	21.7	16.7	76.1	2.2	3.6
大島	135	80.0	63.7	37.0	42.2	28.1	12.6	11.1	67.4	0.7	6.7
砂町	178	84.3	71.9	46.1	51.7	36.5	21.3	12.4	77.5	0.6	1.7
南砂	96	85.4	64.6	44.8	52.1	38.5	20.8	12.5	79.2	0.0	0.0
居住地区不詳	15	73.3	60.0	26.7	60.0	40.0	26.7	26.7	66.7	6.7	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに、「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」「ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる」が1位と2位を占めている。
- ・年齢別にみると、男性では「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」の割合は、18～19歳、30～34歳、40～44歳、50歳以上で男性全体を上回っている。女性では「買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている」の割合は、30～34歳、40～44歳、50～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－18 ゴミを減らすための行動（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	買物袋を持参するなど、 できるだけ包装を断っている	食べ残しがないように、 必要な分だけ購入したり、 食べる分だけ調理するなど、 食品ロスを減らす取り組み を行っている	使い捨て商品を使わないように して、詰め替え製品やリター ナブルびんを利用している	町会や自治会などで行って いる集団回収や区で行って いる資源回収に出している	家具や電気製品は修理して できるだけ長く使っている	生ごみは水切りしたり、生 ごみ処理機やコンポストを 利用して堆肥化したりして いる	スーパーなどの店頭回収や バザー・フリーマーケット などを利用して、地域の リサイクル活動に協力して いる	ごみを再資源化するため、 ごみの分別に取り組んで いる	その他	特に何もしていない
全体	496	71.6	63.9	34.1	38.3	33.9	14.7	9.3	72.0	0.8	4.6
18～19歳	8	75.0	75.0	37.5	25.0	37.5	12.5	25.0	50.0	0.0	0.0
20～24歳	13	38.5	61.5	15.4	7.7	23.1	7.7	0.0	53.8	0.0	15.4
25～29歳	22	63.6	63.6	22.7	22.7	27.3	9.1	4.5	59.1	0.0	9.1
30～34歳	23	73.9	60.9	30.4	26.1	21.7	13.0	8.7	60.9	0.0	17.4
35～39歳	33	63.6	63.6	39.4	24.2	21.2	21.2	9.1	63.6	3.0	3.0
40～44歳	46	73.9	60.9	39.1	26.1	37.0	15.2	10.9	65.2	0.0	6.5
45～49歳	49	67.3	57.1	28.6	26.5	40.8	20.4	4.1	69.4	2.0	6.1
50～54歳	47	74.5	74.5	42.6	34.0	36.2	21.3	14.9	72.3	2.1	2.1
55～59歳	53	73.6	71.7	34.0	43.4	43.4	13.2	13.2	73.6	0.0	3.8
60～64歳	46	71.7	71.7	30.4	39.1	32.6	15.2	6.5	80.4	0.0	2.2
65～69歳	37	75.7	67.6	40.5	48.6	18.9	13.5	8.1	78.4	0.0	0.0
70～74歳	40	75.0	50.0	30.0	62.5	32.5	5.0	7.5	87.5	0.0	2.5
75歳以上	78	75.6	59.0	34.6	53.8	39.7	12.8	10.3	75.6	1.3	3.8
年齢不詳	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	買物袋を持参するなど、 できるだけ包装を断っている	食べ残しがないように、 必要な分だけ購入したり、 食べる分だけ調理するなど、 食品ロスを減らす取り組み を行っている	使い捨て商品を使わないように して、詰め替え製品やリター ナブルびんを利用している	町会や自治会などで行って いる集団回収や区で行って いる資源回収に出している	家具や電気製品は修理して できるだけ長く使っている	生ごみは水切りしたり、生 ごみ処理機やコンポストを 利用して堆肥化したりして いる	スーパーなどの店頭回収や バザー・フリーマーケット などを利用して、地域の リサイクル活動に協力して いる	ごみを再資源化するため、 ごみの分別に取り組んで いる	その他	特に何もしていない
全体	685	87.4	72.4	48.0	48.5	37.2	28.8	15.5	75.9	1.2	1.9
18～19歳	4	75.0	75.0	25.0	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
20～24歳	17	64.7	64.7	41.2	29.4	11.8	17.6	11.8	52.9	0.0	11.8
25～29歳	45	73.3	71.1	37.8	24.4	22.2	15.6	4.4	55.6	0.0	2.2
30～34歳	49	89.8	63.3	53.1	18.4	16.3	26.5	8.2	61.2	0.0	2.0
35～39歳	45	82.2	66.7	40.0	35.6	35.6	28.9	22.2	64.4	0.0	4.4
40～44歳	64	87.5	71.9	43.8	35.9	31.3	23.4	21.9	64.1	0.0	6.3
45～49歳	78	87.2	69.2	52.6	39.7	38.5	26.9	16.7	80.8	0.0	1.3
50～54歳	83	91.6	83.1	50.6	55.4	43.4	31.3	16.9	83.1	2.4	1.2
55～59歳	64	92.2	81.3	45.3	54.7	39.1	37.5	12.5	82.8	1.6	0.0
60～64歳	46	93.5	67.4	54.3	50.0	41.3	39.1	6.5	87.0	0.0	0.0
65～69歳	48	91.7	79.2	54.2	72.9	43.8	33.3	25.0	87.5	4.2	0.0
70～74歳	47	89.4	68.1	57.4	68.1	48.9	38.3	19.1	87.2	4.3	0.0
75歳以上	94	87.2	71.3	43.6	68.1	46.8	23.4	14.9	79.8	1.1	1.1
年齢不詳	1	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

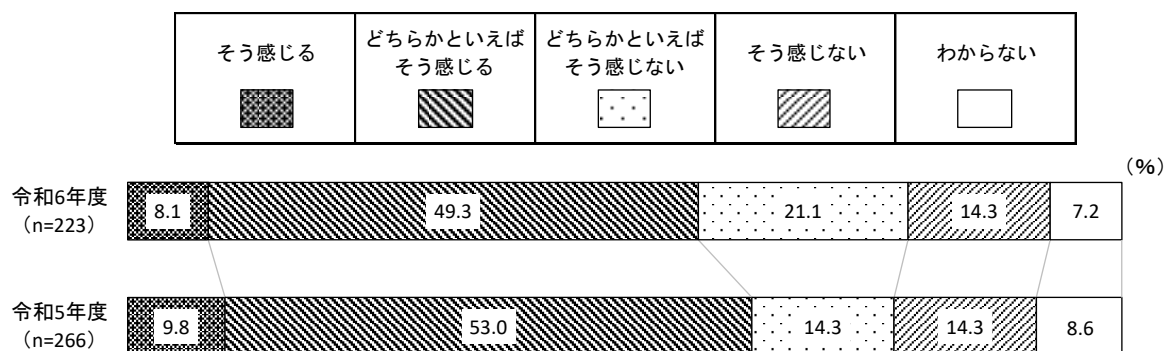
【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問7 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう感じる」が49.3%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう感じない」が21.1%、「そう感じない」(14.3%)となっている。
- ・「そう感じる」(8.1%)と「どちらかといえばそう感じる」(49.3%)を合わせた『そう感じる(計)』の割合は57.4%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「わからない」が1.4ポイント減少している。

図表Ⅳ－19 地域に見守られた子育てに対する評価

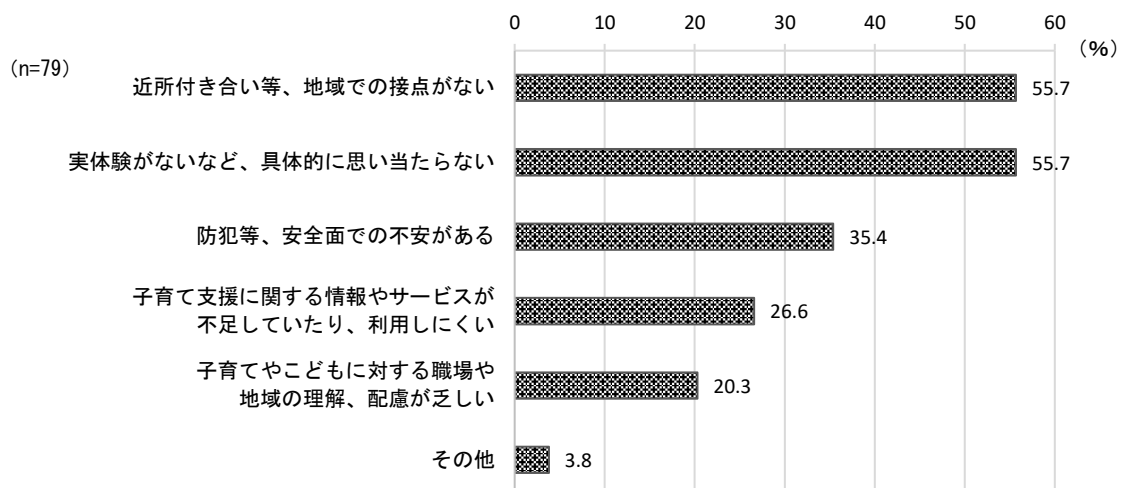


問7－1 問7で「3. どちらかといえばそう感じない」「4. そう感じない」を選んだ方におたずねします。
地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

＜全体／経年比較＞

- ・「近所付き合い等、地域での接点がない」「実体験がないなど、具体的に思い当たらない」がともに55.7%で最も多く、次いで「防犯等、安全面での不安がある」(35.4%)となっている。

図表Ⅳ－20 地域に見守られて子育てしていると感じない理由

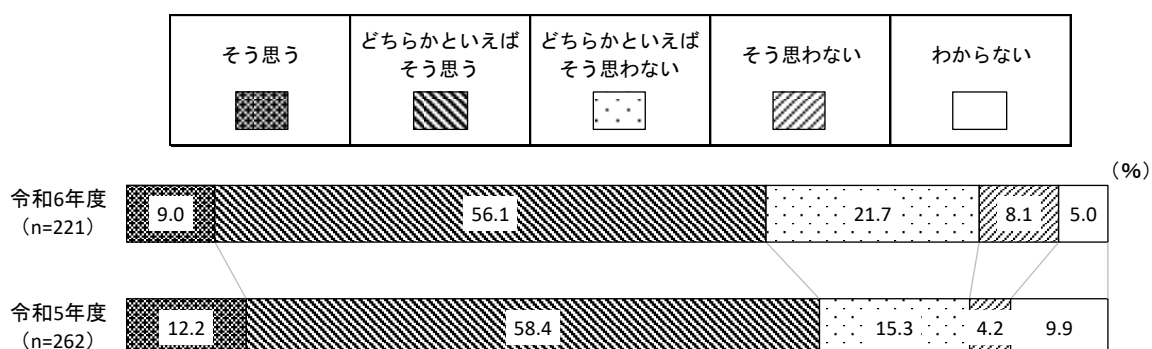


問8 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。
あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が56.1%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(21.7%)となっている。
- ・「そう思う」(9.0%)と「どちらかといえばそう思う」(56.1%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は65.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が5.5ポイント減少している。

図表Ⅳ-21 子育て情報の入手の容易さ

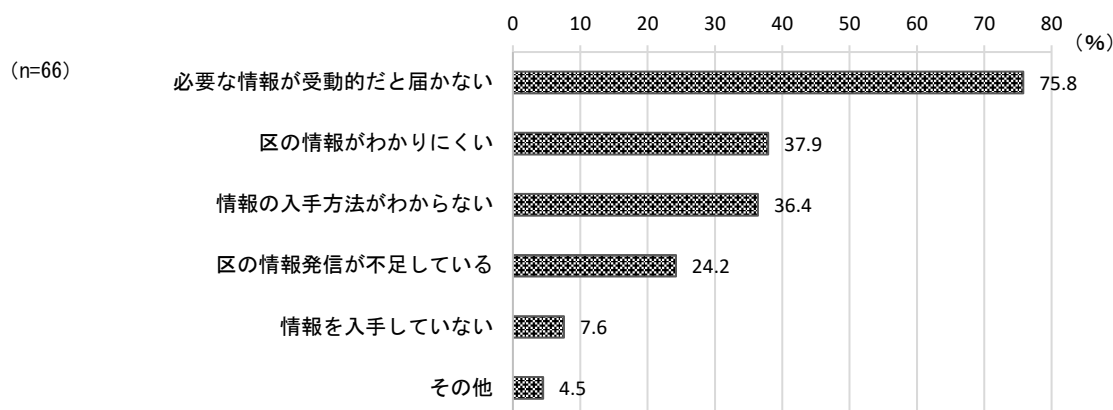


問8-1 問8で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」を選んだ方におたずねします。
必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体>

- ・「必要な情報が受動的だと届かない」が75.8%で最も高く、次いで「区の情報がわかりにくい」(37.9%)、「情報の入手方法がわからない」(36.4%)となっている。

図表Ⅳ-22 必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由

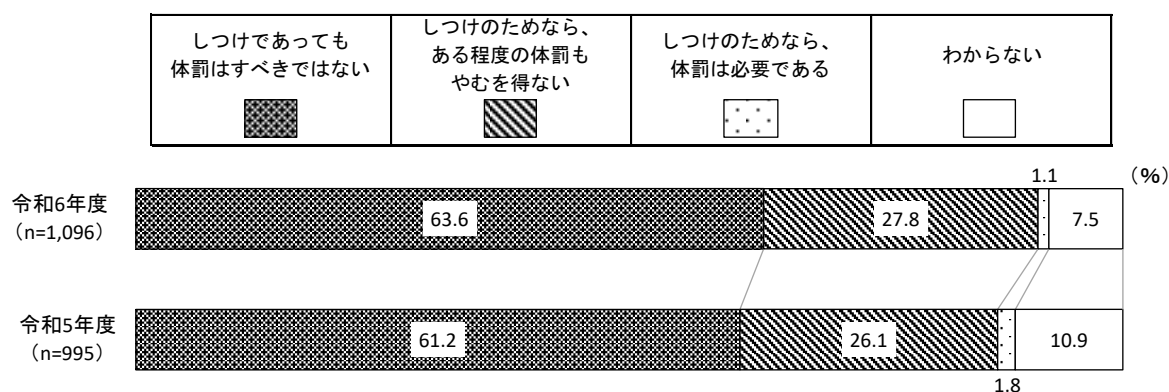


問9 こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「しつけであっても体罰はすべきではない」が63.6%で最も高く、次いで「しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない」(27.8%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「しつけであっても体罰はすべきではない」が2.4ポイント増加している。

図表Ⅳ-23 しつけと体罰の認識



① 地区別

- ・地区別では、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、大島地区 (68.1%)、富岡地区 (67.1%)、砂町地区 (66.0%)、東陽地区 (65.0%)、小松橋地区 (64.8%)、亀戸地区 (64.8%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ-24 しつけと体罰の認識 (地区別)

	n	しつけであっても体罰はすべきではない	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	しつけのためなら、体罰は必要である	わからない
全体	1,096	63.6	27.8	1.1	7.5
白河	112	57.1	36.6	0.9	5.4
小松橋	71	64.8	23.9	1.4	9.9
富岡	85	67.1	27.1	1.2	4.7
東陽	80	65.0	28.8	0.0	6.3
豊洲	251	60.6	27.1	3.2	9.2
亀戸	128	64.8	26.6	0.8	7.8
大島	116	68.1	25.9	0.0	6.0
砂町	150	66.0	26.7	0.0	7.3
南砂	89	61.8	30.3	0.0	7.9
居住地区不詳	14	71.4	14.3	0.0	14.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、女性（67.6%）の方が男性（58.0%）より9.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「しつけであっても体罰はすべきではない」の割合は、男性では18～34歳と60歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～39歳、55～59歳、65～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－25 しつけと体罰の認識（性年齢別）

＜男性＞		（％）			
	n	しつけであつても体罰はすべきではない	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	しつけのためなら、体罰は必要である	わからない
全体	441	58.0	32.0	1.4	8.6
18～19歳	8	87.5	12.5	0.0	0.0
20～24歳	13	69.2	15.4	0.0	15.4
25～29歳	21	76.2	19.0	0.0	4.8
30～34歳	23	69.6	17.4	4.3	8.7
35～39歳	32	56.3	34.4	0.0	9.4
40～44歳	46	45.7	39.1	0.0	15.2
45～49歳	49	49.0	44.9	2.0	4.1
50～54歳	43	53.5	32.6	0.0	14.0
55～59歳	50	38.0	40.0	6.0	16.0
60～64歳	44	68.2	31.8	0.0	0.0
65～69歳	27	63.0	29.6	3.7	3.7
70～74歳	32	68.8	28.1	0.0	3.1
75歳以上	52	65.4	25.0	0.0	9.6
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0

＜女性＞		（％）			
	n	しつけであつても体罰はすべきではない	しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない	しつけのためなら、体罰は必要である	わからない
全体	612	67.6	25.0	0.7	6.7
18～19歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	18	94.4	5.6	0.0	0.0
25～29歳	44	79.5	18.2	2.3	0.0
30～34歳	46	69.6	19.6	0.0	10.9
35～39歳	45	73.3	24.4	0.0	2.2
40～44歳	62	59.7	33.9	0.0	6.5
45～49歳	77	64.9	29.9	1.3	3.9
50～54歳	83	63.9	28.9	1.2	6.0
55～59歳	60	68.3	23.3	0.0	8.3
60～64歳	42	54.8	23.8	0.0	21.4
65～69歳	41	73.2	22.0	0.0	4.9
70～74歳	32	87.5	12.5	0.0	0.0
75歳以上	57	54.4	31.6	1.8	12.3
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0

問10 あなたは、児童虐待を疑ったときの通告先について知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「知らない」が62.3%で、「知っている」(37.7%)を上回っている。

図表Ⅳ-26 児童虐待に対する通告先の認知度



① 地区別

- ・地区別では、児童虐待を疑ったときの通告先を「知っている」割合は、亀戸地区(44.4%)、豊洲地区(42.7%)、砂町地区(38.9%)、白河地区(38.5%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-27 児童虐待に対する通告先の認知度(地区別)

	n	知っている	知らない
全体	1,077	37.7	62.3
白河	109	38.5	61.5
小松橋	67	35.8	64.2
富岡	88	35.2	64.8
東陽	80	33.8	66.3
豊洲	248	42.7	57.3
亀戸	124	44.4	55.6
大島	115	32.2	67.8
砂町	149	38.9	61.1
南砂	83	26.5	73.5
居住地区不詳	14	28.6	71.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、児童虐待を疑ったときの通告先を「知っている」の割合は、女性（40.1％）の方が男性（34.3％）より5.8ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、児童虐待を疑ったときの通告先を「知っている」の割合は、男性では18～19歳、25～39歳、55～64歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では30～44歳、50～54歳、65～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－28 児童虐待に対する通告先の認知度（性年齢別）

<男性>		（％）	
	n	知っている	知らない
全体	435	34.3	65.7
18～19歳	8	50.0	50.0
20～24歳	13	30.8	69.2
25～29歳	21	42.9	57.1
30～34歳	23	47.8	52.2
35～39歳	33	39.4	60.6
40～44歳	46	21.7	78.3
45～49歳	49	32.7	67.3
50～54歳	42	26.2	73.8
55～59歳	49	36.7	63.3
60～64歳	44	36.4	63.6
65～69歳	27	18.5	81.5
70～74歳	32	43.8	56.3
75歳以上	47	36.2	63.8
年齢不詳	1	100.0	0.0

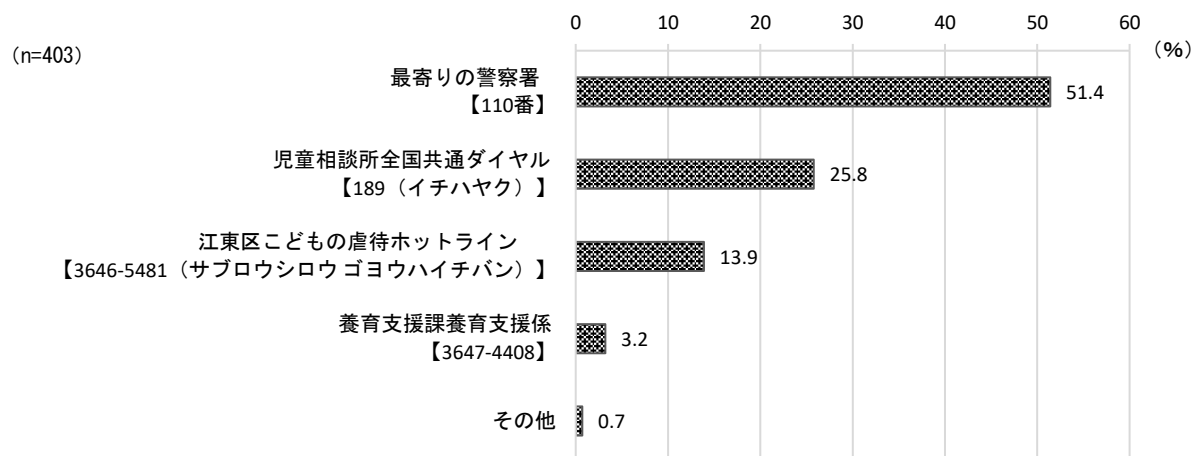
<女性>		（％）	
	n	知っている	知らない
全体	604	40.1	59.9
18～19歳	4	25.0	75.0
20～24歳	18	38.9	61.1
25～29歳	45	35.6	64.4
30～34歳	45	46.7	53.3
35～39歳	45	42.2	57.8
40～44歳	62	41.9	58.1
45～49歳	76	38.2	61.8
50～54歳	82	40.2	59.8
55～59歳	59	39.0	61.0
60～64歳	40	35.0	65.0
65～69歳	38	47.4	52.6
70～74歳	31	45.2	54.8
75歳以上	58	36.2	63.8
年齢不詳	1	0.0	100.0

問10ー1 問10で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
 知っている通告先を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

<全体>

- ・知っていた通告先では、「最寄りの警察署【110番】」が51.4%で最も高く、次いで「児童相談所全国共通ダイヤル【189（イチハヤク）】」（25.8%）となっている。

図表Ⅳ－29 児童虐待に対する通告先



【一人一人に向き合う学校教育の充実】

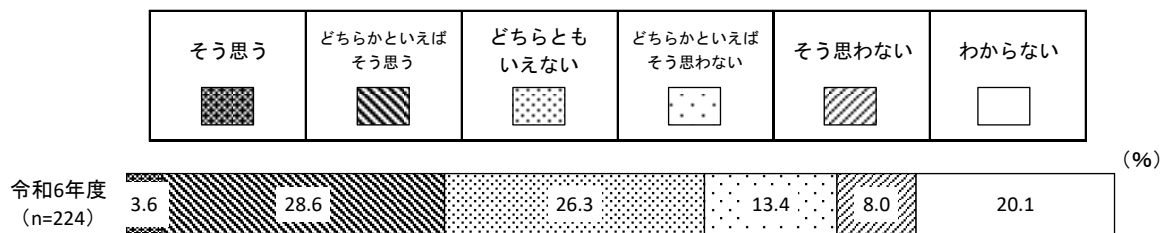
問11 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

江東区では、児童・生徒一人一人に向き合った教育を推進していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「どちらかといえばそう思う」が28.6%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(26.3%)となっている。
- ・「そう思う」(3.6%)と「どちらかといえばそう思う」(28.6%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は32.2%となっている。

図表Ⅳ－30 一人一人に向き合った教育への認知度



【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問12 あなたは、こどもが安全・安心に過ごせる居場所があると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「どちらかといえばそう思う」が30.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(25.8%)となっている。
- ・「そう思う」(11.2%)と「どちらかといえばそう思う」(30.4%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は41.6%となっている。

図表Ⅳ－31 こどもの居場所の有無に関する認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(52.0%)、富岡地区(43.6%)、小松橋地区(42.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－32 こどもの居場所の有無に関する認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い	わからない
全体	1,084	11.2	30.4	25.8	7.9	5.5	19.2
白河	113	7.1	26.5	33.6	12.4	6.2	14.2
小松橋	69	11.6	30.4	26.1	2.9	11.6	17.4
富岡	85	11.8	31.8	22.4	7.1	5.9	21.2
東陽	83	12.0	28.9	30.1	3.6	3.6	21.7
豊洲	254	15.0	37.0	24.0	5.9	3.1	15.0
亀戸	123	8.9	30.9	26.0	7.3	1.6	25.2
大島	111	9.0	28.8	27.9	6.3	5.4	22.5
砂町	146	10.3	24.0	21.9	11.6	8.9	23.3
南砂	86	9.3	26.7	23.3	14.0	8.1	18.6
居住地区不詳	14	21.4	35.7	28.6	7.1	7.1	0.0

(%)

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（44.3%）の方が女性（40.0%）より4.3ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～54歳において、男性全体を上回っている。女性においても18～49歳で、女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－33 こどもの居場所の有無に関する認識（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	わからない
全体	445	12.8	31.5	23.4	9.2	4.9	18.2
18～19歳	8	37.5	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	13	61.5	0.0	23.1	7.7	0.0	7.7
25～29歳	22	9.1	40.9	18.2	4.5	0.0	27.3
30～34歳	23	8.7	39.1	17.4	13.0	13.0	8.7
35～39歳	32	18.8	50.0	12.5	3.1	0.0	15.6
40～44歳	46	17.4	37.0	15.2	8.7	2.2	19.6
45～49歳	49	16.3	28.6	18.4	16.3	6.1	14.3
50～54歳	44	11.4	36.4	34.1	4.5	0.0	13.6
55～59歳	50	8.0	34.0	30.0	6.0	8.0	14.0
60～64歳	47	2.1	29.8	31.9	8.5	4.3	23.4
65～69歳	29	10.3	24.1	20.7	24.1	6.9	13.8
70～74歳	31	0.0	19.4	16.1	19.4	6.5	38.7
75歳以上	50	14.0	24.0	28.0	2.0	10.0	22.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

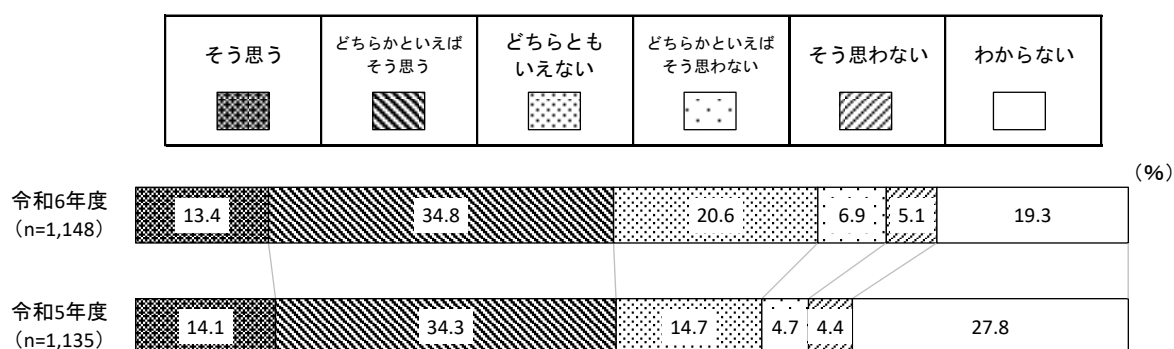
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	わからない
全体	605	10.1	29.9	27.6	6.9	6.0	19.5
18～19歳	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	17	17.6	29.4	11.8	23.5	5.9	11.8
25～29歳	45	8.9	40.0	26.7	2.2	2.2	20.0
30～34歳	47	14.9	44.7	23.4	2.1	2.1	12.8
35～39歳	44	18.2	27.3	27.3	9.1	4.5	13.6
40～44歳	62	16.1	37.1	29.0	6.5	3.2	8.1
45～49歳	78	11.5	41.0	17.9	7.7	6.4	15.4
50～54歳	82	8.5	29.3	32.9	7.3	2.4	19.5
55～59歳	59	3.4	25.4	47.5	5.1	1.7	16.9
60～64歳	41	7.3	9.8	29.3	9.8	9.8	34.1
65～69歳	41	2.4	22.0	31.7	7.3	9.8	26.8
70～74歳	30	10.0	10.0	20.0	10.0	26.7	23.3
75歳以上	54	5.6	22.2	20.4	5.6	9.3	37.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問13 あなたは、行政や地域の活動（こども110番の家、地域でのパトロールなど）が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が34.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（20.6%）となっている。
- ・「そう思う」（13.4%）と「どちらかといえばそう思う」（34.8%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は48.2%となっている。

図表Ⅳ－34 行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、豊洲地区（54.4%）、亀戸地区（51.1%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－35 行政地域の活動がこどもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識（地区別）
(%)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い	わからない
全体	1,148	13.4	34.8	20.6	6.9	5.1	19.3
白河	116	10.3	35.3	26.7	6.0	6.0	15.5
小松橋	74	14.9	32.4	21.6	8.1	5.4	17.6
富岡	87	13.8	33.3	17.2	9.2	5.7	20.7
東陽	88	13.6	33.0	19.3	6.8	4.5	22.7
豊洲	265	17.0	37.4	18.1	6.0	3.4	18.1
亀戸	133	14.3	36.8	18.0	3.0	6.8	21.1
大島	123	8.1	35.8	22.8	8.1	5.7	19.5
砂町	158	13.3	33.5	20.9	7.6	3.8	20.9
南砂	90	10.0	30.0	24.4	10.0	6.7	18.9
居住地区不詳	14	21.4	28.6	21.4	7.1	7.1	14.3

② 性年齢別

- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～29歳、35～39歳、50～59歳、65～69歳において、男性全体を上回っている。女性では18～34歳、45～49歳、70～74歳で、女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－36 行政地域の活動が子どもたちの安全な地域環境づくりに役立っているという認識（性年齢別）

＜男性＞							(%)
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	464	14.4	33.2	19.0	7.8	5.4	20.3
18～19歳	8	50.0	12.5	0.0	12.5	0.0	25.0
20～24歳	13	30.8	38.5	7.7	0.0	7.7	15.4
25～29歳	22	13.6	36.4	18.2	4.5	0.0	27.3
30～34歳	23	17.4	21.7	21.7	4.3	13.0	21.7
35～39歳	33	12.1	45.5	12.1	9.1	3.0	18.2
40～44歳	47	12.8	31.9	12.8	17.0	2.1	23.4
45～49歳	49	8.2	28.6	24.5	14.3	6.1	18.4
50～54歳	43	18.6	37.2	16.3	4.7	4.7	18.6
55～59歳	52	5.8	46.2	23.1	1.9	3.8	19.2
60～64歳	47	12.8	25.5	27.7	8.5	8.5	17.0
65～69歳	31	19.4	35.5	19.4	9.7	3.2	12.9
70～74歳	36	13.9	30.6	16.7	5.6	8.3	25.0
75歳以上	59	16.9	27.1	20.3	5.1	6.8	23.7
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

＜女性＞							(%)
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	639	12.4	36.0	21.4	6.6	4.7	18.9
18～19歳	4	0.0	75.0	0.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	16.7	33.3	16.7	22.2	5.6	5.6
25～29歳	45	13.3	48.9	24.4	2.2	2.2	8.9
30～34歳	47	12.8	42.6	17.0	4.3	2.1	21.3
35～39歳	45	11.1	31.1	22.2	11.1	6.7	17.8
40～44歳	62	14.5	33.9	25.8	8.1	8.1	9.7
45～49歳	78	9.0	41.0	16.7	6.4	5.1	21.8
50～54歳	83	13.3	27.7	31.3	3.6	2.4	21.7
55～59歳	63	9.5	38.1	25.4	7.9	4.8	14.3
60～64歳	43	14.0	32.6	18.6	2.3	4.7	27.9
65～69歳	44	11.4	36.4	20.5	2.3	2.3	27.3
70～74歳	36	13.9	41.7	8.3	13.9	8.3	13.9
75歳以上	70	14.3	28.6	18.6	5.7	5.7	27.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

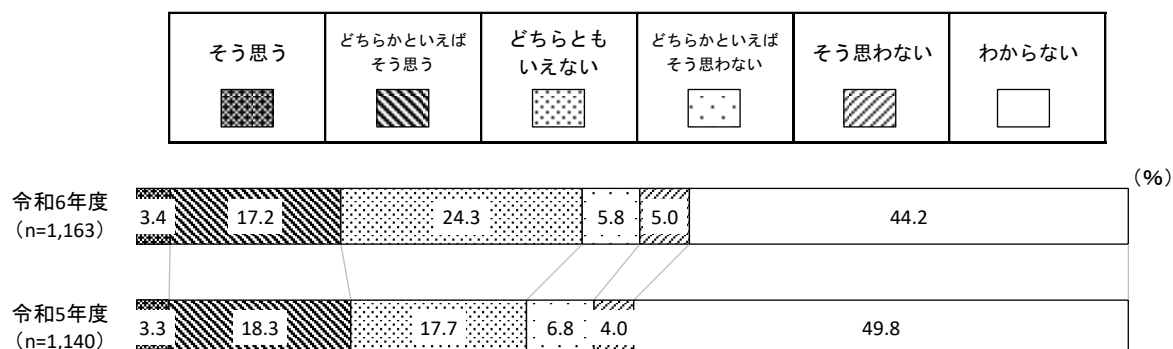
【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問14 江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

＜全体／経年比較＞

- ・「わからない」が44.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（24.3%）となっている。
- ・「そう思う」（3.4%）と「どちらかといえばそう思う」（17.2%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は20.6%となっている。

図表Ⅳ－37 青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、富岡地区（24.4%）、東陽地区（23.5%）、豊洲地区（22.9%）、砂町地区（21.5%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－38 青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識（地区別）

	n	そう思う	どちらか といえ ば そう 思う	どちら とも いえ ない	どちら か とい え ば そ う 思 わ ない	そう 思 わ ない	わ か ら な い
全体	1,163	3.4	17.2	24.3	5.8	5.0	44.2
白河	120	4.2	15.0	26.7	8.3	5.8	40.0
小松橋	75	2.7	9.3	24.0	8.0	9.3	46.7
富岡	90	4.4	20.0	22.2	4.4	4.4	44.4
東陽	89	2.2	21.3	22.5	5.6	2.2	46.1
豊洲	263	4.6	18.3	22.8	5.7	4.9	43.7
亀戸	129	2.3	17.8	26.4	4.7	4.7	44.2
大島	129	2.3	15.5	25.6	5.4	3.9	47.3
砂町	163	3.1	18.4	23.3	3.7	4.9	46.6
南砂	91	3.3	15.4	25.3	9.9	5.5	40.7
居住地区不詳	14	7.1	21.4	35.7	0.0	7.1	28.6

(%)

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（23.3%）の方が女性（18.7%）より4.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～29歳、35～49歳、65～69歳において、男性全体を上回っている。女性では18～24歳、40～49歳、60～64歳、70歳以上で、女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－39 青少年が健全に育つ環境が整備されているという認識（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い
全体	473	3.6	19.7	25.8	5.5	4.4	41.0
18～19歳	8	0.0	50.0	0.0	12.5	0.0	37.5
20～24歳	13	7.7	30.8	23.1	7.7	7.7	23.1
25～29歳	22	9.1	27.3	13.6	0.0	4.5	45.5
30～34歳	23	0.0	13.0	17.4	8.7	17.4	43.5
35～39歳	33	9.1	18.2	15.2	0.0	3.0	54.5
40～44歳	47	2.1	23.4	14.9	10.6	2.1	46.8
45～49歳	49	6.1	18.4	20.4	10.2	4.1	40.8
50～54歳	46	4.3	17.4	34.8	6.5	4.3	32.6
55～59歳	53	0.0	22.6	35.8	3.8	3.8	34.0
60～64歳	47	2.1	12.8	40.4	2.1	6.4	36.2
65～69歳	33	9.1	21.2	30.3	3.0	0.0	36.4
70～74歳	37	0.0	10.8	24.3	10.8	5.4	48.6
75歳以上	61	1.6	19.7	27.9	1.6	3.3	45.9
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

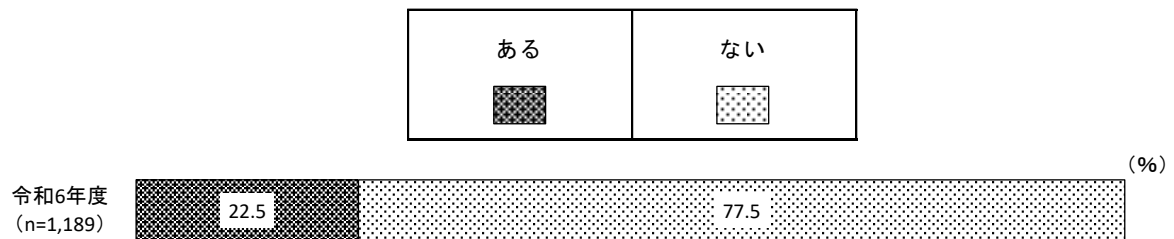
	n	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い
全体	646	2.9	15.8	23.4	6.5	5.3	46.1
18～19歳	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	18	5.6	16.7	11.1	22.2	5.6	38.9
25～29歳	45	2.2	8.9	22.2	4.4	4.4	57.8
30～34歳	47	6.4	10.6	19.1	6.4	6.4	51.1
35～39歳	45	2.2	13.3	28.9	4.4	11.1	40.0
40～44歳	63	3.2	15.9	25.4	11.1	1.6	42.9
45～49歳	78	1.3	20.5	20.5	5.1	6.4	46.2
50～54歳	84	2.4	14.3	29.8	4.8	4.8	44.0
55～59歳	63	3.2	14.3	27.0	6.3	9.5	39.7
60～64歳	44	2.3	18.2	20.5	9.1	2.3	47.7
65～69歳	45	0.0	17.8	26.7	4.4	6.7	44.4
70～74歳	41	4.9	14.6	22.0	4.9	0.0	53.7
75歳以上	68	1.5	19.1	17.6	5.9	4.4	51.5
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問15 あなたは、この1年間にサークルや趣味を目的として、区公共施設を利用または地域などの活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「ない」が77.5%で、「ある」(22.5%)を上回っている。

図表Ⅳ－40 サークルや趣味による地域活動状況



① 地区別

- ・地区別では、サークルや趣味による地域活動への参加が「ある」割合は、小松橋地区 (28.9%)、東陽地区 (28.3%)、富岡地区 (26.1%)、豊洲地区 (22.7%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－41 サークルや趣味による地域活動状況 (地区別)

	n	ある	ない
全体	1,189	22.5	77.5
白河	119	20.2	79.8
小松橋	76	28.9	71.1
富岡	92	26.1	73.9
東陽	92	28.3	71.7
豊洲	269	22.7	77.3
亀戸	136	19.9	80.1
大島	133	20.3	79.7
砂町	165	20.6	79.4
南砂	93	18.3	81.7
居住地区不詳	14	35.7	64.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、サークルや趣味による地域活動への参加が「ある」割合は、女性（24.7％）の方が男性（18.2％）より6.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、サークルや趣味による地域活動への参加が「ある」割合は、男性では18～24歳、30～34歳、40～54歳、60～69歳で男性全体を上回っている。女性では35～44歳、65歳以上で女性全体を上回り、特に高齢女性で高くなっている。

図表Ⅳ－42 サークルや趣味による地域活動状況（性年齢別）

<男性>		（％）	
	n	ある	ない
全体	483	18.2	81.8
18～19歳	8	25.0	75.0
20～24歳	13	23.1	76.9
25～29歳	22	18.2	81.8
30～34歳	23	26.1	73.9
35～39歳	33	18.2	81.8
40～44歳	47	19.1	80.9
45～49歳	49	26.5	73.5
50～54歳	46	19.6	80.4
55～59歳	53	11.3	88.7
60～64歳	47	19.1	80.9
65～69歳	33	30.3	69.7
70～74歳	40	10.0	90.0
75歳以上	68	10.3	89.7
年齢不詳	1	0.0	100.0

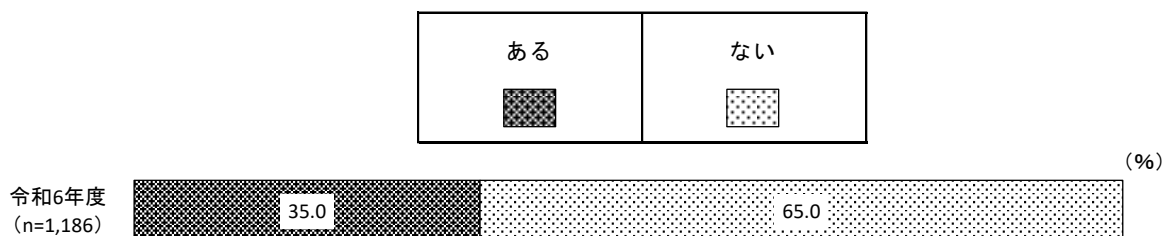
<女性>		（％）	
	n	ある	ない
全体	659	24.7	75.3
18～19歳	4	0.0	100.0
20～24歳	18	11.1	88.9
25～29歳	45	24.4	75.6
30～34歳	47	12.8	87.2
35～39歳	45	28.9	71.1
40～44歳	63	25.4	74.6
45～49歳	78	15.4	84.6
50～54歳	84	21.4	78.6
55～59歳	63	20.6	79.4
60～64歳	45	22.2	77.8
65～69歳	45	35.6	64.4
70～74歳	43	41.9	58.1
75歳以上	78	35.9	64.1
年齢不詳	1	0.0	100.0

問16 あなたは、SNSやスマートフォン等の安全な利用方法やルール、マナーについて学んだことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「ない」が65.0%で、「ある」(35.0%)を上回っている。

図表Ⅳ－43 SNS等利用ルールの学習状況



① 地区別

- ・地区別では、SNS等利用ルールの学習が「ある」割合は、豊洲地区 (41.0%)、白河地区 (38.3%)、小松橋地区 (37.3%)、富岡地区 (37.0%)、亀戸地区 (35.1%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－44 SNS等利用ルールの学習状況 (地区別)

	n	ある	ない
全体	1,186	35.0	65.0
白河	120	38.3	61.7
小松橋	75	37.3	62.7
富岡	92	37.0	63.0
東陽	92	31.5	68.5
豊洲	268	41.0	59.0
亀戸	134	35.1	64.9
大島	133	32.3	67.7
砂町	165	30.3	69.7
南砂	93	29.0	71.0
居住地区不詳	14	7.1	92.9

② 性年齢別

- ・男女別にみると、SNS等利用ルール of 学習が「ある」割合は、女性（37.1%）の方が男性（32.3%）より4.8ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、SNS等利用ルール of 学習が「ある」割合は、男性では18～39歳、45～49歳、55～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～39歳、45～49歳、55～59歳で女性全体を上回っている。男女ともに、若い年代で「ある」割合が高くなっている。

図表Ⅳ－45 SNS 等利用ルール of 学習状況（性年齢別）

<男性> (％)

	n	ある	ない
全体	483	32.3	67.7
18～19歳	8	87.5	12.5
20～24歳	13	69.2	30.8
25～29歳	22	68.2	31.8
30～34歳	23	60.9	39.1
35～39歳	33	54.5	45.5
40～44歳	47	23.4	76.6
45～49歳	49	44.9	55.1
50～54歳	46	28.3	71.7
55～59歳	53	34.0	66.0
60～64歳	47	36.2	63.8
65～69歳	34	14.7	85.3
70～74歳	40	7.5	92.5
75歳以上	67	6.0	94.0
年齢不詳	1	0.0	100.0

<女性> (％)

	n	ある	ない
全体	657	37.1	62.9
18～19歳	4	100.0	0.0
20～24歳	18	77.8	22.2
25～29歳	45	60.0	40.0
30～34歳	47	38.3	61.7
35～39歳	45	46.7	53.3
40～44歳	63	30.2	69.8
45～49歳	78	51.3	48.7
50～54歳	84	34.5	65.5
55～59歳	63	38.1	61.9
60～64歳	45	26.7	73.3
65～69歳	44	25.0	75.0
70～74歳	43	20.9	79.1
75歳以上	77	20.8	79.2
年齢不詳	1	0.0	100.0

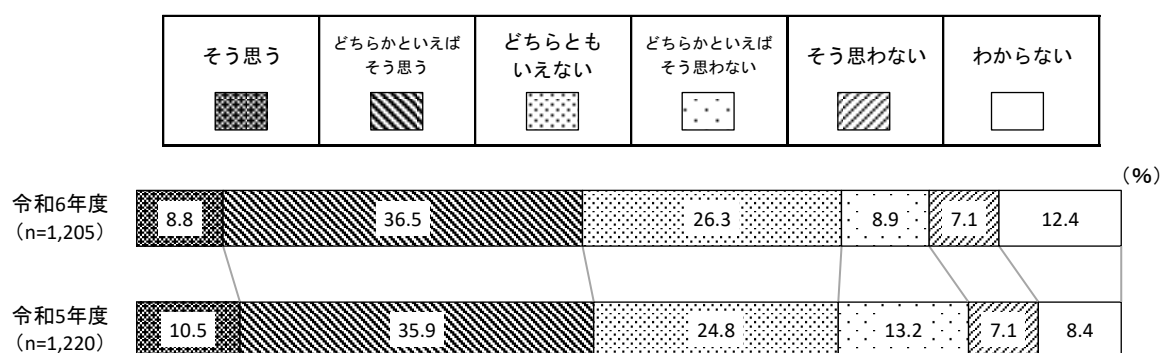
【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問17 あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が36.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(26.3%)となっている。
- ・「そう思う」(8.8%)と「どちらかといえばそう思う」(36.5%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は45.3%となっている。

図表Ⅳ－46 区内の産業やお店が元気に活動している認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(56.5%)、豊洲地区(51.7%)、南砂地区(51.6%)、白河地区(48.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－47 区内の産業やお店が元気に活動している認識(地区別)

	n	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえない	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わから ない
全体	1,205	8.8	36.5	26.3	8.9	7.1	12.4
白河	124	9.7	38.7	28.2	10.5	5.6	7.3
小松橋	78	5.1	30.8	30.8	6.4	7.7	19.2
富岡	92	8.7	34.8	31.5	8.7	5.4	10.9
東陽	92	9.8	46.7	22.8	7.6	3.3	9.8
豊洲	277	11.6	40.1	20.9	6.5	5.8	15.2
亀戸	134	6.0	30.6	33.6	8.2	5.2	16.4
大島	133	7.5	29.3	34.6	12.0	9.0	7.5
砂町	168	8.9	32.1	20.8	13.1	11.3	13.7
南砂	93	7.5	44.1	22.6	7.5	9.7	8.6
居住地区不詳	14	7.1	50.0	21.4	0.0	14.3	7.1

② 性年齢別

- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～44歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では、18～44歳、50～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－48 区内の産業やお店が元気に活動している認識（性年齢別）

＜男性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い
全体	486	9.9	36.8	24.7	9.7	8.6	10.3
18～19歳	8	62.5	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5
20～24歳	13	23.1	61.5	15.4	0.0	0.0	0.0
25～29歳	22	31.8	36.4	13.6	4.5	0.0	13.6
30～34歳	23	13.0	60.9	8.7	0.0	8.7	8.7
35～39歳	33	18.2	45.5	15.2	9.1	9.1	3.0
40～44歳	47	8.5	44.7	21.3	4.3	8.5	12.8
45～49歳	49	6.1	34.7	28.6	14.3	6.1	10.2
50～54歳	46	6.5	37.0	34.8	13.0	6.5	2.2
55～59歳	53	3.8	41.5	34.0	3.8	9.4	7.5
60～64歳	47	6.4	42.6	25.5	8.5	2.1	14.9
65～69歳	34	0.0	35.3	32.4	14.7	5.9	11.8
70～74歳	40	5.0	15.0	25.0	17.5	22.5	15.0
75歳以上	70	10.0	25.7	22.9	12.9	14.3	14.3
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

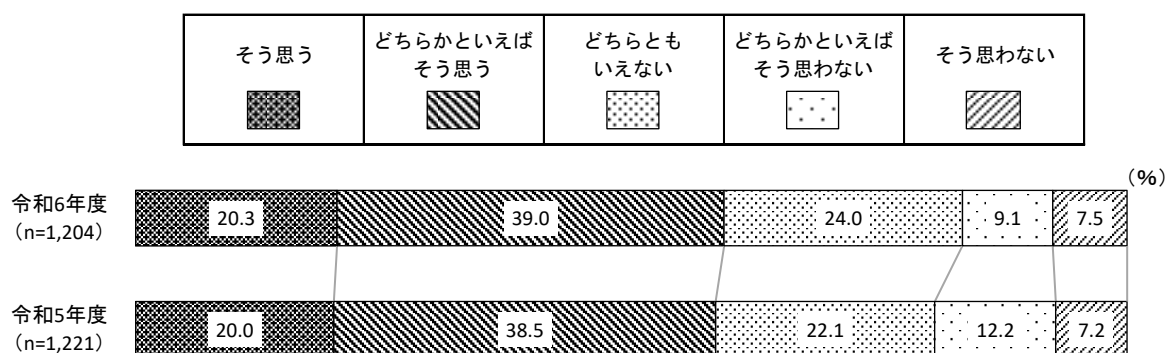
＜女性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い
全体	671	8.2	37.3	27.3	8.3	5.4	13.6
18～19歳	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	18	16.7	55.6	16.7	5.6	0.0	5.6
25～29歳	45	11.1	48.9	24.4	2.2	2.2	11.1
30～34歳	49	20.4	51.0	14.3	6.1	0.0	8.2
35～39歳	45	11.1	42.2	26.7	4.4	4.4	11.1
40～44歳	64	7.8	39.1	23.4	12.5	6.3	10.9
45～49歳	78	5.1	39.7	26.9	7.7	3.8	16.7
50～54歳	84	8.3	39.3	31.0	11.9	1.2	8.3
55～59歳	64	6.3	42.2	28.1	3.1	6.3	14.1
60～64歳	45	6.7	31.1	28.9	2.2	11.1	20.0
65～69歳	46	6.5	26.1	30.4	10.9	6.5	19.6
70～74歳	43	2.3	20.9	39.5	16.3	9.3	11.6
75歳以上	85	4.7	23.5	29.4	11.8	10.6	20.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問18 あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が39.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(24.0%)となっている。
- ・「そう思う」(20.3%)と「どちらかといえばそう思う」(39.0%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は59.3%となっている。

図表Ⅳ－49 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、東陽地区(64.1%)、富岡地区(63.0%)、砂町地区(62.7%)、亀戸地区(62.4%)、白河地区(59.6%)、大島地区(59.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－50 魅力ある商店街やお店があると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い
全体	1,204	20.3	39.0	24.0	9.1	7.5
白河	124	16.1	43.5	26.6	7.3	6.5
小松橋	78	10.3	38.5	24.4	14.1	12.8
富岡	92	22.8	40.2	21.7	8.7	6.5
東陽	92	25.0	39.1	26.1	6.5	3.3
豊洲	277	20.6	35.0	25.6	10.1	8.7
亀戸	133	22.6	39.8	26.3	7.5	3.8
大島	133	17.3	42.1	26.3	6.0	8.3
砂町	169	23.1	39.6	20.1	10.7	6.5
南砂	92	22.8	33.7	19.6	12.0	12.0
居住地区不詳	14	21.4	64.3	0.0	7.1	7.1

(%)

② 性年齢別

- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～44歳、50～54歳、60～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～39歳、45～49歳、60～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－51 区内の産業やお店が元気に活動している認識（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	488	23.6	37.1	21.9	10.9	6.6
18～19歳	8	75.0	12.5	12.5	0.0	0.0
20～24歳	13	30.8	61.5	7.7	0.0	0.0
25～29歳	22	36.4	40.9	13.6	0.0	9.1
30～34歳	23	30.4	56.5	4.3	0.0	8.7
35～39歳	33	39.4	24.2	15.2	12.1	9.1
40～44歳	47	27.7	34.0	21.3	10.6	6.4
45～49歳	49	22.4	32.7	20.4	20.4	4.1
50～54歳	45	22.2	46.7	20.0	8.9	2.2
55～59歳	53	20.8	39.6	26.4	5.7	7.5
60～64歳	47	27.7	36.2	19.1	12.8	4.3
65～69歳	34	17.6	41.2	26.5	8.8	5.9
70～74歳	40	10.0	27.5	32.5	12.5	17.5
75歳以上	73	12.3	34.2	30.1	17.8	5.5
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	668	18.6	40.9	25.3	8.1	7.2
18～19歳	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0
20～24歳	18	27.8	38.9	16.7	11.1	5.6
25～29歳	45	22.2	48.9	22.2	4.4	2.2
30～34歳	49	32.7	46.9	12.2	6.1	2.0
35～39歳	45	28.9	44.4	13.3	6.7	6.7
40～44歳	64	17.2	40.6	26.6	4.7	10.9
45～49歳	78	21.8	42.3	24.4	5.1	6.4
50～54歳	84	13.1	45.2	23.8	11.9	6.0
55～59歳	64	15.6	42.2	31.3	6.3	4.7
60～64歳	45	15.6	44.4	24.4	8.9	6.7
65～69歳	46	17.4	28.3	30.4	13.0	10.9
70～74歳	43	14.0	37.2	37.2	2.3	9.3
75歳以上	82	11.0	30.5	32.9	14.6	11.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

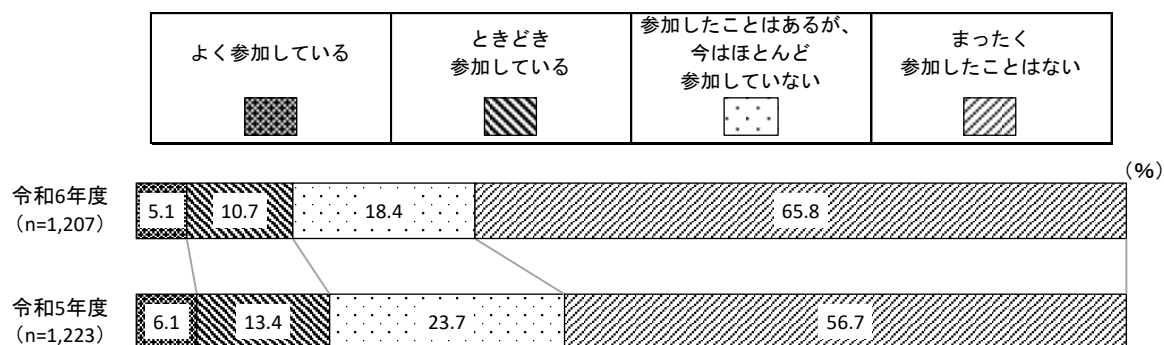
【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問19 町会・自治会、NP0、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。この一年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「まったく参加したことはない」が65.8%で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」(18.4%)となっている。
- ・「よく参加している」(5.1%)と「ときどき参加している」(10.7%)を合わせた『参加している(計)』の割合は15.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『参加している(計)』が3.7ポイント減少している。

図表Ⅳ－52 地域活動に参加したことがある区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『参加している(計)』の割合は、南砂地区(25.8%)、砂町地区(18.8%)、富岡地区(18.5%)、東陽地区(17.4%)、豊洲地区(17.3%)、白河地区(16.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－53 地域活動に参加したことがある区民の割合(地区別)

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全体	1,207	5.1	10.7	18.4	65.8
白河	126	3.2	13.5	19.8	63.5
小松橋	78	2.6	1.3	24.4	71.8
富岡	92	6.5	12.0	15.2	66.3
東陽	92	7.6	9.8	22.8	59.8
豊洲	273	3.7	13.6	17.6	65.2
亀戸	134	5.2	7.5	15.7	71.6
大島	134	0.7	5.2	14.2	79.9
砂町	170	8.2	10.6	20.6	60.6
南砂	93	8.6	17.2	19.4	54.8
居住地区不詳	15	20.0	20.0	13.3	46.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『参加している（計）』の割合は、女性（16.4%）の方が、男性（13.5%）より2.9ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では20～24歳、60～64歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では20～24歳、45～54歳、65歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－54 地域活動に参加したことある区民の割合（性年齢別）

＜男性＞				（％）	
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全体	490	5.5	8.0	17.3	69.2
18～19歳	8	0.0	0.0	25.0	75.0
20～24歳	13	15.4	0.0	15.4	69.2
25～29歳	22	0.0	9.1	13.6	77.3
30～34歳	23	0.0	8.7	13.0	78.3
35～39歳	33	0.0	9.1	9.1	81.8
40～44歳	47	2.1	2.1	12.8	83.0
45～49歳	49	6.1	6.1	20.4	67.3
50～54歳	47	6.4	6.4	19.1	68.1
55～59歳	52	3.8	3.8	17.3	75.0
60～64歳	47	4.3	14.9	14.9	66.0
65～69歳	36	5.6	5.6	16.7	72.2
70～74歳	41	9.8	9.8	9.8	70.7
75歳以上	71	11.3	14.1	29.6	45.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

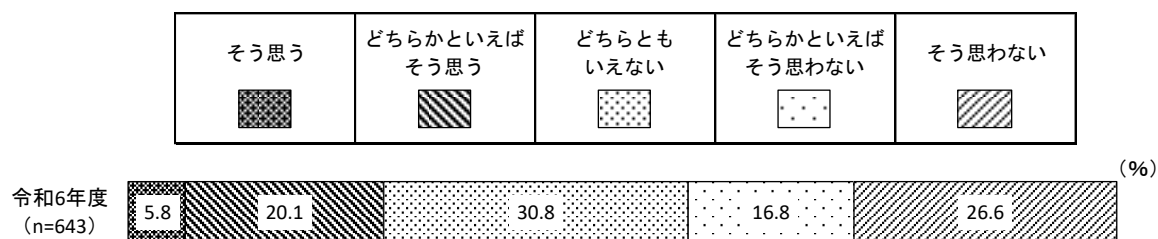
＜女性＞				（％）	
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全体	670	4.3	12.1	19.4	64.2
18～19歳	4	0.0	0.0	50.0	50.0
20～24歳	18	0.0	16.7	5.6	77.8
25～29歳	45	0.0	8.9	4.4	86.7
30～34歳	48	0.0	2.1	6.3	91.7
35～39歳	45	2.2	6.7	8.9	82.2
40～44歳	64	0.0	9.4	26.6	64.1
45～49歳	78	5.1	14.1	14.1	66.7
50～54歳	84	6.0	13.1	25.0	56.0
55～59歳	64	0.0	12.5	20.3	67.2
60～64歳	44	4.5	4.5	18.2	72.7
65～69歳	47	10.6	27.7	21.3	40.4
70～74歳	46	13.0	15.2	23.9	47.8
75歳以上	82	7.3	14.6	31.7	46.3
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0

問19－1 問19で「3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」「4. まったく参加したことはない」を選んだ方におたずねします。
地域活動へ参加したいと思いますか。あてはまるものを選び、○印をおつけください。（○は1つ）

<全体>

- ・「どちらともいえない」が30.8%で最も高く、次いで「そう思わない」(26.6%)となっている。
- ・「そう思う」(5.8%)と「どちらかといえばそう思う」(20.1%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は25.9%となっている。

図表Ⅳ－55 地域活動に参加していない区民の参加意欲

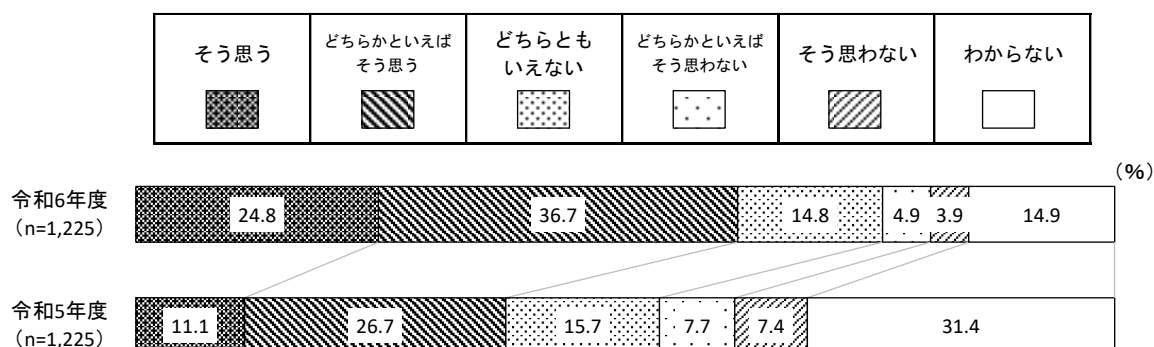


問20 江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が36.7%で最も高く、次いで「そう思う」(24.8%)となっている。
- ・「そう思う」(24.8%)と「どちらかといえばそう思う」(36.7%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は61.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が23.7ポイント増加している。

図表Ⅳ－56 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、亀戸地区(65.2%)、小松橋地区(64.1%)、砂町地区(63.6%)、豊洲地区(61.8%)、大島地区(61.8%)、白河地区(61.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－57 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,225	24.8	36.7	14.8	4.9	3.9	14.9
白河	128	25.0	36.7	12.5	9.4	3.1	13.3
小松橋	78	28.2	35.9	17.9	2.6	6.4	9.0
富岡	93	20.4	33.3	17.2	4.3	8.6	16.1
東陽	96	28.1	31.3	15.6	3.1	4.2	17.7
豊洲	275	24.7	37.1	13.5	4.7	2.2	17.8
亀戸	138	20.3	44.9	12.3	4.3	2.2	15.9
大島	136	26.5	35.3	14.0	3.7	4.4	16.2
砂町	173	27.2	36.4	15.0	5.2	3.5	12.7
南砂	93	23.7	35.5	17.2	6.5	5.4	11.8
居住地区不詳	15	20.0	40.0	33.3	0.0	6.7	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（63.2%）の方が男性（59.5%）より3.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～39歳、45～54歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、40～54歳、65歳～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－58 気軽に利用できる地域活動施設があると思う区民の割合（性年齢別）

＜男性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	494	23.7	35.8	18.0	4.7	3.8	14.0
18～19歳	8	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	13	46.2	15.4	15.4	0.0	0.0	23.1
25～29歳	22	27.3	40.9	9.1	0.0	4.5	18.2
30～34歳	23	21.7	39.1	4.3	0.0	13.0	21.7
35～39歳	33	30.3	36.4	12.1	6.1	0.0	15.2
40～44歳	47	12.8	40.4	12.8	14.9	6.4	12.8
45～49歳	49	18.4	49.0	18.4	4.1	4.1	6.1
50～54歳	47	25.5	42.6	10.6	2.1	2.1	17.0
55～59歳	53	9.4	35.8	32.1	3.8	1.9	17.0
60～64歳	47	17.0	27.7	31.9	8.5	0.0	14.9
65～69歳	37	16.2	37.8	27.0	2.7	2.7	13.5
70～74歳	41	36.6	34.1	19.5	0.0	7.3	2.4
75歳以上	73	31.5	26.0	13.7	5.5	5.5	17.8
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

＜女性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	682	25.1	38.1	12.8	5.3	3.5	15.2
18～19歳	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	18	27.8	33.3	5.6	11.1	5.6	16.7
25～29歳	45	15.6	28.9	20.0	6.7	0.0	28.9
30～34歳	49	24.5	32.7	10.2	6.1	0.0	26.5
35～39歳	45	24.4	26.7	13.3	8.9	11.1	15.6
40～44歳	64	23.4	42.2	10.9	3.1	6.3	14.1
45～49歳	79	20.3	44.3	8.9	10.1	5.1	11.4
50～54歳	84	23.8	44.0	9.5	3.6	3.6	15.5
55～59歳	64	17.2	45.3	21.9	6.3	1.6	7.8
60～64歳	44	18.2	40.9	20.5	4.5	0.0	15.9
65～69歳	46	30.4	39.1	13.0	2.2	4.3	10.9
70～74歳	48	43.8	39.6	12.5	0.0	0.0	4.2
75歳以上	91	31.9	30.8	8.8	4.4	4.4	19.8
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問21 あなたは、この1年間に地域イベントに参加しましたか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「参加していない」が69.3%で、「参加した」(30.7%)を上回っている。

図表Ⅳ－59 地域イベントへの参加状況



① 地区別

- ・地区別では、地域イベントに「参加した」の割合は、南砂地区 (42.1%)、砂町地区 (40.2%)、小松橋地区 (36.7%)、東陽地区 (33.3%)、亀戸地区 (30.9%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－60 地域イベントへの参加状況 (地区別)

	n	参加した	参加していない
全体	1,230	30.7	69.3
白河	128	28.1	71.9
小松橋	79	36.7	63.3
富岡	93	25.8	74.2
東陽	93	33.3	66.7
豊洲	277	25.6	74.4
亀戸	139	30.9	69.1
大島	137	20.4	79.6
砂町	174	40.2	59.8
南砂	95	42.1	57.9
居住地区不詳	15	40.0	60.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「参加した」割合は、女性（32.4%）の方が男性（28.5%）より3.9ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「参加した」割合は、男性では18～24歳、30～54歳で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、30～49歳、55歳～59歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－61 地域イベントへの参加状況（性年齢別）

<男性>		（%）	
	n	参加した	参加していない
全体	498	28.5	71.5
18～19歳	8	37.5	62.5
20～24歳	13	30.8	69.2
25～29歳	22	27.3	72.7
30～34歳	23	39.1	60.9
35～39歳	33	33.3	66.7
40～44歳	47	38.3	61.7
45～49歳	49	38.8	61.2
50～54歳	47	31.9	68.1
55～59歳	53	24.5	75.5
60～64歳	47	27.7	72.3
65～69歳	37	18.9	81.1
70～74歳	41	14.6	85.4
75歳以上	77	23.4	76.6
年齢不詳	1	0.0	100.0

<女性>		（%）	
	n	参加した	参加していない
全体	683	32.4	67.6
18～19歳	4	50.0	50.0
20～24歳	18	33.3	66.7
25～29歳	45	24.4	75.6
30～34歳	49	34.7	65.3
35～39歳	45	44.4	55.6
40～44歳	64	54.7	45.3
45～49歳	79	34.2	65.8
50～54歳	84	28.6	71.4
55～59歳	64	34.4	65.6
60～64歳	44	18.2	81.8
65～69歳	48	31.3	68.8
70～74歳	46	32.6	67.4
75歳以上	92	20.7	79.3
年齢不詳	1	0.0	100.0

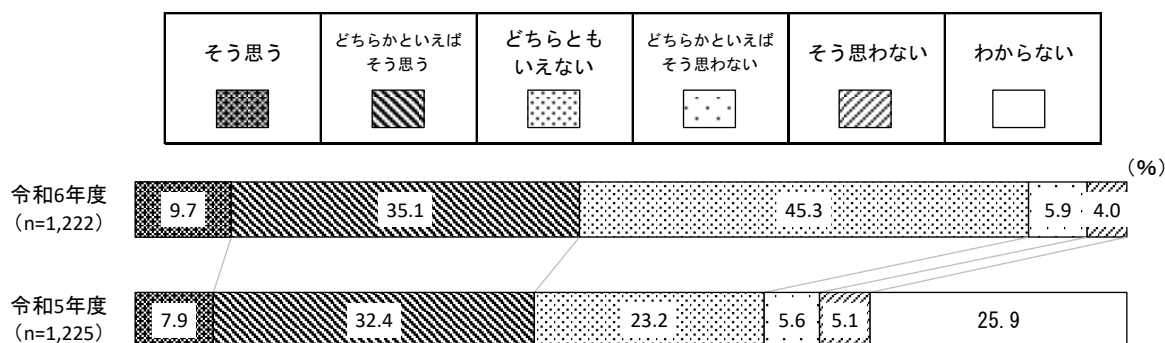
【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】

問22 江東区は、多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

<全体>

- ・「どちらともいえない」が45.3%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」（35.1%）となっている。
- ・「そう思う」（9.7%）と「どちらかといえばそう思う」（35.1%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は44.8%となっている。

図表Ⅳ－62 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、豊洲地区（49.4%）、東陽地区（46.3%）、南砂地区（46.3%）、大島地区（45.6%）、富岡地区（45.2%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－63 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合（地区別）

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い
全体	1,222	9.7	35.1	45.3	5.9	4.0
白河	127	4.7	34.6	48.8	8.7	3.1
小松橋	76	7.9	28.9	51.3	5.3	6.6
富岡	93	9.7	35.5	44.1	6.5	4.3
東陽	95	15.8	30.5	45.3	7.4	1.1
豊洲	277	11.9	37.5	43.0	3.6	4.0
亀戸	136	9.6	31.6	50.0	5.9	2.9
大島	136	4.4	41.2	47.1	5.1	2.2
砂町	172	12.8	31.4	44.8	4.7	6.4
南砂	95	7.4	38.9	35.8	11.6	6.3
居住地区不詳	15	6.7	46.7	46.7	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～39歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、30～39歳、50歳～64歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－64 多様性を認め合い暮らしやすいまちだと思う区民の割合（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	491	10.0	35.0	45.8	4.9	4.3
18～19歳	8	25.0	25.0	37.5	12.5	0.0
20～24歳	13	38.5	30.8	30.8	0.0	0.0
25～29歳	22	31.8	45.5	22.7	0.0	0.0
30～34歳	23	4.3	47.8	30.4	8.7	8.7
35～39歳	33	15.2	51.5	30.3	3.0	0.0
40～44歳	47	6.4	36.2	46.8	8.5	2.1
45～49歳	49	10.2	28.6	57.1	0.0	4.1
50～54歳	47	6.4	25.5	59.6	2.1	6.4
55～59歳	53	1.9	35.8	47.2	1.9	13.2
60～64歳	46	4.3	32.6	54.3	8.7	0.0
65～69歳	36	8.3	30.6	52.8	2.8	5.6
70～74歳	40	7.5	32.5	42.5	12.5	5.0
75歳以上	73	12.3	35.6	43.8	5.5	2.7
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	681	9.1	35.8	44.6	6.6	3.8
18～19歳	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	16.7	22.2	50.0	11.1	0.0
25～29歳	45	8.9	35.6	55.6	0.0	0.0
30～34歳	49	12.2	44.9	38.8	0.0	4.1
35～39歳	45	4.4	44.4	35.6	6.7	8.9
40～44歳	64	7.8	35.9	42.2	9.4	4.7
45～49歳	79	2.5	35.4	50.6	8.9	2.5
50～54歳	84	14.3	34.5	42.9	6.0	2.4
55～59歳	64	3.1	42.2	42.2	9.4	3.1
60～64歳	43	4.7	44.2	41.9	2.3	7.0
65～69歳	48	6.3	25.0	60.4	4.2	4.2
70～74歳	48	14.6	35.4	41.7	4.2	4.2
75歳以上	89	14.6	28.1	40.4	12.4	4.5
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問23 あなたは、問22の多様性について、自分にも関わりがあると感じていますか。(○は1つ)

<全体>

- ・「どちらかといえばそう感じる」が32.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(26.6%)となっている。
- ・「そう感じる」と「どちらかといえばそう感じる」を合わせた『そう感じる(計)』の割合は52.3%となっている。

図表Ⅳ－65 多様性に関わりがあると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう感じる(計)』の割合は、豊洲地区(62.6%)、富岡地区(57.6%)、白河地区(54.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－66 多様性に関わりがあると思う区民の割合(地区別)

	n	そう感じる	どちらかとい えばそう 感じる	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 感じない	そう感じない
全体	1,216	19.5	32.8	26.6	8.8	12.3
白河	126	21.4	33.3	26.2	10.3	8.7
小松橋	76	21.1	28.9	23.7	10.5	15.8
富岡	92	25.0	32.6	25.0	3.3	14.1
東陽	94	18.1	29.8	26.6	9.6	16.0
豊洲	276	24.6	38.0	20.7	8.3	8.3
亀戸	136	15.4	30.1	27.9	12.5	14.0
大島	136	16.2	34.6	27.9	7.4	14.0
砂町	170	12.9	32.4	34.7	6.5	13.5
南砂	95	18.9	25.3	29.5	11.6	14.7
居住地区不詳	15	20.0	33.3	33.3	13.3	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（53.8%）の方が男性（50.9%）より2.9ポイント高くなっている。特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では18～39歳、45～49歳、55～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～29歳、35～44歳、50歳～54歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－67 多様性に関わりがあると思う区民の割合（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感 じない	そう感 じない
全体	489	18.8	32.1	26.2	8.6	14.3
18～19歳	8	12.5	62.5	0.0	0.0	25.0
20～24歳	13	30.8	46.2	0.0	7.7	15.4
25～29歳	21	38.1	38.1	4.8	0.0	19.0
30～34歳	23	21.7	34.8	17.4	13.0	13.0
35～39歳	33	21.2	39.4	24.2	6.1	9.1
40～44歳	47	4.3	31.9	25.5	21.3	17.0
45～49歳	48	27.1	35.4	29.2	4.2	4.2
50～54歳	47	17.0	25.5	29.8	10.6	17.0
55～59歳	53	26.4	34.0	20.8	9.4	9.4
60～64歳	46	21.7	28.3	30.4	4.3	15.2
65～69歳	37	13.5	35.1	32.4	2.7	16.2
70～74歳	40	7.5	27.5	37.5	10.0	17.5
75歳以上	72	16.7	23.6	31.9	9.7	18.1
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

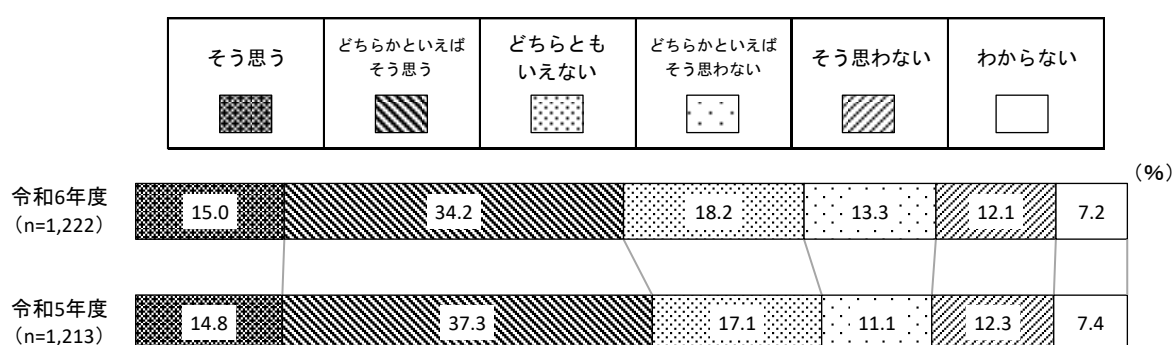
	n	そう感じる	どちらかといえ ばそう感じる	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう感 じない	そう感 じない
全体	678	19.6	34.2	26.7	9.3	10.2
18～19歳	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	38.9	22.2	11.1	11.1	16.7
25～29歳	45	26.7	33.3	28.9	6.7	4.4
30～34歳	49	22.4	28.6	30.6	8.2	10.2
35～39歳	45	28.9	33.3	17.8	13.3	6.7
40～44歳	64	15.6	39.1	18.8	12.5	14.1
45～49歳	79	17.7	35.4	27.8	8.9	10.1
50～54歳	84	17.9	38.1	23.8	11.9	8.3
55～59歳	64	12.5	32.8	37.5	7.8	9.4
60～64歳	44	15.9	34.1	25.0	13.6	11.4
65～69歳	48	16.7	27.1	41.7	4.2	10.4
70～74歳	48	25.0	47.9	16.7	2.1	8.3
75歳以上	85	16.5	30.6	28.2	10.6	14.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問24 あなたは現在、仕事、家庭生活（家事・子育て・介護・家族との交流）、地域・個人の生活（地域活動・趣味・学習・休養）を自分が希望するバランスで実現することが出来ていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が34.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」（18.2%）となっている。
- ・「そう思う」（15.0%）と「どちらかといえばそう思う」（34.2%）を合わせた『そう思う（計）』の割合は49.2%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う（計）』が2.9ポイント減少している。

図表Ⅳ－68 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う（計）』の割合は、豊洲地区（56.3%）、小松橋地区（53.3%）、白河地区（52.7%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－69 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合（地区別）

	n	そう思う	どちらか といえ ば そう 思う	どちら とも いえ ない	どちら か とい え ば そ う 思 わ ない	そう 思 わ ない	わ か ら な い
全体	1,222	15.0	34.2	18.2	13.3	12.1	7.2
白河	127	18.1	34.6	19.7	11.0	10.2	6.3
小松橋	77	14.3	39.0	18.2	9.1	14.3	5.2
富岡	93	9.7	36.6	19.4	9.7	8.6	16.1
東陽	94	19.1	29.8	22.3	9.6	10.6	8.5
豊洲	277	17.7	38.6	15.2	11.6	9.7	7.2
亀戸	136	17.6	27.2	13.2	19.9	14.7	7.4
大島	134	9.0	38.8	18.7	15.7	12.7	5.2
砂町	174	13.8	29.3	21.3	12.1	16.1	7.5
南砂	95	12.6	30.5	22.1	18.9	12.6	3.2
居住地区不詳	15	6.7	40.0	6.7	33.3	13.3	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（50.0%）の方が男性（48.1%）より1.9ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～49歳、55～59歳、65～69歳で男性全体を上回っている。女性では25～34歳、40～49歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－70 仕事、家庭生活などと自分が希望するバランスがとれていると思う区民の割合（性年齢別）

＜男性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い
全体	492	14.2	33.9	19.3	13.4	11.2	7.9
18～19歳	8	25.0	37.5	12.5	0.0	25.0	0.0
20～24歳	13	30.8	30.8	15.4	0.0	7.7	15.4
25～29歳	22	18.2	50.0	0.0	18.2	13.6	0.0
30～34歳	23	26.1	34.8	8.7	17.4	13.0	0.0
35～39歳	33	27.3	36.4	12.1	18.2	6.1	0.0
40～44歳	47	8.5	42.6	14.9	19.1	8.5	6.4
45～49歳	49	8.2	44.9	14.3	12.2	14.3	6.1
50～54歳	47	10.6	29.8	21.3	21.3	14.9	2.1
55～59歳	53	13.2	43.4	18.9	11.3	5.7	7.5
60～64歳	46	10.9	37.0	21.7	10.9	8.7	10.9
65～69歳	37	18.9	29.7	27.0	5.4	5.4	13.5
70～74歳	41	7.3	26.8	26.8	19.5	12.2	7.3
75歳以上	72	13.9	13.9	29.2	8.3	16.7	18.1
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

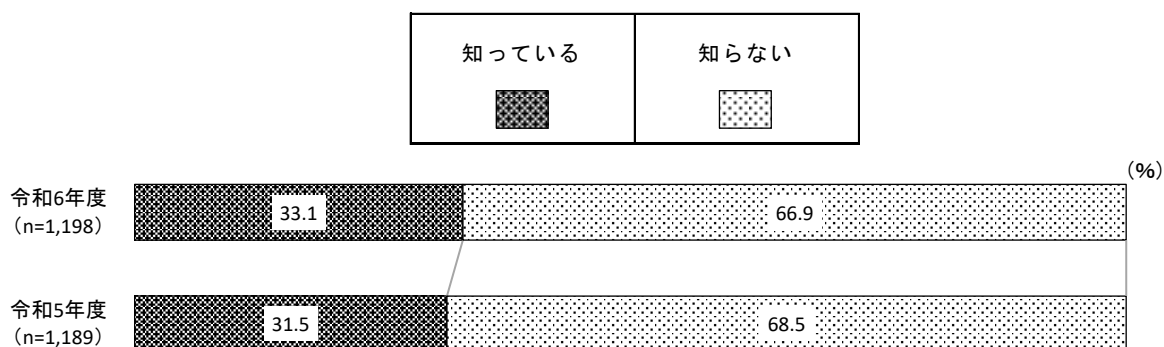
＜女性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらか といえば そう思わ ない	そう思わ ない	わからな い
全体	680	14.7	35.3	17.1	13.5	13.1	6.3
18～19歳	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	22.2	22.2	27.8	22.2	5.6	0.0
25～29歳	45	4.4	46.7	8.9	26.7	8.9	4.4
30～34歳	49	16.3	42.9	14.3	8.2	12.2	6.1
35～39歳	45	15.6	31.1	17.8	11.1	20.0	4.4
40～44歳	64	10.9	40.6	23.4	9.4	10.9	4.7
45～49歳	79	12.7	41.8	11.4	15.2	12.7	6.3
50～54歳	84	15.5	33.3	19.0	15.5	11.9	4.8
55～59歳	64	17.2	32.8	20.3	12.5	12.5	4.7
60～64歳	43	14.0	27.9	23.3	16.3	14.0	4.7
65～69歳	48	8.3	31.3	22.9	10.4	20.8	6.3
70～74歳	46	21.7	32.6	17.4	8.7	15.2	4.3
75歳以上	90	20.0	31.1	8.9	12.2	12.2	15.6
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問25 あなたは、「ドメスティックバイオレンス（DV=配偶者等からの暴力）」について相談できる窓口を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

＜全体／経年比較＞

- ・「知らない」が66.9%で、「知っている」（33.1%）を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－71 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度



① 地区別

- ・地区別では、「知っている」の割合は、小松橋地区（37.7%）、亀戸地区（34.8%）、豊洲地区（34.5%）、砂町地区（34.1%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－72 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度（地区別）

（%）			
	n	知っている	知らない
全体	1,198	33.1	66.9
白河	124	30.6	69.4
小松橋	77	37.7	62.3
富岡	89	31.5	68.5
東陽	92	32.6	67.4
豊洲	267	34.5	65.5
亀戸	135	34.8	65.2
大島	135	28.9	71.1
砂町	173	34.1	65.9
南砂	91	33.0	67.0
居住地区不詳	15	26.7	73.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「知っている」の割合は、女性（36.7％）の方が男性（28.5％）より8.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「知っている」の割合は、男性では20～24歳、35～39歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では45～59歳、65～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－73 ドメスティックバイオレンスについて相談できる窓口の認知度（性年齢別）

＜男性＞		（％）	
	n	知っている	知らない
全体	491	28.5	71.5
18～19歳	8	25.0	75.0
20～24歳	13	38.5	61.5
25～29歳	22	22.7	77.3
30～34歳	23	21.7	78.3
35～39歳	33	30.3	69.7
40～44歳	47	25.5	74.5
45～49歳	49	22.4	77.6
50～54歳	47	19.1	80.9
55～59歳	53	28.3	71.7
60～64歳	46	26.1	73.9
65～69歳	37	32.4	67.6
70～74歳	41	36.6	63.4
75歳以上	71	36.6	63.4
年齢不詳	1	100.0	0.0

＜女性＞		（％）	
	n	知っている	知らない
全体	662	36.7	63.3
18～19歳	4	25.0	75.0
20～24歳	18	27.8	72.2
25～29歳	45	31.1	68.9
30～34歳	49	34.7	65.3
35～39歳	44	36.4	63.6
40～44歳	62	35.5	64.5
45～49歳	79	39.2	60.8
50～54歳	84	39.3	60.7
55～59歳	64	43.8	56.3
60～64歳	43	34.9	65.1
65～69歳	46	47.8	52.2
70～74歳	43	46.5	53.5
75歳以上	80	23.8	76.3
年齢不詳	1	0.0	100.0

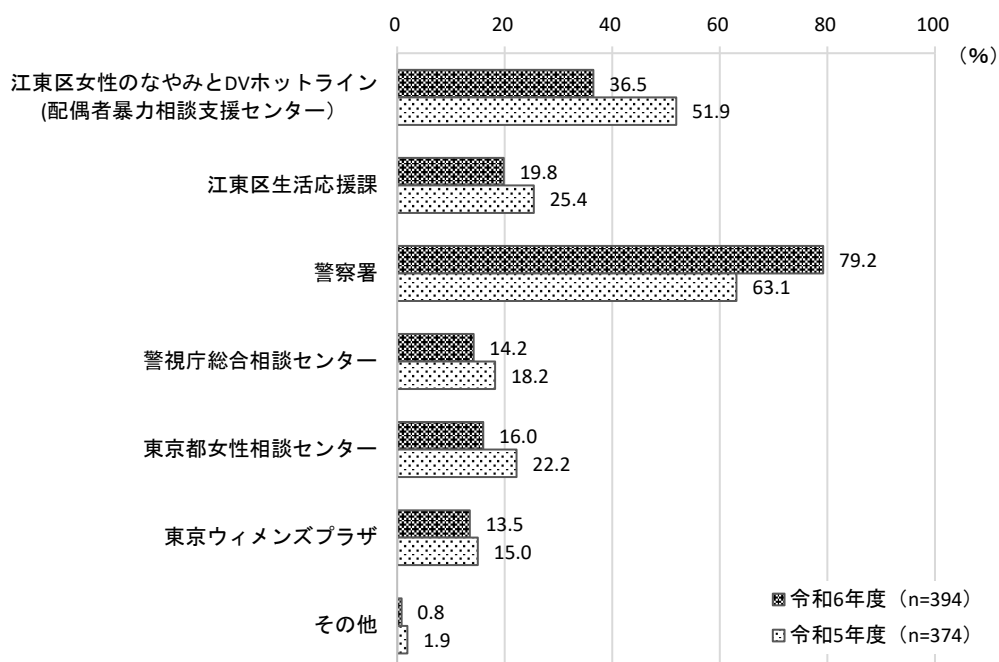
問25－1 問25で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。

相談できると知っていた窓口（機関）を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

<全体／経年比較>

- ・相談できると知っていた相談窓口では、「警察署」が79.2%で最も高く、次いで「江東区女性のなやみとDVホットライン（配偶者暴力相談支援センター）」（36.5%）となっている。
- ・前回調査と比較すると、「警察署」が16.1ポイント増加している。

図表Ⅳ－74 ドメスティックバイオレンスについての相談窓口



【生涯にわたり学習できる環境の充実】

問26 あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

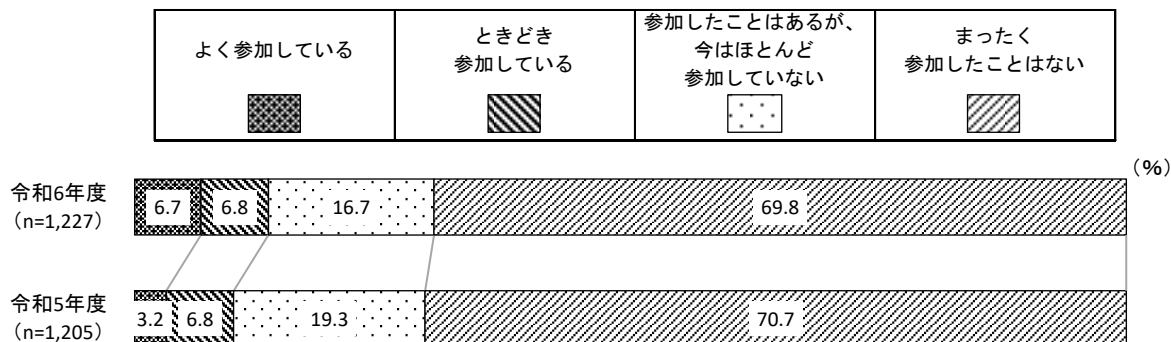
【学習講座や地域の集まりの例】

- ①趣味（野球、サッカー、ウォーキング、ピアノ、ヨガなど）、②教養（英会話など）、
③芸術、④文化、⑤教室（料理など）

<全体／経年比較>

- ・「まったく参加したことはない」が69.8%で最も高く、次いで「参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」（16.7%）となっている。
- ・「よく参加している」（6.7%）と「ときどき参加している」（6.8%）を合わせた『参加している（計）』の割合は13.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『参加している（計）』が3.5ポイント増加している。

図表Ⅳ－75 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『参加している（計）』の割合は、東陽地区（17.9%）、豊洲地区（15.5%）、砂町地区（14.2%）、南砂地区（13.8%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－76 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合（地区別）

	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全体	1,227	6.7	6.8	16.7	69.8
白河	126	3.2	8.7	15.9	72.2
小松橋	77	6.5	5.2	15.6	72.7
富岡	93	6.5	6.5	14.0	73.1
東陽	95	9.5	8.4	23.2	58.9
豊洲	278	5.4	10.1	15.1	69.4
亀戸	138	8.0	3.6	18.8	69.6
大島	135	4.4	5.2	15.6	74.8
砂町	176	9.7	4.5	14.2	71.6
南砂	94	7.4	6.4	21.3	64.9
居住地区不詳	15	13.3	6.7	26.7	53.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『参加している（計）』の割合は、女性（17.4％）の方が男性（7.2％）より10.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『参加している（計）』の割合は、男性では20～24歳、35～39歳、45～54歳、60～74歳で男性全体を上回っている。女性では50～54歳、65歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－77 生涯学習講座や地域の集まりなどに参加している区民の割合（性年齢別）

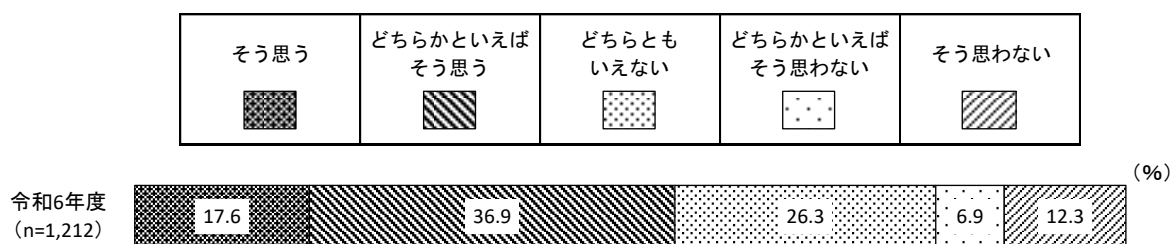
＜男性＞				（％）	
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全体	492	3.5	3.7	14.0	78.9
18～19歳	8	0.0	0.0	25.0	75.0
20～24歳	13	0.0	7.7	23.1	69.2
25～29歳	22	0.0	0.0	22.7	77.3
30～34歳	21	0.0	4.8	9.5	85.7
35～39歳	33	3.0	6.1	12.1	78.8
40～44歳	47	0.0	6.4	4.3	89.4
45～49歳	49	8.2	2.0	8.2	81.6
50～54歳	47	6.4	2.1	17.0	74.5
55～59歳	53	1.9	3.8	11.3	83.0
60～64歳	46	4.3	4.3	6.5	84.8
65～69歳	36	8.3	2.8	22.2	66.7
70～74歳	40	2.5	5.0	5.0	87.5
75歳以上	76	2.6	2.6	26.3	68.4
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

＜女性＞				（％）	
	n	よく参加している	ときどき参加している	参加したことはあるが、今はほとんど参加していない	まったく参加したことはない
全体	685	8.6	8.8	18.8	63.8
18～19歳	4	0.0	0.0	50.0	50.0
20～24歳	18	5.6	0.0	11.1	83.3
25～29歳	45	2.2	11.1	4.4	82.2
30～34歳	49	4.1	2.0	8.2	85.7
35～39歳	45	4.4	2.2	15.6	77.8
40～44歳	63	6.3	9.5	14.3	69.8
45～49歳	79	5.1	5.1	21.5	68.4
50～54歳	83	7.2	10.8	21.7	60.2
55～59歳	64	6.3	9.4	31.3	53.1
60～64歳	46	6.5	6.5	15.2	71.7
65～69歳	48	14.6	14.6	18.8	52.1
70～74歳	47	23.4	17.0	23.4	36.2
75歳以上	93	15.1	10.8	21.5	52.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0

問27 あなたは、学習や講座などを通じて得られた新たな学びを、地域活動や仕事、趣味などに活かしたいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○は1つ)

- ・「どちらかといえばそう思う」が36.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(26.3%)となっている。
- ・「そう思う」(17.6%)と「どちらかといえばそう思う」(36.9%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は54.5%となっている。

図表Ⅳ－78 新たな学びを、地域活動や仕事、趣味などに活かしたい区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、富岡地区(62.7%)、豊洲地区(62.7%)、白河地区(61.1%)、小松橋地区(58.1%)、南砂地区(56.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－79 新たな学びを、地域活動や仕事、趣味などに活かしたい区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い
全体	1,212	17.6	36.9	26.3	6.9	12.3
白河	126	15.9	45.2	30.2	1.6	7.1
小松橋	74	21.6	36.5	23.0	8.1	10.8
富岡	91	29.7	33.0	23.1	5.5	8.8
東陽	94	19.1	31.9	29.8	7.4	11.7
豊洲	273	22.0	40.7	20.5	5.1	11.7
亀戸	137	10.2	35.0	27.0	10.2	17.5
大島	133	11.3	30.8	33.1	9.8	15.0
砂町	176	15.3	34.7	27.8	8.5	13.6
南砂	93	15.1	40.9	24.7	6.5	12.9
居住地区不詳	15	13.3	26.7	40.0	13.3	6.7

(%)

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（59.1％）の方が男性（47.7％）より11.4ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～29歳、35～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～34歳、50～64歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－80 新たな学びを、地域活動や仕事、趣味などに活かしたい区民の割合（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	488	17.4	30.3	30.1	7.8	14.3
18～19歳	8	37.5	25.0	37.5	0.0	0.0
20～24歳	13	46.2	15.4	15.4	0.0	23.1
25～29歳	22	22.7	27.3	27.3	0.0	22.7
30～34歳	21	14.3	19.0	38.1	4.8	23.8
35～39歳	33	24.2	27.3	30.3	6.1	12.1
40～44歳	47	17.0	36.2	25.5	10.6	10.6
45～49歳	49	12.2	40.8	28.6	8.2	10.2
50～54歳	47	19.1	31.9	31.9	6.4	10.6
55～59歳	53	11.3	41.5	32.1	5.7	9.4
60～64歳	46	21.7	30.4	28.3	10.9	8.7
65～69歳	35	20.0	22.9	34.3	11.4	11.4
70～74歳	40	17.5	20.0	35.0	5.0	22.5
75歳以上	73	9.6	27.4	28.8	12.3	21.9
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

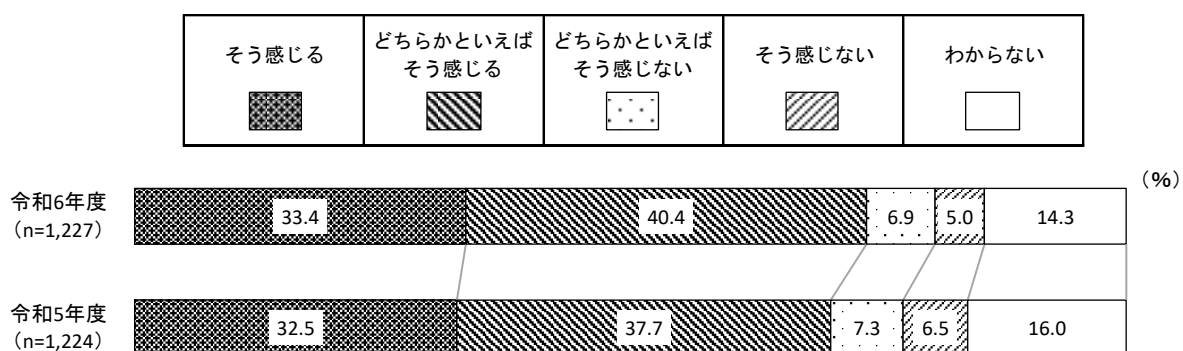
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	678	17.4	41.7	23.5	6.3	11.1
18～19歳	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	18	27.8	33.3	11.1	11.1	16.7
25～29歳	45	15.6	51.1	15.6	6.7	11.1
30～34歳	49	28.6	42.9	12.2	4.1	12.2
35～39歳	45	15.6	40.0	33.3	8.9	2.2
40～44歳	63	14.3	44.4	22.2	4.8	14.3
45～49歳	79	17.7	38.0	24.1	7.6	12.7
50～54歳	82	19.5	41.5	28.0	4.9	6.1
55～59歳	64	18.8	45.3	21.9	4.7	9.4
60～64歳	46	15.2	45.7	30.4	4.3	4.3
65～69歳	47	10.6	46.8	25.5	6.4	10.6
70～74歳	45	31.1	31.1	26.7	4.4	6.7
75歳以上	90	8.9	36.7	22.2	10.0	22.2
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問28 あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえば感じる」が40.4%で最も高く、次いで「そう感じる」(33.4%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう感じる (計)』の割合は73.8%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう感じる (計)』が3.6ポイント増加している。

図表Ⅳ－81 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう感じる (計)』の割合は、豊洲地区 (79.8%)、南砂地区 (78.7%)、富岡地区 (75.3%)、東陽地区 (74.5%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－82 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割 (地区別)

	n	そう感じる	どちらかとい えばそう 感じる	どちらかとい えば感じ ない	そう感じない	わからない
全体	1,227	33.4	40.4	6.9	5.0	14.3
白河	126	33.3	38.9	7.9	4.0	15.9
小松橋	76	28.9	42.1	5.3	11.8	11.8
富岡	93	26.9	48.4	5.4	4.3	15.1
東陽	94	35.1	39.4	7.4	6.4	11.7
豊洲	277	40.1	39.7	5.4	3.2	11.6
亀戸	138	21.7	48.6	7.2	4.3	18.1
大島	136	36.0	35.3	5.1	5.9	17.6
砂町	178	29.2	37.6	11.2	5.6	16.3
南砂	94	43.6	35.1	5.3	4.3	11.7
居住地区不詳	15	33.3	53.3	13.3	0.0	0.0

(%)

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、女性（75.2％）の方が男性（72.5％）より2.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では18～19歳、35～49歳、60～64歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、30～54歳、60～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－83 図書館が学びの場として役立っていると感じる区民の割（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらかといえば感じない	そう感じない	わからない
全体	491	32.4	40.1	8.4	5.3	13.8
18～19歳	8	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	13	38.5	30.8	7.7	7.7	15.4
25～29歳	22	27.3	36.4	13.6	9.1	13.6
30～34歳	21	42.9	28.6	0.0	4.8	23.8
35～39歳	33	36.4	36.4	9.1	3.0	15.2
40～44歳	47	31.9	42.6	8.5	2.1	14.9
45～49歳	49	38.8	38.8	6.1	8.2	8.2
50～54歳	47	23.4	46.8	10.6	6.4	12.8
55～59歳	53	26.4	45.3	5.7	9.4	13.2
60～64歳	46	21.7	65.2	0.0	4.3	8.7
65～69歳	36	27.8	30.6	22.2	8.3	11.1
70～74歳	41	34.1	46.3	4.9	0.0	14.6
75歳以上	74	37.8	25.7	12.2	4.1	20.3
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらかといえば感じない	そう感じない	わからない
全体	686	34.1	41.1	6.0	4.8	14.0
18～19歳	4	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	18	33.3	27.8	11.1	5.6	22.2
25～29歳	45	24.4	44.4	11.1	6.7	13.3
30～34歳	49	36.7	44.9	2.0	2.0	14.3
35～39歳	45	42.2	37.8	0.0	6.7	13.3
40～44歳	63	36.5	49.2	3.2	3.2	7.9
45～49歳	79	36.7	41.8	5.1	6.3	10.1
50～54歳	84	45.2	31.0	4.8	9.5	9.5
55～59歳	64	21.9	51.6	6.3	3.1	17.2
60～64歳	45	26.7	48.9	8.9	2.2	13.3
65～69歳	48	33.3	47.9	10.4	0.0	8.3
70～74歳	47	31.9	42.6	12.8	4.3	8.5
75歳以上	94	33.0	29.8	4.3	5.3	27.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

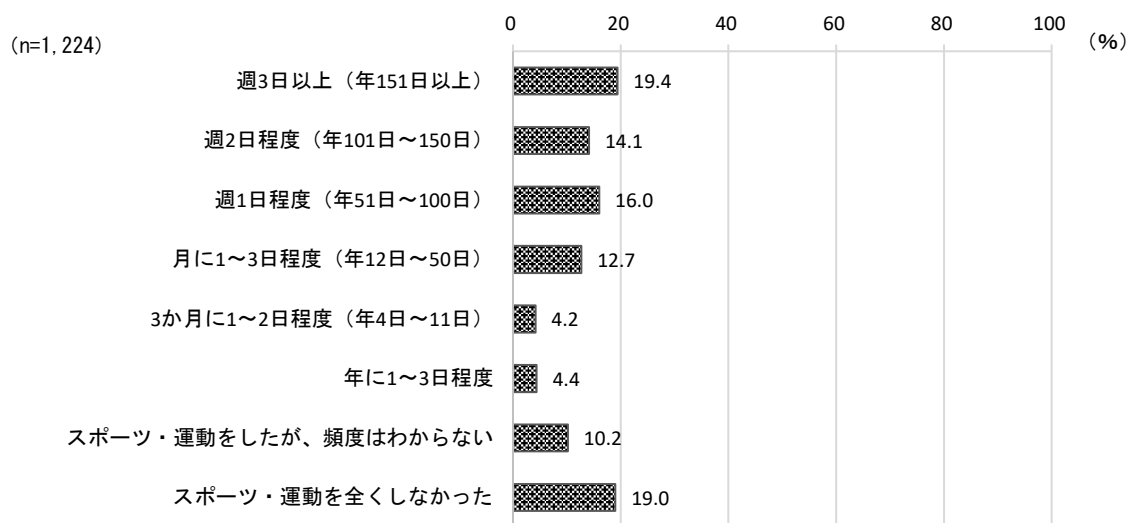
【スポーツを楽しめる環境の充実】

問29 あなたは、この1年間にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「週3日以上（年151日以上）」が19.4%で最も高く、次いで「スポーツ・運動を全くしなかった」（19.0%）となっている。
- ・「週3日以上」（19.4%）、「週2日程度」（14.1%）、「週1日程度」（16.0%）を合わせた『週1日以上スポーツ・運動を行う』人の割合は49.5%となっている。

図表Ⅳ-84 スポーツ・運動の頻度



① 地区別

- ・地区別では、白河地区、豊洲地区、南砂地区で「週3日以上（年151日以上）」が1位、小松橋地区で「週1日程度（年51日～100日）」が1位となっている。一方で、富岡地区、東陽地区、亀戸地区、大島地区、砂町地区では、「スポーツ・運動を全くしなかった」が1位となっている。

図表Ⅳ-85 スポーツ・運動の頻度（地区別）

	n	週3日以上 （年151日 以上）	週2日程度 （年101日 ～150日）	週1日程度 （年51日～ 100日）	月に1～3日 程度（年12 日～50日）	3か月に1～ 2日程度 （年4日～ 11日）	年に1～3日 程度	スポーツ・ 運動をした が、頻度は わからない	スポーツ・ 運動を全く しなかった
全体	1,224	19.4	14.1	16.0	12.7	4.2	4.4	10.2	19.0
白河	127	20.5	11.8	17.3	9.4	7.9	7.9	8.7	16.5
小松橋	76	13.2	14.5	32.9	10.5	3.9	5.3	10.5	9.2
富岡	92	13.0	10.9	17.4	13.0	3.3	4.3	17.4	20.7
東陽	95	17.9	17.9	15.8	8.4	5.3	2.1	13.7	18.9
豊洲	276	23.2	10.9	19.9	17.8	3.3	2.9	8.0	14.1
亀戸	134	17.9	15.7	13.4	13.4	3.0	7.5	6.0	23.1
大島	137	18.2	21.2	5.8	11.7	2.9	2.9	13.1	24.1
砂町	178	21.3	11.8	12.4	9.6	3.9	3.4	11.8	25.8
南砂	94	21.3	14.9	12.8	13.8	6.4	5.3	8.5	17.0
居住地区不詳	15	13.3	26.7	20.0	13.3	0.0	6.7	0.0	20.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに、「週3日以上（年151日以上）」「スポーツ・運動を全くしなかった」「週1日程度（年51日～100日）」が上位となっている。
- ・年齢別にみると、男性では「週3日以上（年151日以上）」の割合は、18～19歳、35～39歳、55～59歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では「週3日以上（年151日以上）」の割合は、45～49歳と65歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－86 スポーツ・運動の頻度（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	週3日以上 (年151日 以上)	週2日程度 (年101日 ～150日)	週1日程度 (年51日～ 100日)	月に1～3日 程度(年12 日～50日)	3か月に1～ 2日程度 (年4日～ 11日)	年に1～3日 程度	スポーツ・ 運動をした が、頻度は わからない	スポーツ・ 運動を全く しなかった
全体	491	20.0	13.6	15.9	14.3	4.3	3.9	10.0	18.1
18～19歳	8	37.5	0.0	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
20～24歳	13	7.7	23.1	15.4	15.4	0.0	7.7	15.4	15.4
25～29歳	22	13.6	18.2	22.7	18.2	9.1	0.0	4.5	13.6
30～34歳	21	14.3	19.0	14.3	19.0	9.5	4.8	9.5	9.5
35～39歳	33	24.2	9.1	24.2	21.2	6.1	6.1	3.0	6.1
40～44歳	47	8.5	14.9	14.9	17.0	6.4	8.5	12.8	17.0
45～49歳	49	10.2	16.3	16.3	22.4	2.0	6.1	8.2	18.4
50～54歳	47	12.8	21.3	17.0	17.0	10.6	4.3	6.4	10.6
55～59歳	53	24.5	9.4	15.1	15.1	3.8	3.8	13.2	15.1
60～64歳	46	17.4	13.0	26.1	8.7	0.0	4.3	13.0	17.4
65～69歳	36	19.4	13.9	8.3	11.1	2.8	2.8	16.7	25.0
70～74歳	41	34.1	9.8	12.2	9.8	4.9	0.0	4.9	24.4
75歳以上	74	29.7	10.8	10.8	5.4	1.4	1.4	9.5	31.1
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	週3日以上 (年151日 以上)	週2日程度 (年101日 ～150日)	週1日程度 (年51日～ 100日)	月に1～3日 程度(年12 日～50日)	3か月に1～ 2日程度 (年4日～ 11日)	年に1～3日 程度	スポーツ・ 運動をした が、頻度は わからない	スポーツ・ 運動を全く しなかった
全体	684	18.9	14.3	16.4	11.7	4.2	4.7	11.0	18.9
18～19歳	4	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0
20～24歳	18	16.7	11.1	5.6	11.1	5.6	0.0	27.8	22.2
25～29歳	45	13.3	13.3	17.8	33.3	2.2	0.0	6.7	13.3
30～34歳	49	6.1	8.2	16.3	24.5	10.2	8.2	10.2	16.3
35～39歳	45	11.1	20.0	13.3	13.3	8.9	4.4	15.6	13.3
40～44歳	64	4.7	14.1	18.8	17.2	4.7	9.4	10.9	20.3
45～49歳	79	19.0	16.5	13.9	5.1	10.1	7.6	12.7	15.2
50～54歳	84	17.9	11.9	23.8	14.3	4.8	2.4	7.1	17.9
55～59歳	64	14.1	10.9	28.1	9.4	1.6	7.8	9.4	18.8
60～64歳	45	17.8	13.3	11.1	8.9	0.0	6.7	17.8	24.4
65～69歳	48	39.6	12.5	8.3	6.3	2.1	2.1	6.3	22.9
70～74歳	47	36.2	23.4	17.0	0.0	0.0	0.0	6.4	17.0
75歳以上	91	28.6	15.4	12.1	5.5	0.0	3.3	12.1	23.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

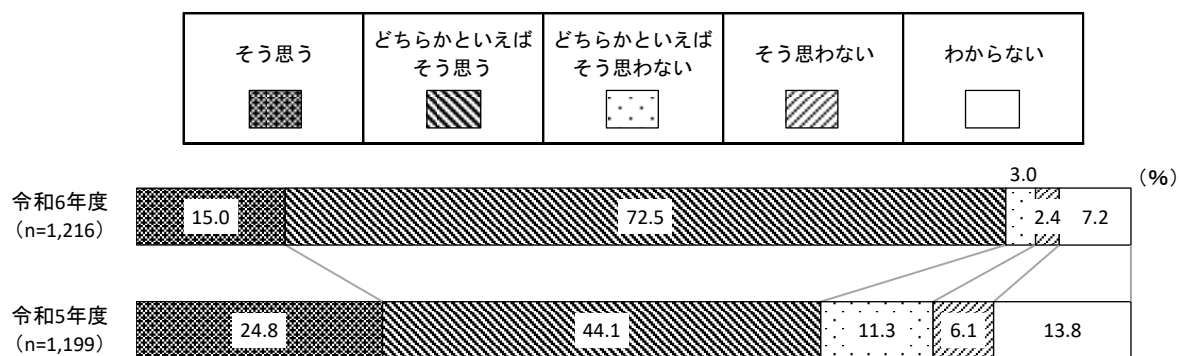
【文化・歴史の継承と観光振興】

問30 あなたは、江東区内に魅力的な文化観光資源があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が72.5%で最も高く、次いで「そう思う」(15.0%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は87.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が18.6ポイント増加している。

図表Ⅳ－87 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(92.1%)、豊洲地区(90.8%)、小松橋地区(89.6%)、東陽地区(89.5%)、南砂地区(89.3%)、富岡地区(89.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－88 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識（地区別）

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い	わからない
全体	1,216	15.0	72.5	3.0	2.4	7.2
白河	126	15.9	76.2	1.6	1.6	4.8
小松橋	77	11.7	77.9	1.3	1.3	7.8
富岡	91	19.8	69.2	5.5	0.0	5.5
東陽	95	20.0	69.5	2.1	0.0	8.4
豊洲	273	15.0	75.8	1.1	1.8	6.2
亀戸	135	14.8	69.6	4.4	2.2	8.9
大島	136	9.6	75.0	4.4	2.2	8.8
砂町	176	14.8	64.8	5.1	5.7	9.7
南砂	93	15.1	74.2	1.1	4.3	5.4
居住地区不詳	14	14.3	71.4	7.1	7.1	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～49歳、55～59歳で男性全体を上回っている。女性では18～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－89 江東区内に魅力的な文化観光資源があるという認識（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い	わからない
全体	486	13.6	73.5	3.1	3.7	6.2
18～19歳	8	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0
20～24歳	13	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	22	9.1	90.9	0.0	0.0	0.0
30～34歳	21	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0
35～39歳	33	9.1	90.9	0.0	0.0	0.0
40～44歳	47	4.3	83.0	0.0	4.3	8.5
45～49歳	49	6.1	83.7	0.0	4.1	6.1
50～54歳	46	4.3	80.4	10.9	2.2	2.2
55～59歳	53	7.5	83.0	1.9	3.8	3.8
60～64歳	46	15.2	71.7	4.3	2.2	6.5
65～69歳	36	19.4	63.9	5.6	2.8	8.3
70～74歳	41	24.4	53.7	2.4	9.8	9.8
75歳以上	70	31.4	41.4	5.7	7.1	14.3
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

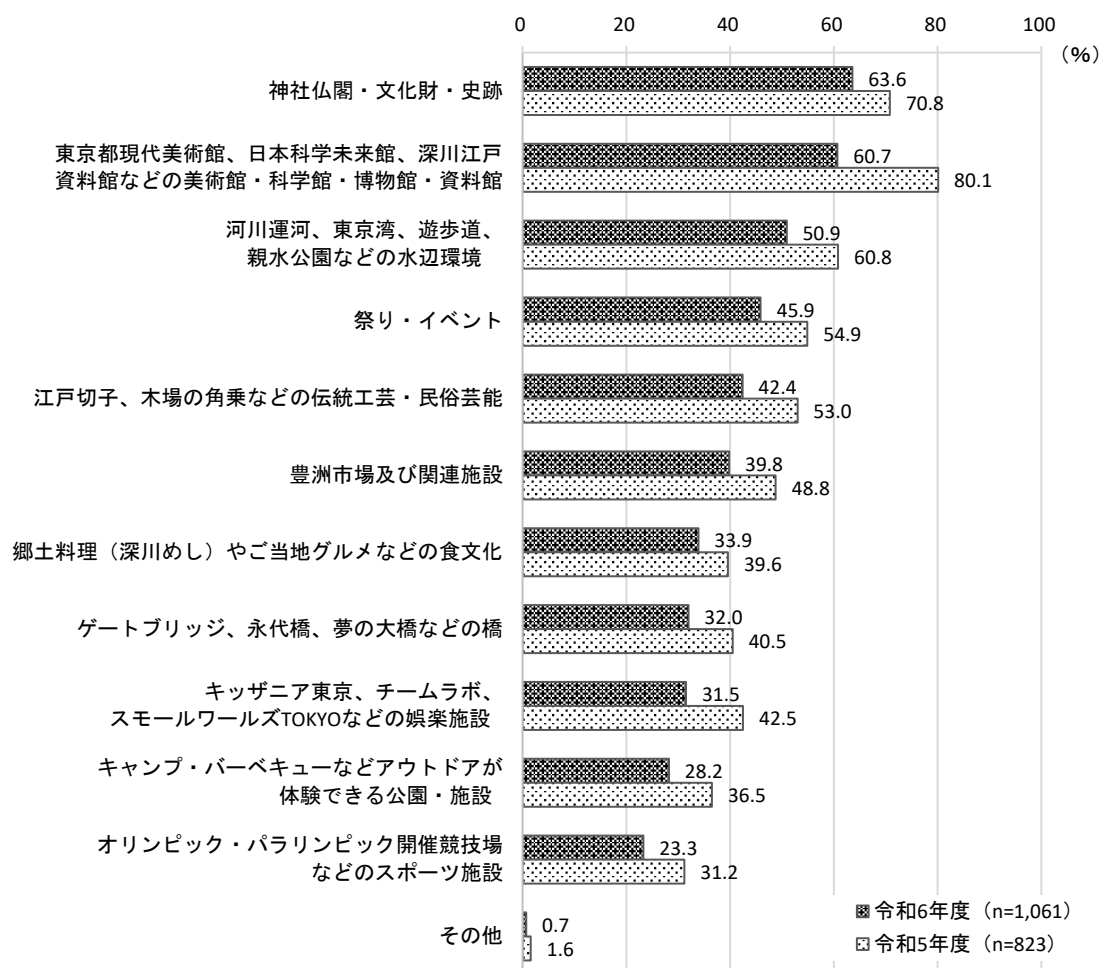
	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い	わからない
全体	680	15.3	72.6	2.9	1.2	7.9
18～19歳	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	18	5.6	83.3	5.6	0.0	5.6
25～29歳	45	0.0	93.3	0.0	0.0	6.7
30～34歳	49	8.2	81.6	4.1	0.0	6.1
35～39歳	44	9.1	81.8	2.3	2.3	4.5
40～44歳	64	12.5	79.7	0.0	1.6	6.3
45～49歳	78	9.0	82.1	1.3	1.3	6.4
50～54歳	84	16.7	72.6	2.4	2.4	6.0
55～59歳	64	20.3	75.0	1.6	1.6	1.6
60～64歳	45	8.9	84.4	2.2	0.0	4.4
65～69歳	46	23.9	58.7	8.7	0.0	8.7
70～74歳	47	29.8	53.2	6.4	2.1	8.5
75歳以上	91	25.3	47.3	4.4	1.1	22.0
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問30ー1 問30で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方におたずねします。
あなたにとって魅力的だと思う観光資源を次の中から、あてはまるものを選び○印をつけてください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「神社仏閣・文化財・史跡」が63.6%で最も高く、次いで「東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館」(60.7%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、全項目でポイントが減少している。

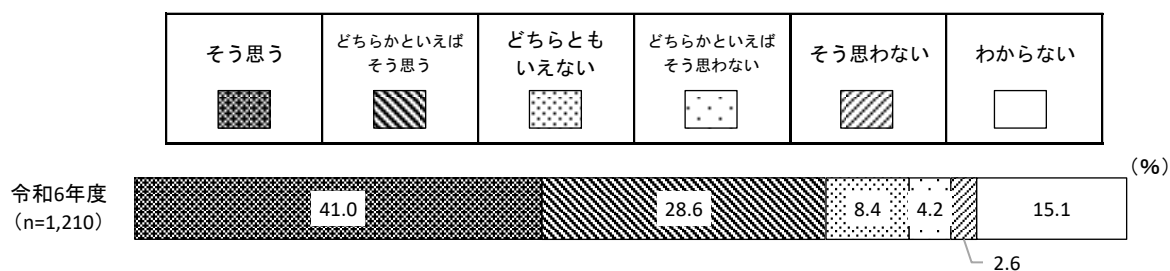
図表Ⅳ－90 魅力的だと思う文化観光資源



問31 あなたは、江東区には未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統技能があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- ・「そう思う」が41.0%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(28.6%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は69.6%となっている。

図表Ⅳ－91 未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統技能があると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(77.1%)、富岡地区(73.9%)、東陽地区(72.7%)、砂町地区(70.9%)、南砂地区(69.9%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－92 未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統技能があると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,210	41.0	28.6	8.4	4.2	2.6	15.1
白河	127	42.5	34.6	7.1	1.6	1.6	12.6
小松橋	74	44.6	21.6	9.5	1.4	5.4	17.6
富岡	92	46.7	27.2	7.6	2.2	2.2	14.1
東陽	95	47.4	25.3	10.5	6.3	0.0	10.5
豊洲	272	40.1	28.7	7.0	5.1	2.9	16.2
亀戸	136	35.3	30.1	11.8	3.7	2.2	16.9
大島	131	31.3	32.8	10.7	4.6	4.6	16.0
砂町	175	46.3	24.6	7.4	4.6	1.1	16.0
南砂	93	38.7	31.2	4.3	5.4	5.4	15.1
居住地区不詳	15	40.0	20.0	20.0	13.3	0.0	6.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（71.3%）の方が男性（67.6%）よりも3.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、25～34歳、55歳以上で男性全体を上回っている。女性では20～24歳、45～59歳、65歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－93 未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統技能があると思う区民の割合（性年齢別）

<男性>		(%)					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	484	39.9	27.7	10.1	4.8	3.9	13.6
18～19歳	8	62.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5
20～24歳	13	38.5	7.7	7.7	0.0	15.4	30.8
25～29歳	22	40.9	31.8	9.1	0.0	0.0	18.2
30～34歳	21	57.1	19.0	0.0	4.8	9.5	9.5
35～39歳	33	30.3	36.4	12.1	3.0	0.0	18.2
40～44歳	47	27.7	23.4	8.5	17.0	4.3	19.1
45～49歳	48	35.4	25.0	4.2	12.5	6.3	16.7
50～54歳	47	31.9	29.8	19.1	0.0	4.3	14.9
55～59歳	53	45.3	26.4	11.3	1.9	5.7	9.4
60～64歳	46	45.7	23.9	15.2	2.2	0.0	13.0
65～69歳	35	40.0	31.4	8.6	2.9	8.6	8.6
70～74歳	40	30.0	40.0	12.5	5.0	2.5	10.0
75歳以上	70	51.4	27.1	8.6	2.9	0.0	10.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女性>		(%)					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	676	41.7	29.6	7.1	3.8	1.8	16.0
18～19歳	4	25.0	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0
20～24歳	18	38.9	33.3	11.1	5.6	5.6	5.6
25～29歳	45	20.0	24.4	8.9	8.9	0.0	37.8
30～34歳	49	36.7	24.5	8.2	2.0	2.0	26.5
35～39歳	43	23.3	27.9	14.0	11.6	11.6	11.6
40～44歳	64	35.9	32.8	9.4	4.7	1.6	15.6
45～49歳	79	39.2	34.2	7.6	1.3	1.3	16.5
50～54歳	84	47.6	26.2	4.8	3.6	0.0	17.9
55～59歳	62	50.0	33.9	3.2	4.8	0.0	8.1
60～64歳	45	28.9	35.6	15.6	0.0	0.0	20.0
65～69歳	47	53.2	29.8	2.1	2.1	0.0	12.8
70～74歳	44	56.8	27.3	4.5	4.5	0.0	6.8
75歳以上	91	53.8	26.4	4.4	1.1	2.2	12.1
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【切れ目のない支援による母子保健の充実】

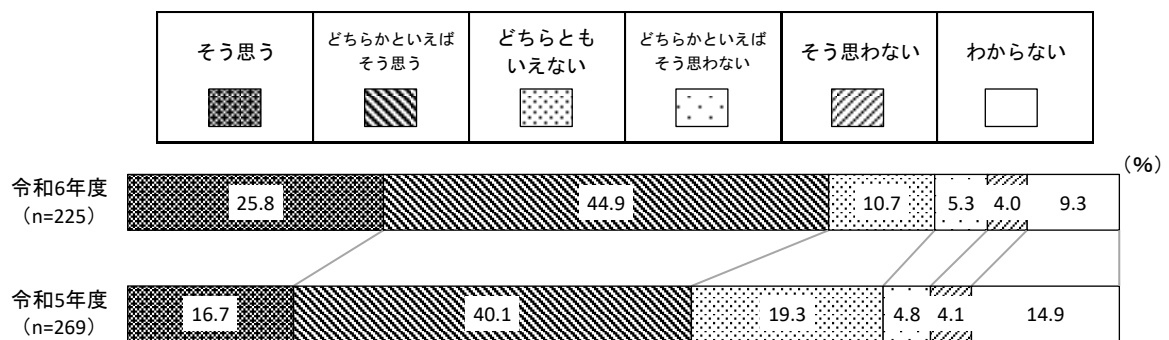
問32 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

江東区は健診、各種相談事業、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が44.9%で最も高く、次いで「そう思う」(25.8%)となっている。
- ・「そう思う」(25.8%)と「どちらかといえばそう思う」(44.9%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は70.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が13.9ポイント増加している。

図表Ⅳ－94 母子保健サービスが充実していると思う区民の割合



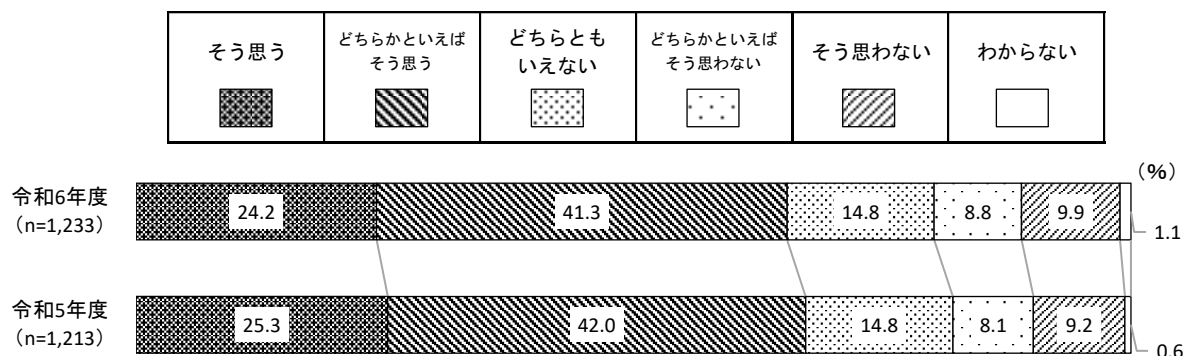
【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問33 あなたは、ご自身が健康であると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が41.3%で最も高く、次いで「そう思う」(24.2%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は65.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』が1.8ポイント減少している。

図表Ⅳ－95 自分が健康である認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、富岡地区(76.7%)、白河地区(73%)、豊洲地区(69.9%)、小松橋地区(69.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－96 自分が健康である認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,233	24.2	41.3	14.8	8.8	9.9	1.1
白河	126	28.6	44.4	12.7	7.1	7.1	0.0
小松橋	78	26.9	42.3	16.7	3.8	9.0	1.3
富岡	90	35.6	41.1	5.6	6.7	10.0	1.1
東陽	95	25.3	40.0	14.7	12.6	5.3	2.1
豊洲	279	28.7	41.2	14.7	6.8	7.5	1.1
亀戸	139	16.5	41.0	22.3	10.8	8.6	0.7
大島	138	18.8	40.6	13.8	8.0	16.7	2.2
砂町	177	20.3	40.7	13.6	9.6	14.7	1.1
南砂	96	18.8	38.5	17.7	15.6	9.4	0.0
居住地区不詳	15	13.3	53.3	13.3	13.3	6.7	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（68.1％）の方が男性（63.0％）より5.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～39歳、45～69歳で男性全体を上回っている。女性では18～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－97 自分が健康である認識（性年齢別）

＜男性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	494	21.9	41.1	15.8	9.1	10.3	1.8
18～19歳	8	12.5	62.5	12.5	0.0	12.5	0.0
20～24歳	13	46.2	38.5	0.0	7.7	0.0	7.7
25～29歳	22	22.7	50.0	9.1	9.1	9.1	0.0
30～34歳	23	52.2	13.0	4.3	21.7	8.7	0.0
35～39歳	33	24.2	42.4	21.2	12.1	0.0	0.0
40～44歳	47	12.8	38.3	23.4	8.5	10.6	6.4
45～49歳	49	28.6	38.8	18.4	8.2	4.1	2.0
50～54歳	47	27.7	36.2	14.9	12.8	6.4	2.1
55～59歳	53	17.0	52.8	17.0	1.9	7.5	3.8
60～64歳	45	6.7	57.8	20.0	11.1	2.2	2.2
65～69歳	37	24.3	40.5	13.5	5.4	16.2	0.0
70～74歳	41	17.1	34.1	22.0	7.3	19.5	0.0
75歳以上	75	20.0	36.0	10.7	10.7	22.7	0.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

＜女性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	688	26.2	41.9	13.8	8.4	9.2	0.6
18～19歳	4	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	18	50.0	44.4	0.0	0.0	5.6	0.0
25～29歳	45	42.2	42.2	6.7	4.4	4.4	0.0
30～34歳	48	39.6	35.4	14.6	6.3	2.1	2.1
35～39歳	45	40.0	35.6	8.9	4.4	11.1	0.0
40～44歳	64	25.0	48.4	12.5	4.7	7.8	1.6
45～49歳	79	24.1	48.1	15.2	10.1	2.5	0.0
50～54歳	84	23.8	45.2	14.3	8.3	8.3	0.0
55～59歳	64	23.4	40.6	15.6	10.9	9.4	0.0
60～64歳	45	20.0	40.0	13.3	17.8	8.9	0.0
65～69歳	48	14.6	50.0	8.3	8.3	18.8	0.0
70～74歳	48	27.1	31.3	18.8	6.3	14.6	2.1
75歳以上	95	16.8	35.8	20.0	11.6	14.7	1.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問34 あなたは、悩みを抱えた時やストレスを感じた時、誰かに支援を求めることにためらいを感じますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「どちらかといえばそう感じる」が27.6%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.7%)となっている。
- ・「そう感じる」(15.9%)と「どちらかといえばそう感じる」(27.6%)を合わせた『そう感じる(計)』の割合は43.5%となっている。

図表Ⅳ－98 誰かに支援を求めることへのためらい



① 地区別

- ・地区別では、『そう感じる(計)』の割合は、富岡地区(51.6%)、白河地区(49.6%)、豊洲地区(46.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－99 誰かに支援を求めることへのためらい(地区別)

	n	そう感じる	どちらかとい えばそう 感じる	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 感じない	そう感じない
全体	1,231	15.9	27.6	23.7	16.6	16.2
白河	125	16.8	32.8	20.0	17.6	12.8
小松橋	78	9.0	21.8	24.4	20.5	24.4
富岡	93	17.2	34.4	23.7	11.8	12.9
東陽	94	11.7	25.5	28.7	13.8	20.2
豊洲	279	20.8	25.4	20.4	14.7	18.6
亀戸	138	18.8	21.0	26.1	20.3	13.8
大島	138	14.5	27.5	29.0	15.2	13.8
砂町	175	14.3	28.6	24.0	16.0	17.1
南砂	96	8.3	32.3	24.0	22.9	12.5
居住地区不詳	15	26.7	46.7	6.7	13.3	6.7

(%)

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性（46.9％）の方が女性（41.5％）よりも5.4ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう感じる（計）』の割合は、男性では25～49歳、55～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～44歳、65～69歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－100 誰かに支援を求めることへのためらい（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない
全体	494	18.6	28.3	23.5	15.0	14.6
18～19歳	8	12.5	12.5	25.0	12.5	37.5
20～24歳	13	15.4	30.8	0.0	30.8	23.1
25～29歳	22	18.2	45.5	4.5	9.1	22.7
30～34歳	23	26.1	21.7	8.7	17.4	26.1
35～39歳	33	21.2	36.4	15.2	18.2	9.1
40～44歳	47	23.4	29.8	21.3	19.1	6.4
45～49歳	49	22.4	26.5	24.5	20.4	6.1
50～54歳	47	19.1	19.1	29.8	25.5	6.4
55～59歳	53	26.4	26.4	30.2	7.5	9.4
60～64歳	46	13.0	34.8	23.9	6.5	21.7
65～69歳	37	16.2	16.2	24.3	21.6	21.6
70～74歳	41	7.3	36.6	31.7	9.8	14.6
75歳以上	74	14.9	28.4	28.4	9.5	18.9
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

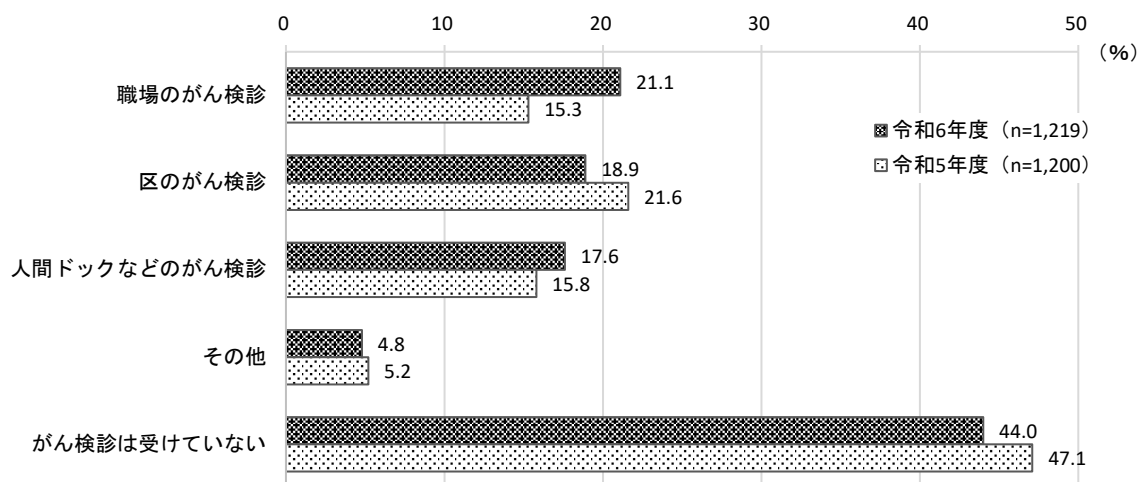
	n	そう感じる	どちらかといえばそう感じる	どちらともいえない	どちらかといえばそう感じない	そう感じない
全体	687	14.3	27.2	23.6	17.9	17.0
18～19歳	4	0.0	75.0	0.0	0.0	25.0
20～24歳	18	27.8	55.6	5.6	0.0	11.1
25～29歳	45	13.3	31.1	13.3	33.3	8.9
30～34歳	48	16.7	31.3	14.6	18.8	18.8
35～39歳	45	31.1	20.0	20.0	13.3	15.6
40～44歳	64	15.6	28.1	21.9	18.8	15.6
45～49歳	79	12.7	24.1	31.6	20.3	11.4
50～54歳	84	11.9	17.9	22.6	22.6	25.0
55～59歳	64	6.3	25.0	31.3	21.9	15.6
60～64歳	45	11.1	22.2	31.1	15.6	20.0
65～69歳	48	14.6	41.7	20.8	12.5	10.4
70～74歳	48	4.2	14.6	29.2	10.4	41.7
75歳以上	94	18.1	33.0	23.4	14.9	10.6
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

問35 あなたは、この1年間で何らかのがん検診を受けましたか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「がん検診は受けていない」が44.0%で最も高く、次いで「職場のがん検診」(21.1%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「職場のがん検診」が5.8ポイント増加している。

図表Ⅳ－101 がん検診を受けた区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区において、「がん検診は受けていない」の割合が、1位となっている。次いで、小松橋地区、富岡地区、東陽地区、豊洲地区、亀戸地区、南砂地区では「職場のがん検診」が、大島地区、砂町地区で「区のがん検診」、白河地区が「人間ドックなどのがん検診」がそれぞれ2位となっている。

図表Ⅳ－102 がん検診を受けた区民の割合（地区別）

		(%)				
	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドックなどのがん検診	その他	がん検診は受けていない
全体	1,219	18.9	21.1	17.6	4.8	44.0
白河	128	15.6	21.9	23.4	2.3	43.8
小松橋	79	20.3	27.8	15.2	5.1	31.6
富岡	93	15.1	21.5	17.2	4.3	50.5
東陽	96	17.7	22.9	13.5	3.1	45.8
豊洲	280	20.7	21.4	19.6	4.3	38.6
亀戸	140	15.0	20.7	14.3	5.7	47.9
大島	140	21.4	13.6	18.6	5.7	43.6
砂町	179	21.2	16.2	15.6	5.0	44.1
南砂	96	15.6	27.1	12.5	5.2	44.8
居住地区不詳	15	13.3	13.3	20.0	13.3	40.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、女性の方が「区のがん検診」と「職場のがん検診」の割合が高く、男性の方が「がん検診は受けていない」と「人間ドックなどのがん検診」の割合が高くなっている。
- ・年齢別にみると、「がん検診は受けていない」の割合は、男性では18～49歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では18～34歳、65～69歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－103 がん検診を受けた区民の割合（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドック などのがん 検診	その他	がん検診は 受けていな い
全体	500	12.6	18.4	20.2	3.8	48.8
18～19歳	8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	13	0.0	0.0	7.7	0.0	92.3
25～29歳	22	0.0	13.6	4.5	0.0	81.8
30～34歳	23	0.0	21.7	0.0	0.0	78.3
35～39歳	33	3.0	9.1	18.2	0.0	72.7
40～44歳	47	4.3	31.9	21.3	0.0	48.9
45～49歳	49	10.2	22.4	24.5	0.0	53.1
50～54歳	47	6.4	23.4	21.3	4.3	46.8
55～59歳	53	9.4	28.3	18.9	1.9	45.3
60～64歳	47	12.8	27.7	29.8	4.3	27.7
65～69歳	37	8.1	24.3	37.8	8.1	27.0
70～74歳	41	22.0	9.8	26.8	0.0	51.2
75歳以上	79	36.7	3.8	15.2	12.7	31.6
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

<女性>

(%)

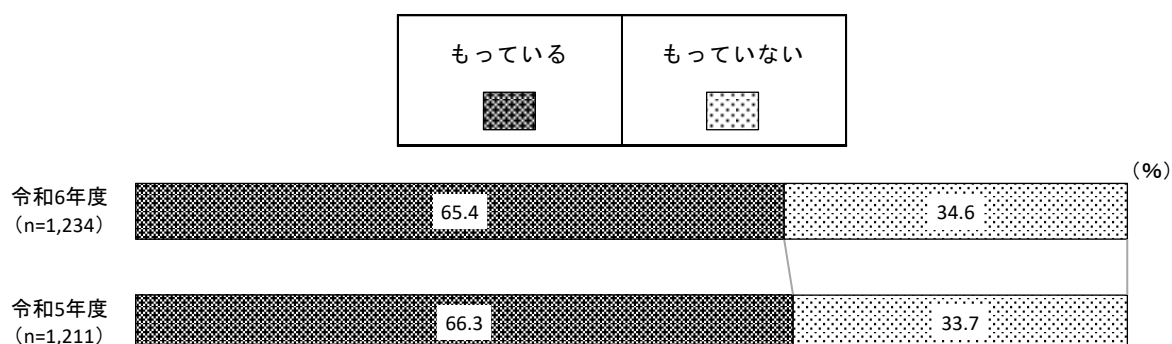
	n	区のがん検診	職場のがん検診	人間ドック などのがん 検診	その他	がん検診は 受けていな い
全体	693	23.1	22.9	15.4	5.1	38.4
18～19歳	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20～24歳	18	5.6	5.6	5.6	0.0	83.3
25～29歳	45	4.4	33.3	2.2	8.9	57.8
30～34歳	49	8.2	18.4	4.1	14.3	55.1
35～39歳	45	15.6	42.2	15.6	0.0	33.3
40～44歳	64	20.3	34.4	18.8	3.1	35.9
45～49歳	79	13.9	31.6	31.6	1.3	26.6
50～54歳	84	26.2	28.6	23.8	4.8	27.4
55～59歳	64	17.2	34.4	18.8	6.3	32.8
60～64歳	46	19.6	28.3	19.6	4.3	28.3
65～69歳	48	37.5	12.5	10.4	8.3	39.6
70～74歳	49	46.9	6.1	16.3	4.1	32.7
75歳以上	97	40.2	0.0	5.2	4.1	44.3
年齢無効	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

問36 あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもっていますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

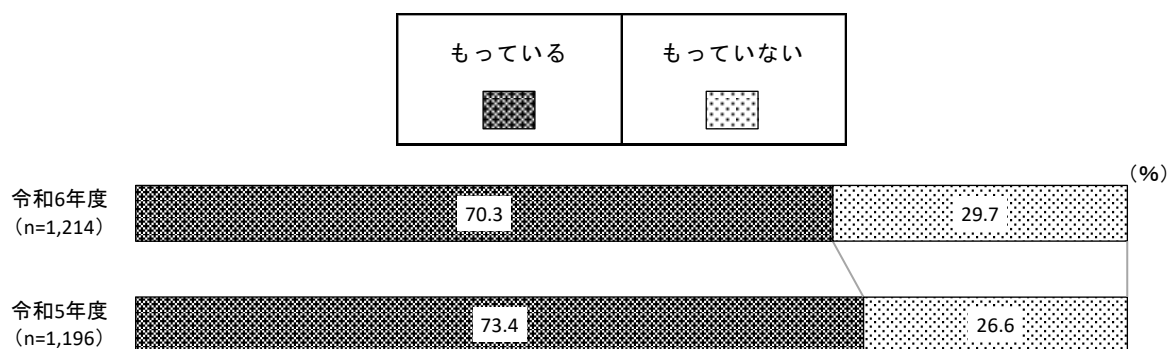
<全体／経年比較>

- ・「もっている」の割合でみると、“かかりつけ歯科医”が70.3%で最も高く、次いで“かかりつけ医”(65.4%)、“かかりつけ薬局”(55.2%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、“かかりつけ歯科医”を「もっている」が3.1ポイント減少している。

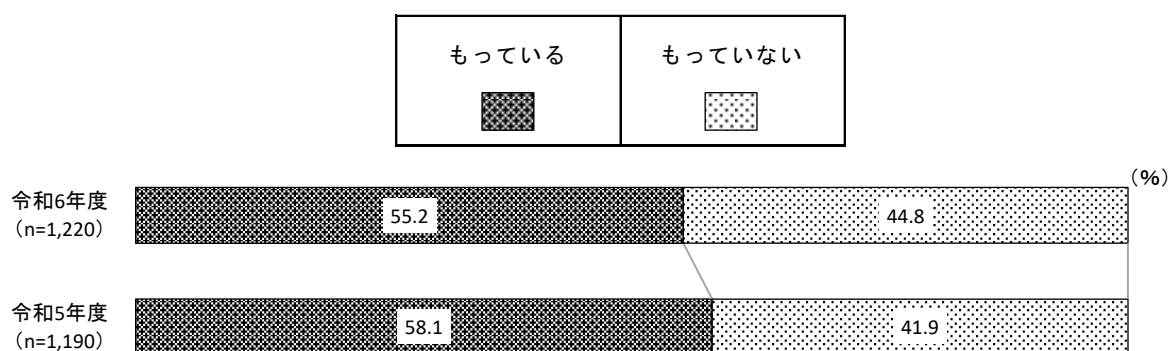
図表Ⅳ－104 かかりつけ医を持っている区民の割合



図表Ⅳ－105 かかりつけ歯科医を持っている区民の割合



図表Ⅳ－106 かかりつけ薬局を持っている区民の割合



① 地区別

- ・地区別でみると、“かかりつけ医”をもっている割合は、砂町地区（74.4%）が最も高く、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、富岡地区（78.5%）が最も高く、“かかりつけ薬局”をもっている割合は、大島地区（61.2%）が最も高くなっている。

図表Ⅳ－107 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている区民の割合（地区別）

	かかりつけ医			かかりつけ歯科医			かかりつけ薬局		
	n	もっている	もっていない	n	もっている	もっていない	n	もっている	もっていない
全体	1,234	65.4	34.6	1,214	70.3	29.7	1,220	55.2	44.8
白河	126	57.9	42.1	126	69.0	31.0	126	52.4	47.6
小松橋	79	64.6	35.4	78	73.1	26.9	78	51.3	48.7
富岡	93	61.3	38.7	93	78.5	21.5	91	47.3	52.7
東陽	95	65.3	34.7	90	68.9	31.1	94	58.5	41.5
豊洲	280	63.9	36.1	274	71.2	28.8	278	56.8	43.2
亀戸	135	66.7	33.3	133	69.2	30.8	133	54.9	45.1
大島	139	67.6	32.4	137	69.3	30.7	139	61.2	38.8
砂町	176	74.4	25.6	173	70.5	29.5	172	55.8	44.2
南砂	96	64.6	35.4	95	64.2	35.8	95	54.7	45.3
居住地区不詳	15	53.3	46.7	15	60.0	40.0	14	42.9	57.1

② 性年齢別

- ・男女別にみると、“かかりつけ医”をもっている割合は、男性（64.0%）と女性（65.6%）に特に大きな違いはみられないが、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は、女性（75.7%）の方が男性（62.2%）より13.5ポイント高く、“かかりつけ薬局”をもっている割合は、女性（57.5%）の方が男性（50.4%）より7.1ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性では“かかりつけ医”“かかりつけ薬局”をもっている割合は75歳以上が最も高く、“かかりつけ歯科医”をもっている割合は18～19歳が最も高くなっている。女性では“かかりつけ医”“かかりつけ歯科医”“かかりつけ薬局”をもっている割合は、いずれも75歳以上が最も高くなっている。

図表Ⅳ－108 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局を持っている区民の割合（性年齢別）

＜男性＞				（％）					
	かかりつけ医			かかりつけ歯科医			かかりつけ薬局		
	n	もっている	もっていない	n	もっている	もっていない	n	もっている	もっていない
全体	497	64.0	36.0	484	62.2	37.8	488	50.4	49.6
18～19歳	8	75.0	25.0	8	100.0	0.0	8	50.0	50.0
20～24歳	13	46.2	53.8	13	38.5	61.5	13	38.5	61.5
25～29歳	22	45.5	54.5	22	54.5	45.5	22	36.4	63.6
30～34歳	23	65.2	34.8	23	65.2	34.8	23	47.8	52.2
35～39歳	33	36.4	63.6	33	42.4	57.6	33	36.4	63.6
40～44歳	47	40.4	59.6	45	57.8	42.2	47	38.3	61.7
45～49歳	49	46.9	53.1	49	51.0	49.0	49	30.6	69.4
50～54歳	46	47.8	52.2	45	53.3	46.7	45	42.2	57.8
55～59歳	53	64.2	35.8	53	56.6	43.4	53	39.6	60.4
60～64歳	46	71.7	28.3	46	63.0	37.0	45	51.1	48.9
65～69歳	37	91.9	8.1	33	78.8	21.2	37	73.0	27.0
70～74歳	41	73.2	26.8	41	80.5	19.5	40	55.0	45.0
75歳以上	78	93.6	6.4	72	73.6	26.4	72	83.3	16.7
年齢不詳	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0

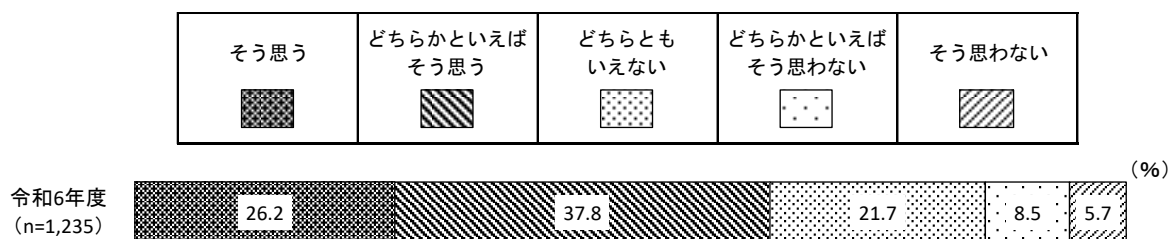
＜女性＞				（％）					
	かかりつけ医			かかりつけ歯科医			かかりつけ薬局		
	n	もっている	もっていない	n	もっている	もっていない	n	もっている	もっていない
全体	688	65.6	34.4	683	75.7	24.3	685	57.5	42.5
18～19歳	4	50.0	50.0	4	50.0	50.0	4	50.0	50.0
20～24歳	18	55.6	44.4	18	55.6	44.4	18	38.9	61.1
25～29歳	45	42.2	57.8	45	48.9	51.1	45	28.9	71.1
30～34歳	48	39.6	60.4	48	58.3	41.7	48	41.7	58.3
35～39歳	45	44.4	55.6	45	71.1	28.9	45	51.1	48.9
40～44歳	64	57.8	42.2	64	76.6	23.4	64	56.3	43.8
45～49歳	79	62.0	38.0	79	73.4	26.6	79	53.2	46.8
50～54歳	84	63.1	36.9	84	78.6	21.4	84	54.8	45.2
55～59歳	64	68.8	31.3	64	82.8	17.2	63	54.0	46.0
60～64歳	44	63.6	36.4	45	82.2	17.8	44	59.1	40.9
65～69歳	48	77.1	22.9	47	85.1	14.9	48	64.6	35.4
70～74歳	49	87.8	12.2	49	83.7	16.3	49	71.4	28.6
75歳以上	95	93.7	6.3	90	86.7	13.3	93	83.9	16.1
年齢不詳	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0

問37 あなたは、普段の体調不良時や休日・夜間の急病時などに、身近で必要とする医療を受けられると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「どちらかといえばそう思う」が37.8%で最も高く、次いで「そう思う」(26.2%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は64.0%となっている。

図表Ⅳ-109 身近で必要とする医療を受けられると思う割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(69.3%)、大島地区(68.3%)、白河地区(65.8%)、小松橋地区(65.4%)、東陽地区(65.2%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ-110 身近で必要とする医療を受けられると思う割合(地区別)

		(%)				
	n	そう思う	どちらか といえばそう 思う	どちらとも いえない	どちらか といえばそう 思わない	そう思わな い
全体	1,235	26.2	37.8	21.7	8.5	5.7
白河	126	19.8	46.0	23.8	6.3	4.0
小松橋	78	29.5	35.9	19.2	6.4	9.0
富岡	93	23.7	36.6	24.7	12.9	2.2
東陽	95	28.4	36.8	23.2	6.3	5.3
豊洲	280	27.5	41.8	16.8	8.2	5.7
亀戸	137	29.2	32.8	23.4	8.8	5.8
大島	139	29.5	38.8	19.4	6.5	5.8
砂町	176	24.4	30.7	27.3	9.7	8.0
南砂	96	20.8	40.6	20.8	12.5	5.2
居住地区不詳	15	40.0	20.0	26.7	6.7	6.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（67.4%）の方が女性（62.8%）より4.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、25～49歳、65～69歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、25～34歳、40～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－111 身近で必要とする医療を受けられると思う割合（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	494	28.9	38.5	19.6	8.5	4.5
18～19歳	8	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	13	23.1	23.1	7.7	30.8	15.4
25～29歳	22	31.8	50.0	13.6	4.5	0.0
30～34歳	22	31.8	45.5	18.2	0.0	4.5
35～39歳	33	27.3	54.5	6.1	12.1	0.0
40～44歳	47	25.5	46.8	21.3	6.4	0.0
45～49歳	49	30.6	38.8	18.4	10.2	2.0
50～54歳	46	21.7	39.1	21.7	10.9	6.5
55～59歳	53	18.9	43.4	30.2	5.7	1.9
60～64歳	46	19.6	39.1	21.7	8.7	10.9
65～69歳	37	37.8	32.4	18.9	5.4	5.4
70～74歳	41	34.1	31.7	22.0	7.3	4.9
75歳以上	76	35.5	26.3	21.1	10.5	6.6
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	690	24.1	38.7	22.2	8.7	6.4
18～19歳	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0
20～24歳	18	27.8	33.3	22.2	11.1	5.6
25～29歳	45	17.8	51.1	13.3	11.1	6.7
30～34歳	48	29.2	43.8	16.7	6.3	4.2
35～39歳	45	33.3	28.9	20.0	13.3	4.4
40～44歳	64	31.3	40.6	18.8	4.7	4.7
45～49歳	79	22.8	43.0	20.3	7.6	6.3
50～54歳	84	23.8	41.7	26.2	1.2	7.1
55～59歳	64	15.6	43.8	21.9	15.6	3.1
60～64歳	45	15.6	42.2	33.3	4.4	4.4
65～69歳	48	14.6	43.8	25.0	10.4	6.3
70～74歳	49	30.6	30.6	26.5	6.1	6.1
75歳以上	96	26.0	25.0	22.9	14.6	11.5
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

【感染症対策と生活衛生の確保】

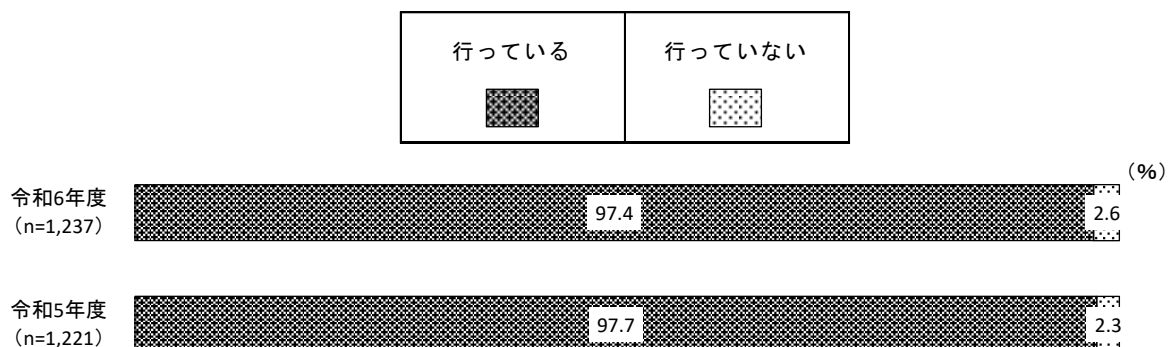
問38 あなたは、感染症予防や食中毒予防のために、「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

※咳エチケットとは：咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を覆う等、周りの人に感染させないように配慮すること

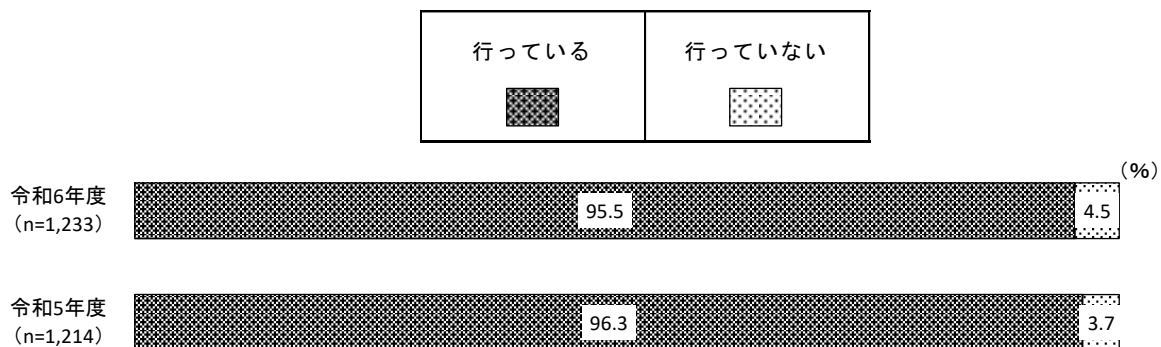
<全体／経年比較>

- ・「行っている」の割合でみると、“手洗い”が97.4%、“咳エチケット”が95.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－112 手洗いの励行状況



図表Ⅳ－113 咳エチケットの励行状況



① 地区別

- ・地区別でみると、“手洗い”を行っている割合は、白河地区（99.2％）が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、南砂地区（99.0％）が最も高くなっている。

図表Ⅳ－114 手洗い、咳エチケットの励行状況（地区別）

	手洗い			咳エチケット		
	n	行っている	行っていない	n	行っている	行っていない
全体	1,237	97.4	2.6	1,233	95.5	4.5
白河	126	99.2	0.8	126	98.4	1.6
小松橋	79	96.2	3.8	79	94.9	5.1
富岡	93	96.8	3.2	93	90.3	9.7
東陽	95	95.8	4.2	94	93.6	6.4
豊洲	280	97.1	2.9	279	95.0	5.0
亀戸	139	98.6	1.4	139	97.1	2.9
大島	138	97.8	2.2	138	94.2	5.8
砂町	177	97.2	2.8	174	97.1	2.9
南砂	95	97.9	2.1	96	99.0	1.0
居住地区不詳	15	93.3	6.7	15	80.0	20.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、“手洗い”を行っている割合は、女性（99.0％）の方が男性（95.0％）より4.0ポイント高くなっている。“咳エチケット”を行っている割合は、女性（98.0％）の方が男性（92.1％）より5.9ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性では“手洗い”を行っている割合は、18～19歳、55～59歳が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、18～19歳、25～29歳、70～74歳が最も高くなっている。女性では“手洗い”を行っている割合は、18～24歳、30～34歳、40～44歳、55～74歳が最も高く、“咳エチケット”を行っている割合は、18～24歳、40～44歳、55～59歳、65～69歳が最も高くなっている。

図表Ⅳ－115 手洗い、咳エチケットの励行状況（性年齢別）

＜男性＞		（％）				
	手洗い			咳エチケット		
	n	行っている	行っていない	n	行っている	行っていない
全体	497	95.0	5.0	496	92.1	7.9
18～19歳	8	100.0	0.0	8	100.0	0.0
20～24歳	13	84.6	15.4	13	84.6	15.4
25～29歳	22	95.5	4.5	22	100.0	0.0
30～34歳	23	82.6	17.4	23	91.3	8.7
35～39歳	33	97.0	3.0	33	90.9	9.1
40～44歳	47	87.2	12.8	46	93.5	6.5
45～49歳	49	95.9	4.1	49	98.0	2.0
50～54歳	47	97.9	2.1	47	85.1	14.9
55～59歳	53	100.0	0.0	53	94.3	5.7
60～64歳	46	93.5	6.5	46	89.1	10.9
65～69歳	37	94.6	5.4	37	83.8	16.2
70～74歳	40	97.5	2.5	41	100.0	0.0
75歳以上	78	97.4	2.6	77	90.9	9.1
年齢不詳	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0

＜女性＞		（％）				
	手洗い			咳エチケット		
	n	行っている	行っていない	n	行っている	行っていない
全体	690	99.0	1.0	688	98.0	2.0
18～19歳	4	100.0	0.0	4	100.0	0.0
20～24歳	18	100.0	0.0	18	100.0	0.0
25～29歳	45	97.8	2.2	45	97.8	2.2
30～34歳	49	100.0	0.0	49	98.0	2.0
35～39歳	45	97.8	2.2	45	93.3	6.7
40～44歳	64	100.0	0.0	64	100.0	0.0
45～49歳	79	97.5	2.5	79	98.7	1.3
50～54歳	84	97.6	2.4	84	98.8	1.2
55～59歳	64	100.0	0.0	64	100.0	0.0
60～64歳	45	100.0	0.0	45	97.8	2.2
65～69歳	48	100.0	0.0	47	100.0	0.0
70～74歳	49	100.0	0.0	49	98.0	2.0
75歳以上	95	98.9	1.1	94	94.7	5.3
年齢不詳	1	100.0	0.0	1	100.0	0.0

【高齢者支援と活躍の推進】

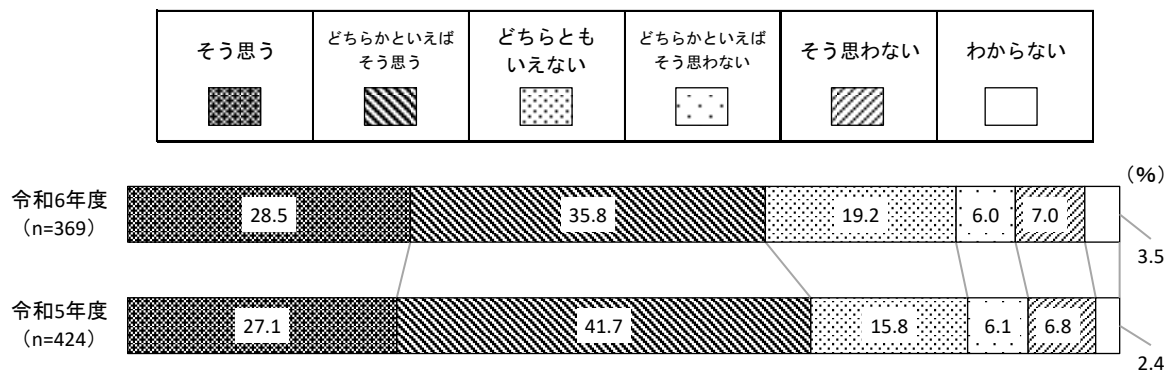
問39 65歳以上の方におたずねします。

あなたは、現在生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が35.8%で最も高く、次いで「そう思う」(28.5%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は64.3%となっている。
- ・前回調査と比較すると、『そう思う(計)』は4.5ポイント減少している。

図表Ⅳ－116 生きがいや幸せを感じる生活を送ることができている認識



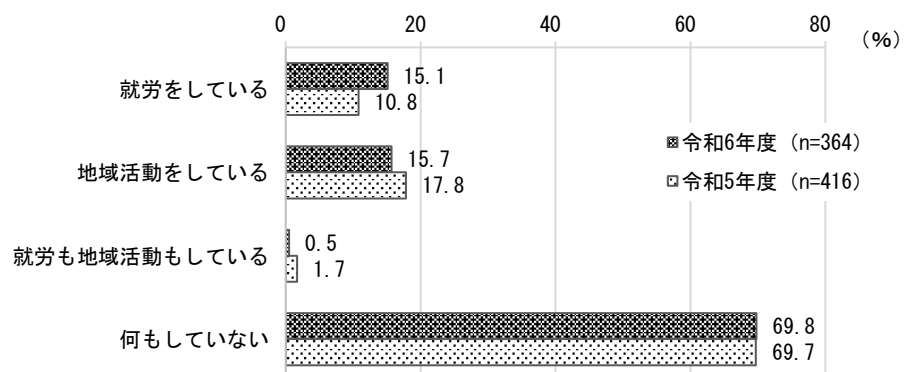
問40 65歳以上の方におたずねします。

あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「何もしていない」が69.8%で最も高く、次いで「地域活動をしている」(15.7%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「就労をしている」が2.6ポイント増加、「地域活動をしている」が3.8ポイント減少している。

図表Ⅳ－117 地域活動や就労を行っている 65 歳以上の区民の割合

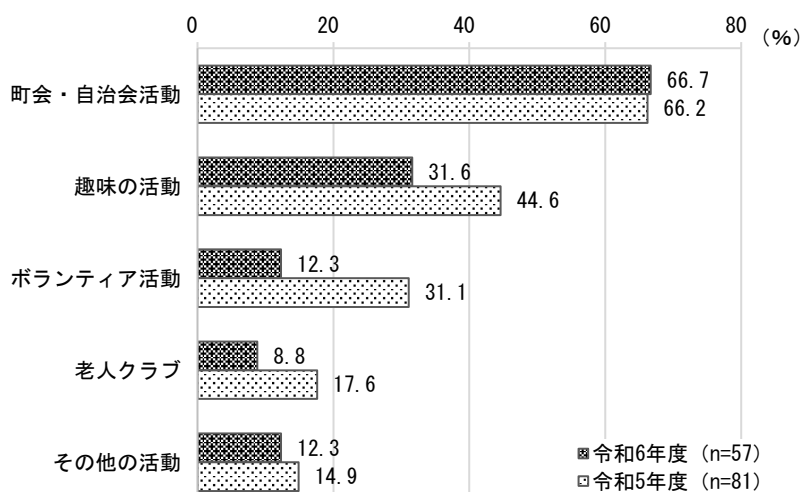


問40－1 問40で「2. 地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。
 具体的な活動内容について、あてはまるものを選び○印をおつけください。
 (○はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「町会・自治会活動」が66.7%で最も高く、次いで「趣味の活動」(31.6%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「ボランティア活動」が16.1ポイント減少、「趣味の活動」が9.1ポイント減少、「老人クラブ」が7.2ポイント減少している。

図表Ⅳ－118 具体的な活動

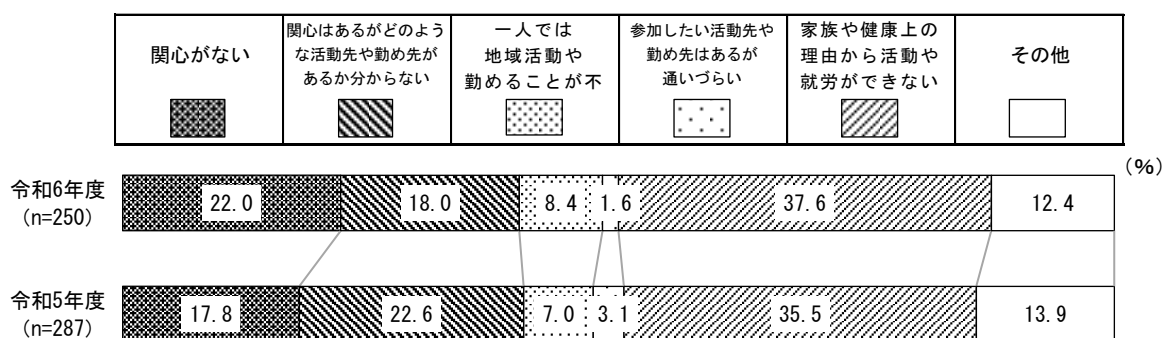


問40－2 問40で「3. 何もしていない」を選んだ方におたずねします。
 地域活動や就労を行っていない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「家族や健康上の理由から活動や就労ができない」が38.1%で最も高く、次いで「関心がない」(22.3%)、「関心はあるがどのような活動先や勤め先があるか分からない」(18.2%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「関心がない」が4.5ポイント増加、「関心はあるがどのような活動先や勤め先があるか分からない」が4.4ポイント減少している。

図表Ⅳ－119 地域活動や就労を行っていない理由

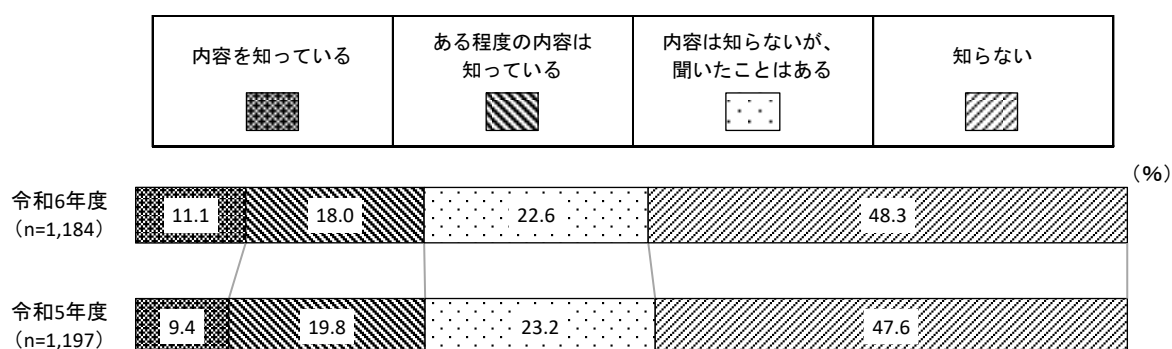


問41 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）では、保健師（看護師）、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

<全体／経年比較>

- ・「知らない」が48.3％で最も高く、次いで「内容は知らないが、聞いたことはある」（22.6％）となっている。
- ・「内容を知っている」（11.1％）と「ある程度の内容は知っている」（18.0％）を合わせた『内容を知っている（計）』の割合は29.1％となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－120 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度



① 地区別

- ・地区別では、『内容を知っている（計）』の割合は、南砂地区（34.8％）、小松橋地区（34.7％）、砂町地区（33.7％）、白河地区（32.3％）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－121 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度（地区別）
(%)

	n	内容を知っている	ある程度の内容は知っている	内容は知らないが、聞いたことはある	知らない
全体	1,184	11.1	18.0	22.6	48.3
白河	121	11.6	20.7	16.5	51.2
小松橋	75	12.0	22.7	17.3	48.0
富岡	91	7.7	20.9	20.9	50.5
東陽	93	9.7	19.4	28.0	43.0
豊洲	269	7.4	15.6	20.4	56.5
亀戸	136	14.0	14.0	20.6	51.5
大島	134	12.7	13.4	31.3	42.5
砂町	163	13.5	20.2	22.7	43.6
南砂	89	14.6	20.2	27.0	38.2
居住地区不詳	13	7.7	30.8	30.8	30.8

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『内容を知っている（計）』の割合は、女性（30.7％）の方が男性（26.2％）より4.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『内容を知っている（計）』の割合は、男性では18～19歳、50～54歳、60～64歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では55歳以上女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－122 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）の活動の認知度（性年齢別）

＜男性＞		（％）			
	n	内容を知っている	ある程度の 内容は知っ ている	内容は知ら ないが、聞 いたことは ある	知らない
全体	478	8.6	17.6	21.8	52.1
18～19歳	8	0.0	37.5	25.0	37.5
20～24歳	13	15.4	7.7	7.7	69.2
25～29歳	21	4.8	14.3	23.8	57.1
30～34歳	20	5.0	10.0	5.0	80.0
35～39歳	32	0.0	21.9	31.3	46.9
40～44歳	45	6.7	2.2	15.6	75.6
45～49歳	47	10.6	6.4	19.1	63.8
50～54歳	46	10.9	21.7	21.7	45.7
55～59歳	53	1.9	22.6	13.2	62.3
60～64歳	45	4.4	22.2	24.4	48.9
65～69歳	35	8.6	17.1	31.4	42.9
70～74歳	38	5.3	18.4	26.3	50.0
75歳以上	74	21.6	24.3	27.0	27.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0

＜女性＞		（％）			
	n	内容を知っている	ある程度の 内容は知っ ている	内容は知ら ないが、聞 いたことは ある	知らない
全体	657	12.3	18.4	23.7	45.5
18～19歳	4	0.0	25.0	50.0	25.0
20～24歳	17	17.6	11.8	23.5	47.1
25～29歳	44	6.8	9.1	15.9	68.2
30～34歳	45	4.4	11.1	13.3	71.1
35～39歳	43	2.3	7.0	23.3	67.4
40～44歳	58	6.9	8.6	17.2	67.2
45～49歳	73	2.7	15.1	20.5	61.6
50～54歳	79	12.7	17.7	22.8	46.8
55～59歳	63	9.5	25.4	27.0	38.1
60～64歳	42	9.5	23.8	21.4	45.2
65～69歳	47	19.1	34.0	29.8	17.0
70～74歳	47	29.8	19.1	31.9	19.1
75歳以上	94	24.5	26.6	30.9	18.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

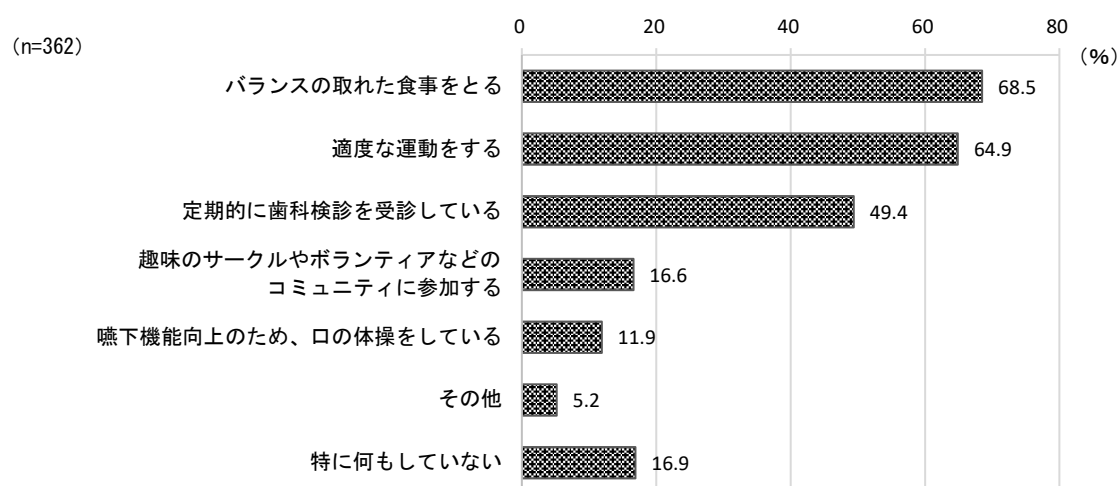
問42 65歳以上の方におたずねします。

あなたは、以下のような介護予防活動に取り組んでいますか。あてはまるものすべてに○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体>

- ・「バランスの取れた食事をする」が68.5%で最も高く、次いで「適度な運動をする」(64.9%)、「定期的に歯科検診を受診している」(49.4%)となっている。
- ・一方で、「特に何もしていない」と回答した人が、16.9%となっている。

図表Ⅳ－123 介護予防活動に取り組んでいる区民の割合



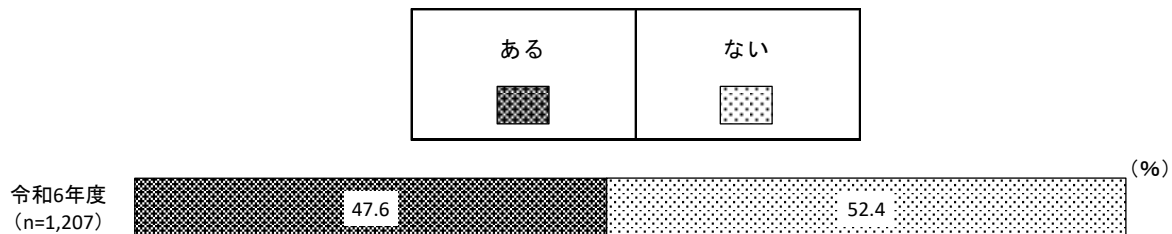
【障害者支援と共生社会の実現】

問43 あなたは、まちで障害者が困っているときに声をかけたことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「ない」が52.4%で、「ある」(47.6%)を上回っている。

図表Ⅳ－124 まちで困っている障害者に声をかけたことのある区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、「ある」の割合は、豊洲地区 (51.3%)、亀戸地区 (49.6%)、東陽地区 (47.9%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－125 まちで困っている障害者に声をかけたことのある区民の割合 (地区別)

	n	ある	ない
全体	1,207	47.6	52.4
白河	125	44.0	56.0
小松橋	77	45.5	54.5
富岡	89	42.7	57.3
東陽	94	47.9	52.1
豊洲	275	51.3	48.7
亀戸	135	49.6	50.4
大島	137	47.4	52.6
砂町	168	47.0	53.0
南砂	92	45.7	54.3
居住地区不詳	15	53.3	46.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「ある」の割合は、女性（49.9%）の方が男性（44.4%）より5.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「ある」の割合は、男性では30～34歳、45～64歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、50歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－126 まちで困っている障害者に声をかけたことのある区民の割合（性年齢別）

＜男性＞		（％）	
	n	ある	ない
全体	484	44.4	55.6
18～19歳	8	0.0	100.0
20～24歳	13	23.1	76.9
25～29歳	22	40.9	59.1
30～34歳	23	47.8	52.2
35～39歳	33	42.4	57.6
40～44歳	46	30.4	69.6
45～49歳	49	46.9	53.1
50～54歳	45	48.9	51.1
55～59歳	53	47.2	52.8
60～64歳	46	56.5	43.5
65～69歳	36	44.4	55.6
70～74歳	38	47.4	52.6
75歳以上	71	46.5	53.5
年齢不詳	1	100.0	0.0

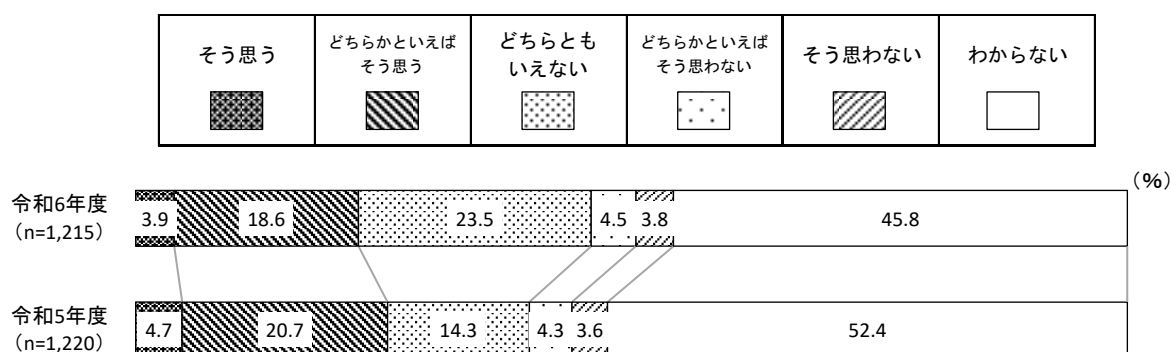
＜女性＞		（％）	
	n	ある	ない
全体	671	49.9	50.1
18～19歳	4	50.0	50.0
20～24歳	18	27.8	72.2
25～29歳	44	20.5	79.5
30～34歳	49	20.4	79.6
35～39歳	45	46.7	53.3
40～44歳	63	38.1	61.9
45～49歳	75	48.0	52.0
50～54歳	83	50.6	49.4
55～59歳	63	57.1	42.9
60～64歳	44	77.3	22.7
65～69歳	47	68.1	31.9
70～74歳	46	78.3	21.7
75歳以上	89	53.9	46.1
年齢不詳	1	0.0	100.0

問44 江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「わからない」が45.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(23.5%)となっている。
- ・「そう思う」(3.9%)と「どちらかといえばそう思う」(18.6%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は22.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「どちらともいえない」が9.2ポイント増加している。

図表Ⅳ－127 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、南砂地区(28.3%)、豊洲地区(26.5%)、砂町地区(25.9%)、白河地区(24.8%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－128 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い	わからない
全体	1,215	3.9	18.6	23.5	4.5	3.8	45.8
白河	125	3.2	21.6	22.4	2.4	4.0	46.4
小松橋	77	2.6	16.9	20.8	5.2	9.1	45.5
富岡	92	3.3	16.3	22.8	3.3	5.4	48.9
東陽	95	3.2	9.5	33.7	7.4	4.2	42.1
豊洲	276	5.8	20.7	22.1	4.0	3.3	44.2
亀戸	135	3.7	11.1	22.2	7.4	3.0	52.6
大島	138	5.1	15.9	23.2	4.3	2.9	48.6
砂町	170	3.5	22.4	23.5	4.1	3.5	42.9
南砂	92	1.1	27.2	22.8	3.3	2.2	43.5
居住地区不詳	15	0.0	33.3	26.7	6.7	0.0	33.3

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（24.0％）の方が女性（21.5％）より2.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、25～34歳、45～49歳、55～59歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、30～34歳、40～49歳、55～64歳、75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－129 障害者が社会活動に参加しやすい環境が整っていると思う区民の割合（性年齢別）

＜男性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	487	3.9	20.1	22.4	5.1	3.9	44.6
18～19歳	8	0.0	25.0	12.5	12.5	25.0	25.0
20～24歳	13	15.4	7.7	38.5	0.0	7.7	30.8
25～29歳	22	0.0	31.8	13.6	0.0	4.5	50.0
30～34歳	23	0.0	30.4	8.7	0.0	0.0	60.9
35～39歳	33	6.1	12.1	18.2	12.1	0.0	51.5
40～44歳	46	2.2	19.6	15.2	4.3	2.2	56.5
45～49歳	49	6.1	18.4	22.4	8.2	4.1	40.8
50～54歳	46	0.0	19.6	34.8	6.5	8.7	30.4
55～59歳	53	5.7	22.6	32.1	1.9	3.8	34.0
60～64歳	46	4.3	19.6	23.9	8.7	2.2	41.3
65～69歳	36	5.6	11.1	36.1	0.0	0.0	47.2
70～74歳	37	2.7	18.9	21.6	8.1	0.0	48.6
75歳以上	74	4.1	23.0	12.2	4.1	6.8	50.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

＜女性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	677	3.5	18.0	23.8	4.0	3.8	46.8
18～19歳	4	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	25.0
20～24歳	18	5.6	22.2	22.2	0.0	11.1	38.9
25～29歳	44	2.3	13.6	18.2	11.4	0.0	54.5
30～34歳	49	4.1	20.4	10.2	6.1	0.0	59.2
35～39歳	45	8.9	11.1	31.1	2.2	2.2	44.4
40～44歳	63	1.6	22.2	19.0	4.8	4.8	47.6
45～49歳	76	0.0	22.4	14.5	3.9	2.6	56.6
50～54歳	83	3.6	13.3	32.5	4.8	4.8	41.0
55～59歳	64	4.7	17.2	31.3	0.0	6.3	40.6
60～64歳	44	2.3	22.7	25.0	2.3	6.8	40.9
65～69歳	47	0.0	21.3	34.0	4.3	0.0	40.4
70～74歳	47	6.4	12.8	25.5	2.1	6.4	46.8
75歳以上	92	5.4	16.3	21.7	4.3	4.3	47.8
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

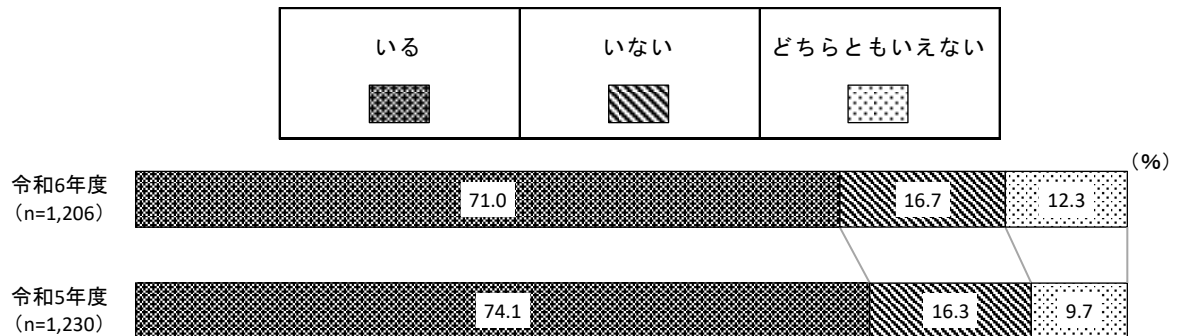
【地域福祉と生活支援の充実】

問45 日々の暮らしの中で、悩みや困りごとなど、生活の相談をすることが出来る相手があなたの身近にいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「いる」が71.0%で、「いない」(16.7%)を上回っている。
- ・前回調査と比較すると、「いる」が3.1ポイント減少している。

図表Ⅳ－130 身近に相談相手がいる区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、「いる」の割合は、豊洲地区 (74.4%)、南砂地区 (72.8%)、富岡地区 (71.9%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－131 身近に相談相手がいる区民の割合 (地区別)

	n	いる (%)	いない (%)	どちらともいえない (%)
全体	1,206	71.0	16.7	12.3
白河	124	68.5	17.7	13.7
小松橋	77	70.1	20.8	9.1
富岡	89	71.9	14.6	13.5
東陽	94	69.1	16.0	14.9
豊洲	273	74.4	14.3	11.4
亀戸	136	70.6	11.0	18.4
大島	138	68.8	22.5	8.7
砂町	169	70.4	17.2	12.4
南砂	92	72.8	20.7	6.5
居住地区不詳	14	57.1	21.4	21.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「いる」の割合は、女性（77.3%）の方が男性（61.9%）より15.4ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「いる」の割合は、男性では18～44歳、65～69歳で男性全体を上回っている。女性では20～34歳、40～44歳、50～54歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－132 身近に相談相手がいる区民の割合（性年齢別）

＜男性＞		（％）		
	n	いる	いない	どちらとも いえない
全体	486	61.9	25.5	12.6
18～19歳	8	100.0	0.0	0.0
20～24歳	13	76.9	23.1	0.0
25～29歳	22	72.7	18.2	9.1
30～34歳	23	73.9	21.7	4.3
35～39歳	33	78.8	9.1	12.1
40～44歳	46	63.0	34.8	2.2
45～49歳	49	59.2	22.4	18.4
50～54歳	46	54.3	26.1	19.6
55～59歳	53	54.7	34.0	11.3
60～64歳	46	56.5	30.4	13.0
65～69歳	35	65.7	17.1	17.1
70～74歳	38	47.4	39.5	13.2
75歳以上	73	60.3	23.3	16.4
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0

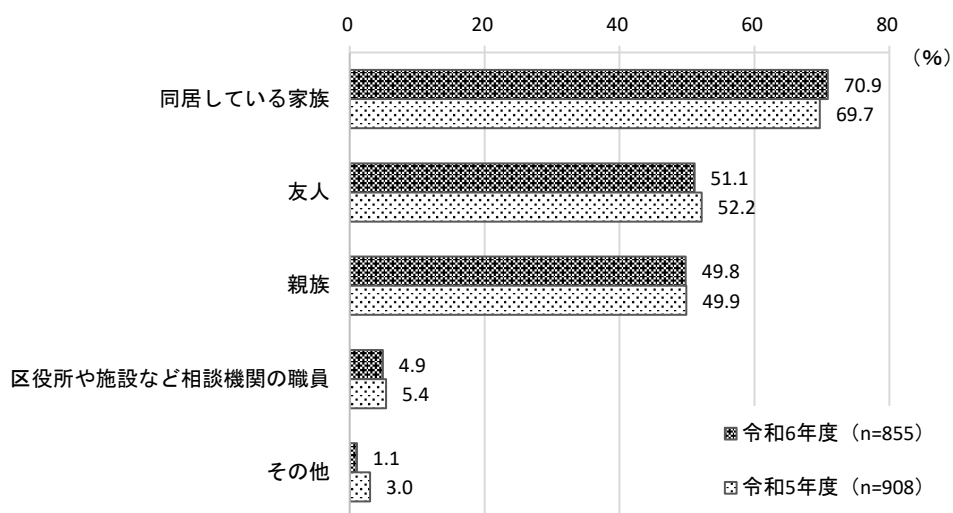
＜女性＞		（％）		
	n	いる	いない	どちらとも いえない
全体	670	77.3	10.3	12.4
18～19歳	4	75.0	0.0	25.0
20～24歳	18	94.4	0.0	5.6
25～29歳	45	86.7	2.2	11.1
30～34歳	49	77.6	6.1	16.3
35～39歳	45	66.7	17.8	15.6
40～44歳	61	80.3	9.8	9.8
45～49歳	75	76.0	8.0	16.0
50～54歳	83	84.3	7.2	8.4
55～59歳	64	76.6	7.8	15.6
60～64歳	43	58.1	23.3	18.6
65～69歳	47	74.5	17.0	8.5
70～74歳	45	95.6	2.2	2.2
75歳以上	90	68.9	16.7	14.4
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0

問45－1 問45で「1. いる」と答えた方におたずねします。
相談する相手は、どのような方ですか。(〇はいくつでも)

<全体／経年比較>

- ・「同居している家族」が70.9%で最も高く、次いで「友人」(51.1%)、「親族」(49.8%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－133 具体的な相談相手



① 地区別

- ・地区別では、東陽地区を除くすべての地区で1位は「同居している家族」となっている。

図表Ⅳ－134 具体的な相談相手（地区別）

	n	同居している家族	親族	友人	区役所や施設など相談機関の職員	その他
全体	855	70.9	49.8	51.1	4.9	1.1
白河	84	69.0	54.8	67.9	2.4	1.2
小松橋	54	79.6	42.6	31.5	1.9	1.9
富岡	64	71.9	50.0	54.7	4.7	0.0
東陽	65	53.8	46.2	56.9	6.2	1.5
豊洲	203	74.9	45.8	53.7	6.4	1.5
亀戸	96	67.7	51.0	44.8	6.3	1.0
大島	95	68.4	55.8	54.7	2.1	0.0
砂町	119	79.0	50.4	42.9	3.4	0.8
南砂	67	65.7	58.2	46.3	7.5	1.5
居住地区不詳	8	50.0	12.5	62.5	25.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「同居している家族」が1位となっており、男性（78.4%）の方が女性（67.4%）より11.0ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、男性では18～19歳、30～54歳で「同居している家族」が1位となっている。女性では18～19歳、30～59歳で「同居している家族」が1位となっている。

図表Ⅳ－135 具体的な相談相手（性年齢別）

＜男性＞		（％）				
	n	同居している家族	親族	友人	区役所や施設など相談機関の職員	その他
全体	301	78.4	40.5	40.5	6.3	0.3
18～19歳	8	100.0	25.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	10	60.0	40.0	90.0	0.0	0.0
25～29歳	16	68.8	25.0	75.0	6.3	0.0
30～34歳	17	82.4	70.6	64.7	0.0	0.0
35～39歳	26	80.8	50.0	46.2	0.0	0.0
40～44歳	29	86.2	24.1	48.3	6.9	0.0
45～49歳	29	86.2	37.9	24.1	10.3	0.0
50～54歳	25	88.0	32.0	28.0	4.0	0.0
55～59歳	29	72.4	34.5	41.4	3.4	0.0
60～64歳	26	76.9	46.2	30.8	0.0	0.0
65～69歳	23	78.3	47.8	52.2	8.7	0.0
70～74歳	18	77.8	38.9	33.3	0.0	0.0
75歳以上	44	68.2	47.7	22.7	20.5	2.3
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

＜女性＞		（％）				
	n	同居している家族	親族	友人	区役所や施設など相談機関の職員	その他
全体	518	67.4	55.6	57.3	4.1	1.4
18～19歳	3	100.0	0.0	66.7	0.0	0.0
20～24歳	17	58.8	17.6	58.8	5.9	0.0
25～29歳	39	41.0	64.1	69.2	5.1	2.6
30～34歳	38	73.7	68.4	60.5	0.0	0.0
35～39歳	30	76.7	53.3	66.7	3.3	0.0
40～44歳	49	79.6	51.0	69.4	0.0	0.0
45～49歳	57	70.2	63.2	66.7	3.5	0.0
50～54歳	70	77.1	54.3	50.0	2.9	2.9
55～59歳	49	79.6	55.1	49.0	4.1	2.0
60～64歳	25	60.0	64.0	60.0	4.0	4.0
65～69歳	35	48.6	62.9	54.3	2.9	0.0
70～74歳	43	62.8	46.5	58.1	4.7	2.3
75歳以上	62	59.7	54.8	40.3	11.3	1.6
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

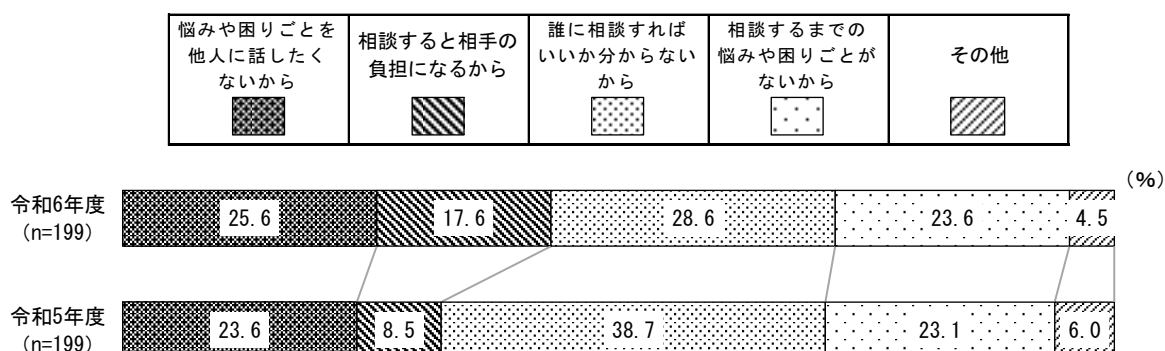
問45－2 問45で「2. いない」と答えた方におたずねします。

あなたが相談相手がいなくて感じている理由について、最もあてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「誰に相談すればいいかわからないから」が28.6%で最も高く、次いで「悩みや困りごとを他人に話したくないから」(25.6%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「誰に相談すればいいかわからないから」が10.1ポイント減少、「相談すると相手の負担になるから」が9.1ポイント増加している。

図表Ⅳ－136 相談相手がいらない理由



① 地区別

- ・地区別では、「誰に相談すればいいかわからないから」の割合は、富岡地区 (61.5%)、東陽地区 (42.9%)、南砂地区 (36.8%)、亀戸地区 (33.3%)、大島地区 (32.3%)、白河地区 (31.8%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－137 相談相手がいらない理由 (地区別)

	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他
全体	199	25.6	17.6	28.6	23.6	4.5
白河	22	22.7	18.2	31.8	18.2	9.1
小松橋	15	26.7	13.3	6.7	46.7	6.7
富岡	13	7.7	7.7	61.5	23.1	0.0
東陽	14	28.6	0.0	42.9	28.6	0.0
豊洲	38	31.6	31.6	18.4	15.8	5.0
亀戸	15	20.0	6.7	33.3	33.3	0.0
大島	31	32.3	16.1	32.3	16.1	6.7
砂町	29	31.0	10.3	17.2	31.0	3.2
南砂	19	10.5	31.6	36.8	21.1	10.3
居住地区不詳	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「誰に相談すればいいかわからないから」が1位となっている。
- ・年齢別にみると、男性では25～29歳、40～44歳、55～64歳で「誰に相談すればいいかわからないから」が同率を含め1位となっている。女性では30～39歳、50～69歳で「誰に相談すればいいかわからないから」が同率を含め1位となっている。

図表Ⅳ－138 相談相手がいない理由（性年齢別）

＜男性＞		（％）				
	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他
全体	123	25.2	14.6	29.3	26.0	4.9
18～19歳	0	—	—	—	—	—
20～24歳	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
25～29歳	4	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0
30～34歳	5	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0
35～39歳	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
40～44歳	16	12.5	18.8	37.5	31.3	0.0
45～49歳	11	45.5	9.1	36.4	0.0	9.1
50～54歳	12	41.7	25.0	33.3	0.0	0.0
55～59歳	18	27.8	5.6	50.0	11.1	5.6
60～64歳	14	21.4	7.1	35.7	28.6	7.1
65～69歳	6	16.7	0.0	16.7	66.7	0.0
70～74歳	15	20.0	13.3	13.3	46.7	6.7
75歳以上	17	23.5	11.8	17.6	35.3	11.8

＜女性＞		（％）				
	n	悩みや困りごとを他人に話したくないから	相談すると相手の負担になるから	誰に相談すればいいかわからないから	相談するまでの悩みや困りごとがないから	その他
全体	68	25.0	23.5	27.9	19.1	4.4
18～19歳	0	—	—	—	—	—
20～24歳	0	—	—	—	—	—
25～29歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～34歳	3	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3
35～39歳	8	25.0	25.0	37.5	12.5	0.0
40～44歳	6	33.3	16.7	0.0	16.7	33.3
45～49歳	6	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
50～54歳	6	16.7	33.3	50.0	0.0	0.0
55～59歳	5	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0
60～64歳	10	10.0	40.0	40.0	10.0	0.0
65～69歳	7	0.0	28.6	57.1	14.3	0.0
70～74歳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
75歳以上	15	33.3	13.3	13.3	40.0	0.0

問46 あなたは、民生・児童委員や社会福祉協議会等、地域の中で困りごとを相談できる先を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「知らない」が77.8%で、「知っている」(22.2%)を上回っている。

図表Ⅳ－139 地域の中で困りごとを相談できる先を知っている割合



① 地区別

- ・地区別では、「知っている」の割合は、東陽地区 (25.5%)、亀戸地区 (25.5%)、南砂地区 (23.9%)、豊洲地区 (22.7%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－140 地域の中で困りごとを相談できる先を知っている割合 (地区別)

(%)			
	n	知っている	知らない
全体	1,217	22.2	77.8
白河	125	20.0	80.0
小松橋	78	16.7	83.3
富岡	92	19.6	80.4
東陽	94	25.5	74.5
豊洲	277	22.7	77.3
亀戸	137	25.5	74.5
大島	136	22.1	77.9
砂町	171	20.5	79.5
南砂	92	23.9	76.1
居住地区不詳	15	33.3	66.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「知っている」の割合は、女性（22.9%）の方が男性（20.9%）より2.0ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「知っている」の割合は、男性では30～34歳、60歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－142 地域の中で困りごとを相談できる先を知っている割合（性年齢別）

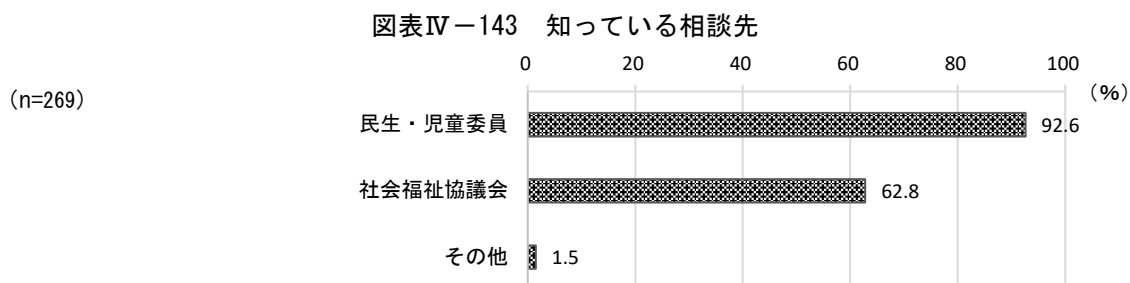
<男性>		（%）	
	n	知っている	知らない
全体	488	20.9	79.1
18～19歳	8	12.5	87.5
20～24歳	13	15.4	84.6
25～29歳	22	9.1	90.9
30～34歳	23	21.7	78.3
35～39歳	33	6.1	93.9
40～44歳	47	8.5	91.5
45～49歳	49	16.3	83.7
50～54歳	46	17.4	82.6
55～59歳	53	13.2	86.8
60～64歳	46	26.1	73.9
65～69歳	35	28.6	71.4
70～74歳	38	21.1	78.9
75歳以上	74	43.2	56.8
年齢不詳	1	100.0	0.0

		（%）	
	n	知っている	知らない
全体	678	22.9	77.1
18～19歳	4	25.0	75.0
20～24歳	18	5.6	94.4
25～29歳	45	17.8	82.2
30～34歳	49	4.1	95.9
35～39歳	45	11.1	88.9
40～44歳	63	14.3	85.7
45～49歳	76	17.1	82.9
50～54歳	83	20.5	79.5
55～59歳	64	17.2	82.8
60～64歳	44	31.8	68.2
65～69歳	47	40.4	59.6
70～74歳	46	45.7	54.3
75歳以上	93	36.6	63.4
年齢不詳	1	0.0	100.0

問46－1 問46で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。知っている相談先を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

<全体>

・「民生・児童委員」が92.6%、「社会福祉協議会」（62.8%）となっている。



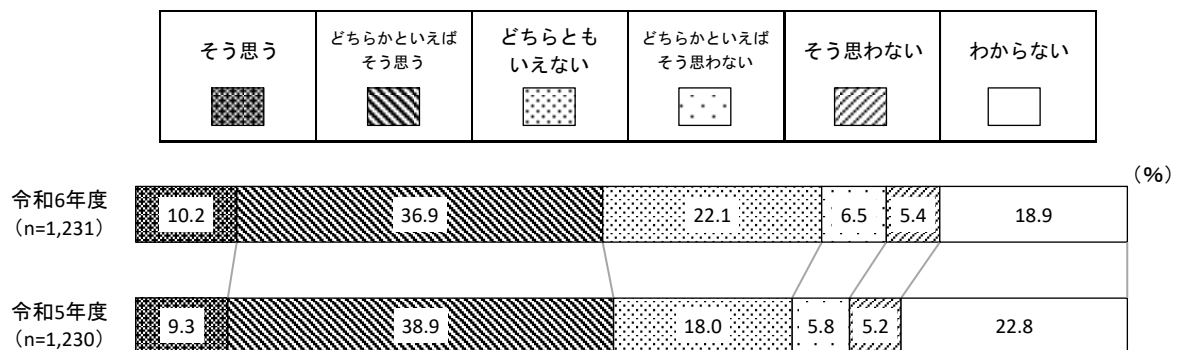
【計画的なまちづくりの推進】

問47 江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

＜全体／経年比較＞

- ・「どちらかといえばそう思う」が36.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(22.1%)となっている。
- ・「そう思う」(10.2%)と「どちらかといえばそう思う」(36.9%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は47.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「どちらともいえない」が4.1ポイント増加している。

図表Ⅳ－144 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、豊洲地区(57.0%)、富岡地区(53.8%)、白河地区(50.4%)、南砂地区(47.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－145 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価(地区別)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い	わからない
全体	1,231	10.2	36.9	22.1	6.5	5.4	18.9
白河	125	9.6	40.8	24.8	4.8	4.8	15.2
小松橋	77	9.1	35.1	24.7	2.6	6.5	22.1
富岡	93	10.8	43.0	21.5	6.5	2.2	16.1
東陽	96	11.5	33.3	27.1	7.3	1.0	19.8
豊洲	279	15.4	41.6	16.5	4.7	5.4	16.5
亀戸	138	7.2	35.5	18.1	8.7	5.8	24.6
大島	139	7.2	29.5	28.1	6.5	7.2	21.6
砂町	175	8.6	33.1	22.9	9.1	8.0	18.3
南砂	95	6.3	41.1	21.1	8.4	5.3	17.9
居住地区不詳	14	14.3	7.1	42.9	7.1	0.0	28.6

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（49.4％）の方が女性（46.1％）より3.3ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～39歳、65～69歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、25～34歳、40～44歳、55～69歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－146 地域の特色を活かしたまちづくりへの評価（性年齢別）

＜男性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	498	11.8	37.6	20.9	7.6	5.6	16.5
18～19歳	8	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0
20～24歳	13	38.5	15.4	15.4	15.4	7.7	7.7
25～29歳	22	9.1	59.1	13.6	0.0	4.5	13.6
30～34歳	23	13.0	39.1	30.4	0.0	0.0	17.4
35～39歳	33	15.2	42.4	21.2	3.0	3.0	15.2
40～44歳	47	17.0	29.8	17.0	14.9	6.4	14.9
45～49歳	49	10.2	38.8	12.2	12.2	12.2	14.3
50～54歳	47	8.5	40.4	14.9	10.6	8.5	17.0
55～59歳	53	13.2	35.8	24.5	3.8	5.7	17.0
60～64歳	46	4.3	30.4	34.8	8.7	4.3	17.4
65～69歳	37	13.5	45.9	24.3	5.4	0.0	10.8
70～74歳	41	4.9	31.7	22.0	14.6	7.3	19.5
75歳以上	78	11.5	35.9	20.5	3.8	5.1	23.1
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

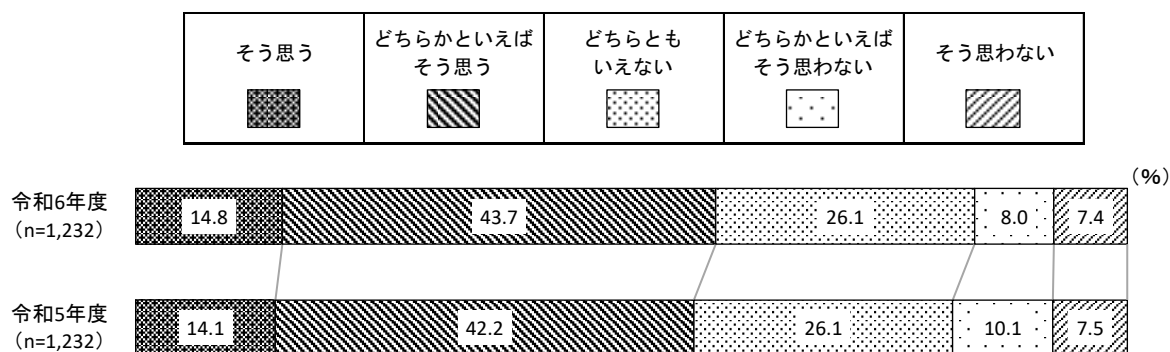
＜女性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	683	8.9	37.2	22.5	5.9	5.3	20.2
18～19歳	4	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	25.0
20～24歳	18	11.1	33.3	22.2	5.6	0.0	27.8
25～29歳	45	6.7	42.2	20.0	2.2	2.2	26.7
30～34歳	49	14.3	40.8	16.3	4.1	2.0	22.4
35～39歳	44	2.3	43.2	20.5	6.8	11.4	15.9
40～44歳	64	14.1	40.6	18.8	3.1	4.7	18.8
45～49歳	79	6.3	35.4	25.3	8.9	6.3	17.7
50～54歳	84	7.1	36.9	16.7	6.0	7.1	26.2
55～59歳	64	7.8	46.9	26.6	4.7	4.7	9.4
60～64歳	45	11.1	35.6	28.9	13.3	2.2	8.9
65～69歳	48	10.4	39.6	25.0	4.2	4.2	16.7
70～74歳	47	14.9	25.5	27.7	0.0	6.4	25.5
75歳以上	91	6.6	28.6	24.2	7.7	6.6	26.4
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問48 あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が43.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(26.1%)となっている。
- ・「そう思う」(14.8%)と「どちらかといえばそう思う」(43.7%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は58.5%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－147 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(69.8%)、豊洲地区(68.2%)、富岡地区(66.7%)、東陽地区(62.5%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－148 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い
全体	1,232	14.8	43.7	26.1	8.0	7.4
白河	126	12.7	57.1	23.0	3.2	4.0
小松橋	77	9.1	46.8	26.0	9.1	9.1
富岡	93	19.4	47.3	20.4	7.5	5.4
東陽	96	19.8	42.7	25.0	3.1	9.4
豊洲	280	21.4	46.8	22.5	3.6	5.7
亀戸	138	11.6	31.9	34.8	12.3	9.4
大島	139	10.8	41.7	25.9	13.7	7.9
砂町	174	13.2	39.7	28.7	9.2	9.2
南砂	95	7.4	41.1	28.4	15.8	7.4
居住地区不詳	14	7.1	28.6	42.9	7.1	14.3

(%)

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、女性（61.2%）の方が男性（55.5%）より5.7ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、25～39歳、50～54歳で男性全体を上回っている。女性では18～49歳、55～59歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－149 江東区のまち並みが美しいと思う区民の割合（性年齢別）

＜男性＞		（％）				
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	497	15.9	39.6	26.8	10.3	7.4
18～19歳	8	50.0	25.0	12.5	0.0	12.5
20～24歳	13	23.1	30.8	30.8	15.4	0.0
25～29歳	22	27.3	63.6	9.1	0.0	0.0
30～34歳	23	26.1	43.5	13.0	8.7	8.7
35～39歳	33	15.2	66.7	12.1	6.1	0.0
40～44歳	47	21.3	34.0	25.5	12.8	6.4
45～49歳	49	18.4	36.7	34.7	4.1	6.1
50～54歳	47	17.0	44.7	19.1	12.8	6.4
55～59歳	53	11.3	35.8	32.1	15.1	5.7
60～64歳	46	4.3	39.1	34.8	10.9	10.9
65～69歳	37	10.8	37.8	27.0	16.2	8.1
70～74歳	41	17.1	24.4	26.8	19.5	12.2
75歳以上	77	11.7	37.7	33.8	5.2	11.7
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

＜女性＞		（％）				
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	685	13.9	47.3	25.3	6.7	6.9
18～19歳	4	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	11.1	55.6	22.2	11.1	0.0
25～29歳	45	13.3	62.2	13.3	8.9	2.2
30～34歳	49	22.4	46.9	16.3	4.1	10.2
35～39歳	44	18.2	52.3	15.9	4.5	9.1
40～44歳	64	14.1	54.7	23.4	7.8	0.0
45～49歳	79	7.6	57.0	26.6	3.8	5.1
50～54歳	84	13.1	45.2	25.0	4.8	11.9
55～59歳	64	14.1	51.6	21.9	7.8	4.7
60～64歳	45	13.3	37.8	28.9	11.1	8.9
65～69歳	48	8.3	50.0	29.2	6.3	6.3
70～74歳	47	21.3	27.7	42.6	0.0	8.5
75歳以上	93	14.0	33.3	31.2	11.8	9.7
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問49 江東区では、ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

【ユニバーサルデザインの例】

バリアフリースイレ、駅のホームドア、スロープ化（段差解消）、視覚障害者誘導用ブロック（通称・点字ブロック）、ノンステップバス

<全体>

- ・「どちらかといえばそう思う」が37.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(34.1%)、「どちらかといえばそう思わない」(11.1%)となっている。
- ・「そう思う」(9.0%)と「どちらかといえばそう思う」(37.1%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は46.1%となっている。

図表Ⅳ-150 「ユニバーサルデザイン」の取り組みの進捗状況



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う (計)』の割合は、豊洲地区 (55.9%)、砂町地区 (50.3%)、富岡地区 (47.4%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ-151 「ユニバーサルデザイン」の取り組みの進捗状況 (地区別)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い
全体	1,228	9.0	37.1	34.1	11.1	8.8
白河	126	6.3	36.5	40.5	8.7	7.9
小松橋	77	6.5	29.9	33.8	14.3	15.6
富岡	93	6.5	40.9	33.3	11.8	7.5
東陽	96	9.4	33.3	35.4	11.5	10.4
豊洲	279	9.7	46.2	29.7	6.5	7.9
亀戸	137	9.5	29.9	38.7	12.4	9.5
大島	138	10.1	28.3	42.0	10.1	9.4
砂町	173	11.6	38.7	31.2	10.4	8.1
南砂	95	5.3	35.8	27.4	24.2	7.4
居住地区不詳	14	21.4	42.9	21.4	14.3	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～39歳、50～54歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、30～34歳、55～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－152 「ユニバーサルデザイン」の取り組みの進捗状況（性年齢別）

＜男性＞		（％）				
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう 思わない	そう思わ ない
全体	496	9.7	35.9	33.9	12.7	7.9
18～19歳	8	62.5	12.5	25.0	0.0	0.0
20～24歳	13	30.8	38.5	15.4	15.4	0.0
25～29歳	22	13.6	45.5	31.8	4.5	4.5
30～34歳	23	13.0	43.5	21.7	8.7	13.0
35～39歳	33	9.1	54.5	27.3	9.1	0.0
40～44歳	47	4.3	27.7	38.3	23.4	6.4
45～49歳	49	6.1	32.7	36.7	20.4	4.1
50～54歳	47	2.1	48.9	27.7	8.5	12.8
55～59歳	53	3.8	32.1	37.7	13.2	13.2
60～64歳	46	8.7	32.6	30.4	15.2	13.0
65～69歳	37	16.2	24.3	37.8	10.8	10.8
70～74歳	40	7.5	30.0	45.0	10.0	7.5
75歳以上	77	11.7	36.4	36.4	10.4	5.2
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

＜女性＞		（％）				
	n	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらとも いえない	どちらかといえ ばそう 思わない	そう思わ ない
全体	683	7.8	38.2	34.4	10.1	9.5
18～19歳	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	5.6	33.3	33.3	11.1	16.7
25～29歳	45	0.0	35.6	42.2	17.8	4.4
30～34歳	49	14.3	36.7	36.7	4.1	8.2
35～39歳	44	6.8	38.6	34.1	4.5	15.9
40～44歳	64	3.1	34.4	43.8	6.3	12.5
45～49歳	79	8.9	36.7	36.7	11.4	6.3
50～54歳	84	8.3	32.1	35.7	13.1	10.7
55～59歳	64	6.3	42.2	29.7	14.1	7.8
60～64歳	45	4.4	46.7	28.9	11.1	8.9
65～69歳	48	4.2	54.2	27.1	4.2	10.4
70～74歳	47	8.5	48.9	27.7	8.5	6.4
75歳以上	91	13.2	29.7	34.1	12.1	11.0
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

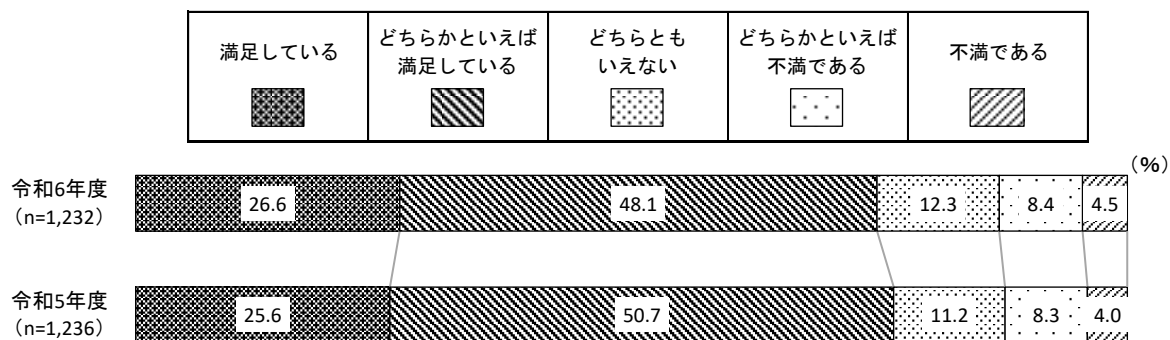
【良好な住宅の形成と住環境の向上】

問50 あなたは、今お住まいの住環境について満足していますか。あてはまるものを選び
○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「どちらかといえば満足している」が48.1%で最も高く、次いで「満足している」(26.6%)となっている。
- ・これらを合わせた『満足している(計)』の割合は74.7%となっている。

図表Ⅳ－153 住環境への満足度



① 地区別

- ・地区別では、『満足している(計)』の割合は、小松橋地区(83.2%)、東陽地区(80.2%)、豊洲地区(78.9%)、白河地区(76.2%)、亀戸地区(75.3%)、富岡地区(75.3%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－154 住環境への満足度(地区別)

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
全体	1,232	26.6	48.1	12.3	8.4	4.5
白河	126	27.0	49.2	16.7	6.3	0.8
小松橋	77	37.7	45.5	9.1	5.2	2.6
富岡	93	25.8	49.5	10.8	9.7	4.3
東陽	96	32.3	47.9	8.3	6.3	5.2
豊洲	280	32.5	46.4	9.6	6.8	4.6
亀戸	138	21.0	54.3	15.2	5.8	3.6
大島	139	22.3	49.6	13.7	8.6	5.8
砂町	174	21.3	46.0	16.1	9.8	6.9
南砂	95	21.1	44.2	8.4	20.0	6.3
居住地区不詳	14	14.3	57.1	21.4	7.1	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『満足している（計）』の割合は、男性（76.1%）の方が女性（74.2%）より1.9ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『満足している（計）』の割合は、男性では18～29歳、35～49歳、55～64歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、30～39歳、55～59歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－155 住環境への満足度（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
全体	497	26.8	49.3	12.7	6.8	4.4
18～19歳	8	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0
20～24歳	13	53.8	38.5	7.7	0.0	0.0
25～29歳	22	36.4	59.1	4.5	0.0	0.0
30～34歳	23	13.0	56.5	13.0	8.7	8.7
35～39歳	33	42.4	48.5	0.0	6.1	3.0
40～44歳	47	19.1	57.4	10.6	8.5	4.3
45～49歳	49	26.5	57.1	4.1	8.2	4.1
50～54歳	47	36.2	38.3	17.0	6.4	2.1
55～59歳	53	22.6	56.6	15.1	1.9	3.8
60～64歳	46	19.6	58.7	15.2	4.3	2.2
65～69歳	37	21.6	43.2	16.2	13.5	5.4
70～74歳	40	20.0	42.5	15.0	15.0	7.5
75歳以上	78	26.9	38.5	20.5	6.4	7.7
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である
全体	685	26.0	48.2	11.2	9.6	5.0
18～19歳	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	27.8	44.4	0.0	16.7	11.1
25～29歳	45	24.4	48.9	17.8	6.7	2.2
30～34歳	49	36.7	40.8	10.2	6.1	6.1
35～39歳	44	22.7	59.1	6.8	6.8	4.5
40～44歳	64	25.0	48.4	9.4	10.9	6.3
45～49歳	79	20.3	48.1	13.9	16.5	1.3
50～54歳	84	25.0	45.2	11.9	10.7	7.1
55～59歳	64	29.7	48.4	7.8	9.4	4.7
60～64歳	45	11.1	60.0	6.7	20.0	2.2
65～69歳	48	25.0	39.6	16.7	8.3	10.4
70～74歳	47	36.2	46.8	12.8	2.1	2.1
75歳以上	93	28.0	49.5	11.8	5.4	5.4
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

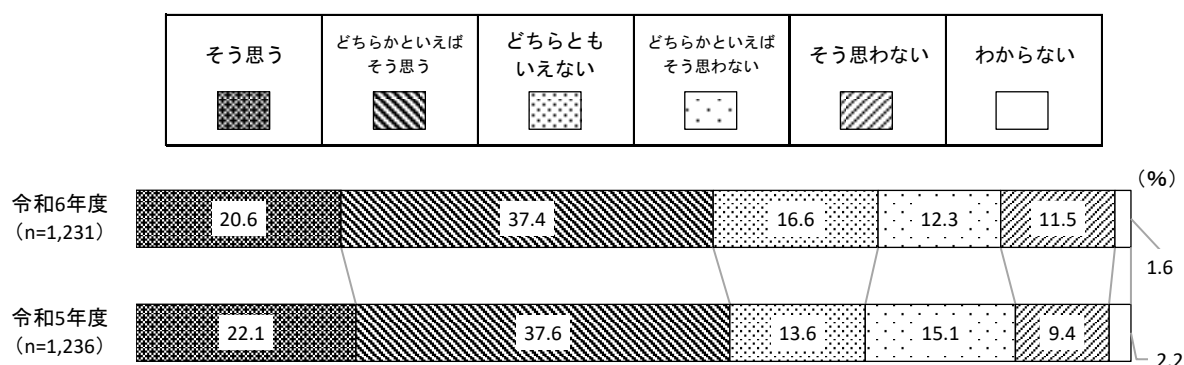
【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問51 あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が37.4%で最も高く、次いで「そう思う」(20.6%)となっている。
- ・これらを合わせた『そう思う(計)』の割合は58.0%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「どちらともいえない」が3.0ポイント増加、「どちらかといえばそう思わない」が2.8ポイント減少している。

図表Ⅳ－156 公共交通による移動の利便性



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、小松橋地区(70.2%)、白河地区(69.0%)、富岡地区(68.8%)、東陽地区(68.7%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－157 公共交通による移動の利便性(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,231	20.6	37.4	16.6	12.3	11.5	1.6
白河	126	21.4	47.6	18.3	7.9	4.0	0.8
小松橋	77	24.7	45.5	9.1	10.4	9.1	1.3
富岡	93	30.1	38.7	14.0	7.5	5.4	4.3
東陽	96	22.9	45.8	8.3	10.4	11.5	1.0
豊洲	280	21.4	33.2	14.3	16.4	13.2	1.4
亀戸	138	17.4	30.4	18.8	16.7	14.5	2.2
大島	137	18.2	38.7	19.7	10.2	13.1	0.0
砂町	175	18.9	31.4	21.1	12.6	12.6	3.4
南砂	95	13.7	40.0	16.8	12.6	16.8	0.0
居住地区不詳	14	14.3	35.7	50.0	0.0	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は男性（59.5%）の方が女性（56.5%）より3ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、35～39歳、50～54歳、60～64歳、70歳以上で男性全体を上回っている。女性では20～29歳、35～39歳、45～54歳、70歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－158 公共交通による移動の利便性（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	497	20.1	39.4	16.1	11.5	11.5	1.4
18～19歳	8	50.0	12.5	0.0	0.0	37.5	0.0
20～24歳	13	23.1	23.1	7.7	38.5	7.7	0.0
25～29歳	22	13.6	40.9	9.1	13.6	22.7	0.0
30～34歳	23	21.7	30.4	13.0	13.0	21.7	0.0
35～39歳	33	24.2	39.4	6.1	18.2	12.1	0.0
40～44歳	47	23.4	34.0	19.1	14.9	4.3	4.3
45～49歳	49	12.2	42.9	14.3	8.2	22.4	0.0
50～54歳	47	21.3	42.6	10.6	10.6	12.8	2.1
55～59歳	53	20.8	30.2	26.4	15.1	7.5	0.0
60～64歳	46	15.2	47.8	17.4	10.9	8.7	0.0
65～69歳	37	16.2	32.4	24.3	8.1	16.2	2.7
70～74歳	40	15.0	55.0	15.0	7.5	7.5	0.0
75歳以上	78	25.6	42.3	17.9	6.4	3.8	3.8
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

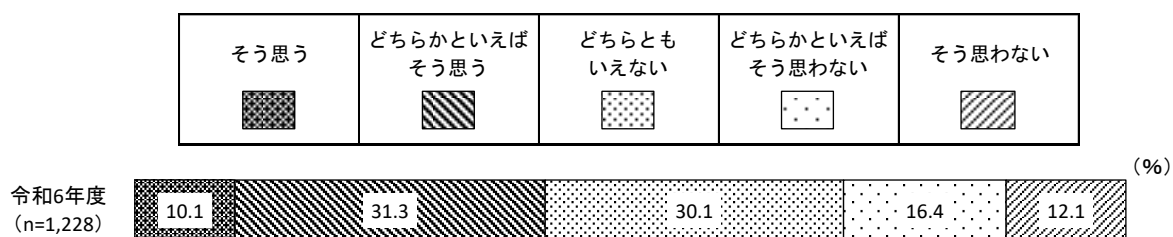
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	685	20.0	36.5	16.2	13.7	11.8	1.8
18～19歳	4	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0
20～24歳	18	11.1	55.6	0.0	27.8	5.6	0.0
25～29歳	45	24.4	35.6	15.6	15.6	6.7	2.2
30～34歳	49	24.5	22.4	16.3	22.4	10.2	4.1
35～39歳	44	18.2	40.9	18.2	11.4	11.4	0.0
40～44歳	64	18.8	32.8	15.6	14.1	17.2	1.6
45～49歳	79	17.7	41.8	19.0	10.1	11.4	0.0
50～54歳	84	19.0	38.1	16.7	13.1	13.1	0.0
55～59歳	64	18.8	28.1	15.6	21.9	14.1	1.6
60～64歳	45	13.3	35.6	17.8	15.6	15.6	2.2
65～69歳	48	16.7	35.4	18.8	10.4	14.6	4.2
70～74歳	47	19.1	53.2	14.9	4.3	6.4	2.1
75歳以上	93	28.0	33.3	16.1	10.8	8.6	3.2
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問52 江東区では、交通ルールが定着していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「どちらかといえばそう思う」が31.3%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(30.1%)となっている。
- ・「そう思う」(10.1%)と「どちらかといえばそう思う」(31.3%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は41.4%となっている。

図表Ⅳ－159 交通ルール定着の認識



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(53.2%)、豊洲地区(46.4%)、小松橋地区(45.5%)、富岡地区(43.0%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－160 交通ルール定着の認識(地区別)

	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い
全体	1,228	10.1	31.3	30.1	16.4	12.1
白河	124	10.5	42.7	28.2	10.5	8.1
小松橋	77	10.4	35.1	28.6	10.4	15.6
富岡	93	14.0	29.0	28.0	19.4	9.7
東陽	95	7.4	33.7	32.6	11.6	14.7
豊洲	280	9.6	36.8	29.3	14.6	9.6
亀戸	138	10.1	26.8	31.9	13.8	17.4
大島	138	12.3	24.6	27.5	24.6	10.9
砂町	174	9.2	25.3	32.8	18.4	14.4
南砂	95	8.4	27.4	29.5	24.2	10.5
居住地区不詳	14	7.1	7.1	50.0	14.3	21.4

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（44.9%）の方が女性（39.5%）より5.4ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～24歳、35～49歳、75歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、25～34歳、50～54歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－161 交通ルール定着の認識（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	498	11.0	33.9	27.5	15.7	11.8
18～19歳	8	37.5	25.0	12.5	25.0	0.0
20～24歳	13	46.2	30.8	15.4	7.7	0.0
25～29歳	22	4.5	31.8	27.3	22.7	13.6
30～34歳	23	8.7	34.8	26.1	4.3	26.1
35～39歳	33	12.1	45.5	18.2	15.2	9.1
40～44歳	47	12.8	44.7	21.3	17.0	4.3
45～49歳	49	6.1	40.8	28.6	18.4	6.1
50～54歳	47	6.4	34.0	36.2	10.6	12.8
55～59歳	53	5.7	34.0	32.1	20.8	7.5
60～64歳	46	10.9	23.9	30.4	17.4	17.4
65～69歳	37	13.5	27.0	35.1	10.8	13.5
70～74歳	41	9.8	24.4	29.3	17.1	19.5
75歳以上	78	12.8	34.6	23.1	15.4	14.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	681	9.3	30.2	32.0	16.7	11.7
18～19歳	4	50.0	0.0	25.0	25.0	0.0
20～24歳	18	11.1	22.2	16.7	33.3	16.7
25～29歳	45	6.7	46.7	26.7	17.8	2.2
30～34歳	48	20.8	31.3	20.8	12.5	14.6
35～39歳	44	9.1	22.7	34.1	20.5	13.6
40～44歳	64	4.7	31.3	34.4	21.9	7.8
45～49歳	79	7.6	31.6	41.8	12.7	6.3
50～54歳	83	9.6	41.0	27.7	15.7	6.0
55～59歳	64	4.7	23.4	37.5	20.3	14.1
60～64歳	45	8.9	28.9	24.4	20.0	17.8
65～69歳	48	8.3	20.8	29.2	16.7	25.0
70～74歳	47	12.8	25.5	42.6	10.6	8.5
75歳以上	91	8.8	29.7	31.9	13.2	16.5
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

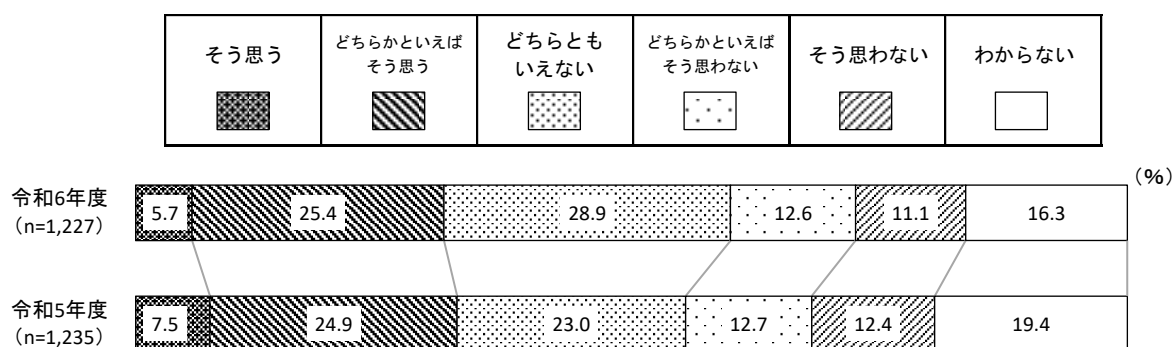
【災害に強い都市の形成】

問53 江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらともいえない」が28.9%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」(25.4%)となっている。
- ・「そう思う」(5.7%)と「どちらかといえばそう思う」(25.4%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は31.1%となっている。
- ・前回調査と比較すると、「どちらともいえない」が5.9ポイント増加、「わからない」が3.1ポイント減少している。

図表Ⅳ－162 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(38.9%)、豊洲地区(36.1%)、富岡地区(34.8%)、東陽地区(32.3%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－163 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合(地区別)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	1,227	5.7	25.4	28.9	12.6	11.1	16.3
白河	126	4.8	34.1	27.8	7.1	5.6	20.6
小松橋	77	1.3	23.4	31.2	13.0	15.6	15.6
富岡	92	3.3	31.5	25.0	15.2	7.6	17.4
東陽	96	8.3	24.0	29.2	11.5	8.3	18.8
豊洲	277	6.9	29.2	30.0	7.6	8.7	17.7
亀戸	138	4.3	23.9	27.5	13.0	16.7	14.5
大島	139	5.8	16.5	30.2	18.0	14.4	15.1
砂町	175	7.4	21.1	30.9	15.4	10.9	14.3
南砂	93	4.3	23.7	25.8	17.2	15.1	14.0
居住地区不詳	14	14.3	21.4	28.6	21.4	14.3	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（32.2%）が女性（30.1%）より2.2ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～19歳、30～39歳、50～54歳、65歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～24歳、30～34歳、45～49歳、60歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－164 災害に強いまちづくりが進んでいると思う区民の割合（性年齢別）

＜男性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	496	7.1	25.2	26.8	15.9	11.5	13.5
18～19歳	8	12.5	25.0	0.0	37.5	12.5	12.5
20～24歳	13	0.0	23.1	23.1	30.8	15.4	7.7
25～29歳	21	14.3	14.3	28.6	23.8	0.0	19.0
30～34歳	23	13.0	21.7	17.4	13.0	13.0	21.7
35～39歳	33	12.1	24.2	21.2	15.2	3.0	24.2
40～44歳	47	4.3	23.4	23.4	19.1	12.8	17.0
45～49歳	49	8.2	18.4	22.4	24.5	10.2	16.3
50～54歳	47	4.3	31.9	27.7	14.9	10.6	10.6
55～59歳	53	3.8	26.4	37.7	7.5	22.6	1.9
60～64歳	46	0.0	17.4	32.6	19.6	15.2	15.2
65～69歳	37	5.4	35.1	27.0	13.5	8.1	10.8
70～74歳	41	9.8	36.6	26.8	7.3	12.2	7.3
75歳以上	77	10.4	24.7	28.6	11.7	9.1	15.6
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

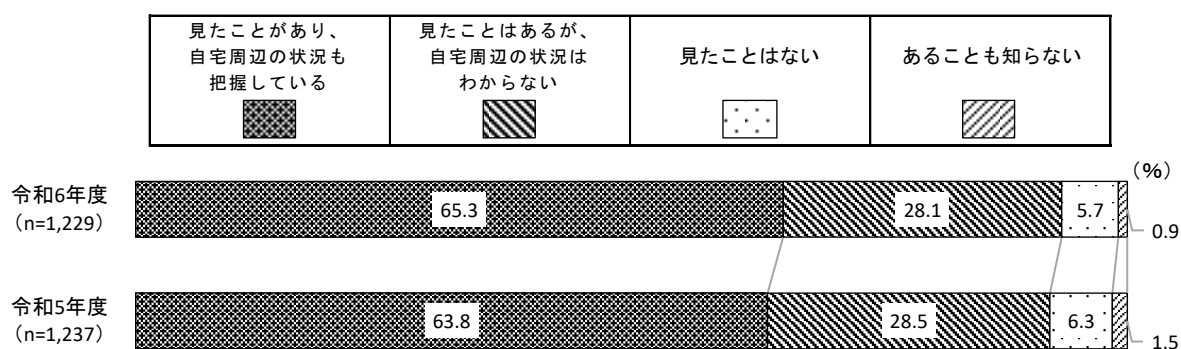
＜女性＞		（％）					
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
全体	682	4.7	25.4	30.6	10.4	10.6	18.3
18～19歳	4	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	5.6	27.8	5.6	33.3	16.7	11.1
25～29歳	45	4.4	13.3	28.9	17.8	11.1	24.4
30～34歳	49	6.1	24.5	28.6	16.3	6.1	18.4
35～39歳	44	6.8	20.5	27.3	13.6	11.4	20.5
40～44歳	64	1.6	26.6	31.3	10.9	14.1	15.6
45～49歳	79	5.1	27.8	27.8	8.9	7.6	22.8
50～54歳	84	6.0	19.0	34.5	6.0	11.9	22.6
55～59歳	64	1.6	25.0	37.5	6.3	10.9	18.8
60～64歳	45	4.4	26.7	33.3	6.7	11.1	17.8
65～69歳	48	6.3	29.2	33.3	10.4	12.5	8.3
70～74歳	46	10.9	28.3	34.8	10.9	10.9	4.3
75歳以上	91	2.2	31.9	27.5	6.6	8.8	23.1
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問54 あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「見たことがあります、自宅周辺の状況も把握している」が65.3%で最も高く、次いで「見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない」(28.1%)となっている。
- ・前回調査と比較すると、「見たことがあります、自宅周辺の状況も把握している」が1.5ポイント増加している。

図表Ⅳ－165 江東区のハザードマップの認知度



① 地区別

- ・地区別では、「見たことがあります、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、豊洲地区 (72.7%)、亀戸地区 (68.6%)、大島地区 (66.2%) で全体を上回っている。

図表Ⅳ－166 江東区のハザードマップの認知度 (地区別)

	n	見たことがあります、自宅周辺の状況も把握している	見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない	見たことはない	あることも知らない
全体	1,229	65.3	28.1	5.7	0.9
白河	126	63.5	32.5	3.2	0.8
小松橋	77	58.4	37.7	3.9	0.0
富岡	93	54.8	37.6	5.4	2.2
東陽	96	61.5	31.3	6.3	1.0
豊洲	278	72.7	19.4	6.8	1.1
亀戸	137	68.6	27.0	3.6	0.7
大島	139	66.2	23.0	10.8	0.0
砂町	175	65.1	28.0	5.7	1.1
南砂	94	59.6	37.2	2.1	1.1
居住地区不詳	14	71.4	21.4	7.1	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、男性（67.9％）の方が女性（63.3％）より4.6ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、「見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している」の割合は、男性では25～29歳、35～39歳、45～49歳、55～59歳、70～74歳で男性全体を上回っている。女性では35～64歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－167 江東区のハザードマップの認知度（性年齢別）

＜男性＞		（％）			
	n	見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している	見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない	見たことはない	あることも知らない
全体	498	67.9	25.1	6.6	0.4
18～19歳	8	50.0	37.5	12.5	0.0
20～24歳	13	61.5	23.1	15.4	0.0
25～29歳	22	81.8	18.2	0.0	0.0
30～34歳	23	65.2	21.7	8.7	4.3
35～39歳	33	75.8	18.2	6.1	0.0
40～44歳	47	61.7	29.8	8.5	0.0
45～49歳	49	77.6	20.4	0.0	2.0
50～54歳	47	66.0	27.7	6.4	0.0
55～59歳	53	77.4	18.9	3.8	0.0
60～64歳	46	65.2	30.4	4.3	0.0
65～69歳	37	67.6	24.3	8.1	0.0
70～74歳	41	78.0	19.5	2.4	0.0
75歳以上	78	52.6	33.3	14.1	0.0
年齢不詳	1	100.0	0.0	0.0	0.0

＜女性＞		（％）			
	n	見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している	見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない	見たことはない	あることも知らない
全体	681	63.3	30.7	4.8	1.2
18～19歳	4	50.0	50.0	0.0	0.0
20～24歳	18	33.3	22.2	44.4	0.0
25～29歳	45	53.3	42.2	4.4	0.0
30～34歳	49	59.2	34.7	6.1	0.0
35～39歳	44	63.6	31.8	4.5	0.0
40～44歳	64	75.0	20.3	4.7	0.0
45～49歳	79	67.1	25.3	5.1	2.5
50～54歳	84	73.8	23.8	2.4	0.0
55～59歳	64	68.8	26.6	1.6	3.1
60～64歳	44	75.0	20.5	2.3	2.3
65～69歳	48	62.5	37.5	0.0	0.0
70～74歳	47	61.7	36.2	2.1	0.0
75歳以上	90	47.8	42.2	6.7	3.3
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0

【地域防災力の強化】

問55 あなたは、防災訓練などの防災活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体>

- ・「参加したことがない」が51.1%で最も高く、次いで「これまでに1度以上参加した」(25.0%)となっている。

図表Ⅳ－168 防災訓練などの防災活動への参加状況



① 地区別

- ・地区別では、「過去1年以内に参加した」の割合は、豊洲地区(20.4%)、小松橋地区(18.2%)、亀戸地区(14.6%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－169 防災訓練などの防災活動への参加状況(地区別)

	n	過去1年以内に 参加した	過去3年以内に 参加した	これまでに 1度以上参加した	参加したことがない
全体	1,230	14.5	9.4	25.0	51.1
白河	126	12.7	4.0	24.6	58.7
小松橋	77	18.2	5.2	23.4	53.2
富岡	93	12.9	7.5	17.2	62.4
東陽	95	10.5	10.5	35.8	43.2
豊洲	280	20.4	11.4	26.4	41.8
亀戸	137	14.6	10.2	24.1	51.1
大島	139	12.9	5.8	23.0	58.3
砂町	174	12.1	13.8	21.8	52.3
南砂	95	10.5	10.5	27.4	51.6
居住地区不詳	14	0.0	14.3	42.9	42.9

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「過去1年以内に参加した」の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、「過去1年以内に参加した」の割合は、男性では18～24歳、50～74歳で男性全体を上回っている。女性では35～59歳、65～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－170 防災訓練などの防災活動への参加状況（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	過去1年以内に参加した	過去3年以内に参加した	これまでに1度以上参加した	参加したことがない
全体	498	14.3	10.2	23.1	52.4
18～19歳	8	50.0	12.5	12.5	25.0
20～24歳	13	23.1	7.7	38.5	30.8
25～29歳	22	9.1	9.1	18.2	63.6
30～34歳	23	4.3	0.0	8.7	87.0
35～39歳	33	9.1	12.1	30.3	48.5
40～44歳	47	8.5	6.4	17.0	68.1
45～49歳	49	14.3	10.2	18.4	57.1
50～54歳	47	17.0	12.8	27.7	42.6
55～59歳	53	18.9	7.5	30.2	43.4
60～64歳	46	15.2	15.2	10.9	58.7
65～69歳	37	16.2	8.1	24.3	51.4
70～74歳	41	14.6	9.8	22.0	53.7
75歳以上	78	12.8	14.1	30.8	42.3
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	100.0

<女性>

(%)

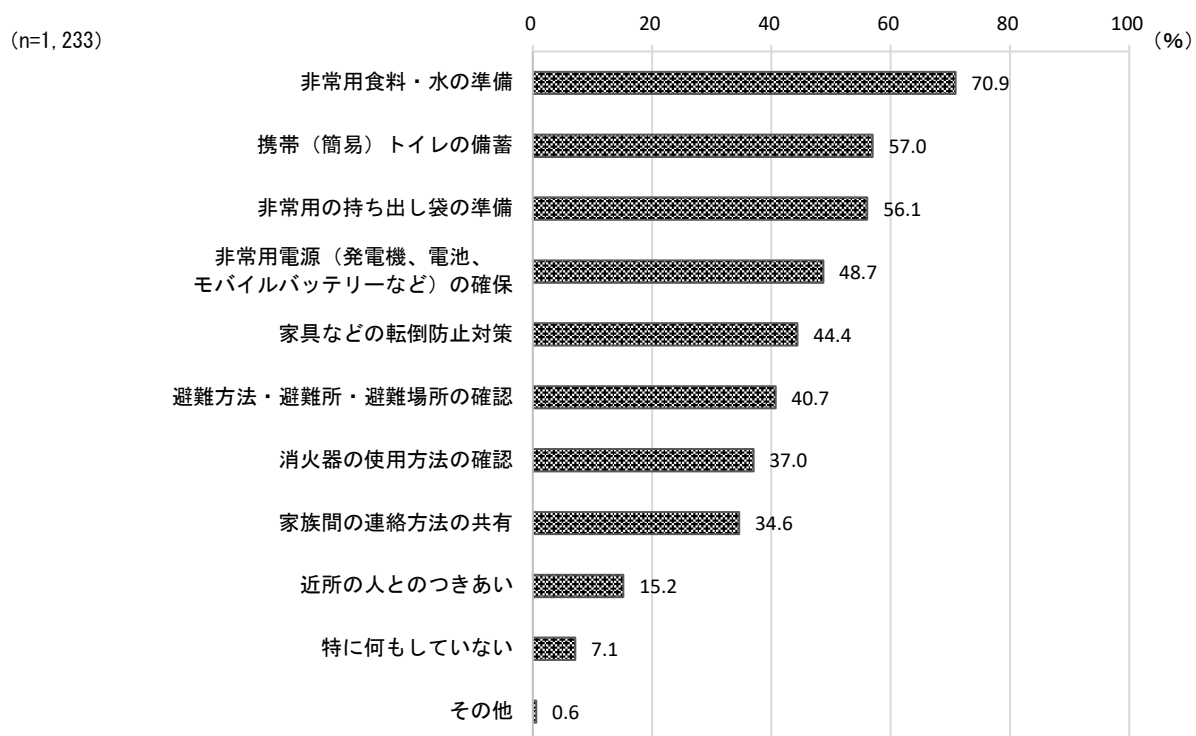
	n	過去1年以内に参加した	過去3年以内に参加した	これまでに1度以上参加した	参加したことがない
全体	682	15.0	8.7	25.8	50.6
18～19歳	4	0.0	50.0	25.0	25.0
20～24歳	18	5.6	16.7	22.2	55.6
25～29歳	45	8.9	4.4	22.2	64.4
30～34歳	49	8.2	4.1	16.3	71.4
35～39歳	44	15.9	9.1	15.9	59.1
40～44歳	64	18.8	6.3	17.2	57.8
45～49歳	79	16.5	13.9	17.7	51.9
50～54歳	84	19.0	9.5	28.6	42.9
55～59歳	64	15.6	6.3	43.8	34.4
60～64歳	44	9.1	2.3	25.0	63.6
65～69歳	48	20.8	10.4	22.9	45.8
70～74歳	47	17.0	10.6	34.0	38.3
75歳以上	91	14.3	8.8	33.0	44.0
年齢不詳	1	0.0	0.0	100.0	0.0

問56 あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

<全体>

- ・「非常用食料・水の準備」が70.9%で最も高く、次いで「携帯（簡易）トイレの備蓄」（57.0%）、「非常用の持ち出し袋の準備」（56.1%）となっている。

図表Ⅳ－171 自宅における防災対策の実施状況



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で「非常用食料・水の準備」が1位となっている。2位は、白河地区、東陽地区、豊洲地区、亀戸地区、大島地区、砂町地区では「携帯（簡易）トイレの備蓄」、富岡地区、砂町地区、南砂地区では「非常用の持ち出し袋の準備」、小松橋地区では「非常用電源（発電機、電池、モバイルバッテリーなど）の確保」となっている。

図表Ⅳ－172 自宅における防災対策の実施状況（地区別）

(%)

	n	家具などの転倒防止対策	消火器の使用方法の確認	非常用食料・水の準備	携帯（簡易）トイレの備蓄	非常用電源（発電機、電池、モバイルバッテリーなど）の確保	非常用の持ち出し袋の準備	避難方法・避難所・避難場所の確認	家族間の連絡方法の共有	近所の人とのつきあい	その他	特に何もない
全体	1,233	44.4	37.0	70.9	57.0	48.7	56.1	40.7	34.6	15.2	0.6	7.1
白河	126	45.2	37.3	65.9	57.1	54.0	57.1	45.2	33.3	18.3	1.6	8.7
小松橋	77	50.6	32.5	76.6	55.8	59.7	66.2	41.6	41.6	13.0	0.0	3.9
富岡	93	44.1	28.0	64.5	49.5	38.7	52.7	37.6	36.6	15.1	2.2	8.6
東陽	96	46.9	30.2	68.8	52.1	41.7	50.0	41.7	32.3	14.6	0.0	6.3
豊洲	280	45.4	46.8	81.8	65.4	54.6	56.1	49.3	39.6	15.0	0.4	4.6
亀戸	138	43.5	40.6	68.1	52.2	45.7	50.0	41.3	34.8	18.8	0.0	8.0
大島	139	44.6	28.8	66.9	56.1	45.3	54.0	35.3	27.3	8.6	0.0	9.4
砂町	175	38.9	29.7	62.3	54.9	46.3	54.9	32.6	33.1	16.6	0.6	9.7
南砂	95	44.2	47.4	74.7	58.9	46.3	67.4	29.5	28.4	14.7	1.1	5.3
居住地区不詳	14	42.9	35.7	71.4	50.0	42.9	78.6	64.3	42.9	28.6	0.0	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「非常用食料・水の準備」が1位となっている。女性では「携帯（簡易）トイレの備蓄」（63.5%）が2位であるが、男性（47.4%）の方は4位で、16.1ポイント低くなっている。
- ・年齢別にみると、男性はすべての年代で「非常用食料・水の準備」が1位となっている。一方女性では、20～29歳、35歳以上で「非常用食料・水の準備」が1位となっており、30～34歳では「携帯（簡易）トイレの備蓄」が1位となっている。

図表Ⅳ－173 自宅における防災対策の実施状況（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	家具などの転倒防止対策	消火器の使用 方法の確認	非常用 食料・ 水の準備	携帯 （簡易）トイレの 備蓄	非常用 電源 （発電機、電池、モバイルバッテリーなど）の確保	非常用 の持ち 出し袋 の準備	避難方法・避難所・避難場所の確認	家族間の連絡方法の共有	近所の人とのつきあい	その他	特に何もしていない
全体	498	43.8	37.1	69.3	47.4	47.6	51.6	39.2	36.1	15.5	0.6	8.8
18～19歳	8	50.0	25.0	75.0	50.0	50.0	62.5	37.5	62.5	12.5	0.0	12.5
20～24歳	13	38.5	23.1	53.8	38.5	30.8	46.2	23.1	38.5	15.4	0.0	15.4
25～29歳	22	50.0	27.3	68.2	27.3	40.9	31.8	31.8	36.4	13.6	0.0	13.6
30～34歳	23	26.1	17.4	73.9	56.5	60.9	47.8	43.5	34.8	13.0	0.0	8.7
35～39歳	33	27.3	18.2	69.7	42.4	60.6	51.5	30.3	33.3	0.0	0.0	3.0
40～44歳	47	36.2	25.5	66.0	55.3	53.2	44.7	25.5	19.1	10.6	0.0	8.5
45～49歳	49	46.9	28.6	71.4	49.0	55.1	46.9	38.8	34.7	10.2	0.0	8.2
50～54歳	47	36.2	40.4	68.1	53.2	46.8	46.8	42.6	31.9	14.9	0.0	8.5
55～59歳	53	54.7	41.5	77.4	54.7	47.2	71.7	45.3	39.6	18.9	0.0	7.5
60～64歳	46	37.0	39.1	60.9	43.5	45.7	47.8	41.3	30.4	19.6	2.2	13.0
65～69歳	37	43.2	45.9	70.3	51.4	48.6	59.5	35.1	24.3	13.5	0.0	10.8
70～74歳	41	53.7	48.8	70.7	36.6	51.2	56.1	53.7	46.3	22.0	0.0	7.3
75歳以上	78	52.6	52.6	69.2	44.9	33.3	51.3	41.0	48.7	23.1	2.6	7.7
年齢不詳	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	家具などの転倒防止対策	消火器の使用 方法の確認	非常用 食料・ 水の準備	携帯 （簡易）トイレの 備蓄	非常用 電源 （発電機、電池、モバイルバッテリーなど）の確保	非常用 の持ち 出し袋 の準備	避難方法・避難所・避難場所の確認	家族間の連絡方法の共有	近所の人とのつきあい	その他	特に何もしていない
全体	685	44.7	36.1	72.3	63.5	49.1	60.0	42.0	33.9	15.3	0.6	5.7
18～19歳	4	50.0	0.0	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0
20～24歳	18	38.9	16.7	61.1	44.4	50.0	50.0	38.9	38.9	16.7	0.0	11.1
25～29歳	45	31.1	4.4	55.6	37.8	42.2	46.7	28.9	24.4	4.4	2.2	17.8
30～34歳	49	32.7	10.2	57.1	61.2	57.1	57.1	32.7	24.5	2.0	0.0	8.2
35～39歳	44	45.5	34.1	75.0	75.0	61.4	61.4	38.6	31.8	15.9	0.0	6.8
40～44歳	64	25.0	28.1	73.4	67.2	51.6	57.8	40.6	35.9	15.6	1.6	9.4
45～49歳	79	44.3	38.0	72.2	67.1	46.8	59.5	49.4	21.5	11.4	0.0	7.6
50～54歳	84	48.8	44.0	76.2	66.7	54.8	64.3	47.6	38.1	11.9	0.0	4.8
55～59歳	64	46.9	42.2	76.6	71.9	60.9	59.4	34.4	31.3	9.4	1.6	3.1
60～64歳	45	53.3	55.6	84.4	66.7	44.4	60.0	53.3	42.2	15.6	0.0	0.0
65～69歳	48	52.1	50.0	70.8	68.8	54.2	68.8	50.0	39.6	27.1	0.0	0.0
70～74歳	47	51.1	40.4	72.3	66.0	40.4	66.0	55.3	42.6	29.8	0.0	0.0
75歳以上	93	54.8	45.2	78.5	57.0	32.3	60.2	33.3	39.8	23.7	1.1	4.3
年齢不詳	1	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

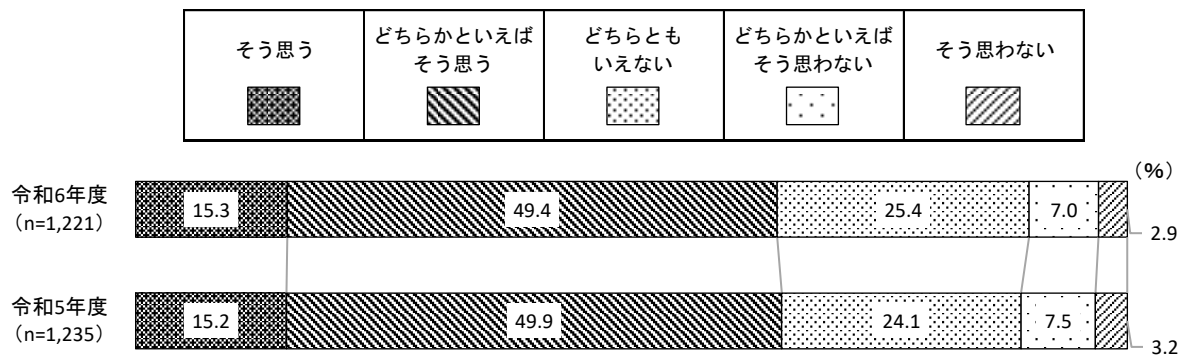
【犯罪のないまちづくり】

問57 あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

<全体／経年比較>

- ・「どちらかといえばそう思う」が49.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が25.4%となっている。
- ・「そう思う」(15.3%)と「どちらかといえばそう思う」(49.4%)を合わせた『そう思う(計)』の割合は64.7%となっている。
- ・前回調査と比較すると、大きな変化はみられない。

図表Ⅳ－174 江東区の治安の良さ



① 地区別

- ・地区別では、『そう思う(計)』の割合は、白河地区(75.4%)、小松橋地区(72.1%)、東陽地区(70.8%)、豊洲地区(69.4%)で全体を上回っている。

図表Ⅳ－175 江東区の治安の良さ(地区別)

		(%)				
	n	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わな い
全体	1,221	15.3	49.4	25.4	7.0	2.9
白河	126	23.8	51.6	20.6	4.0	0.0
小松橋	79	13.9	58.2	19.0	5.1	3.8
富岡	91	19.8	42.9	29.7	6.6	1.1
東陽	96	15.6	55.2	20.8	6.3	2.1
豊洲	278	18.7	50.7	23.4	5.0	2.2
亀戸	138	10.9	42.8	27.5	12.3	6.5
大島	135	14.1	50.4	22.2	9.6	3.7
砂町	170	8.2	50.6	31.8	5.3	4.1
南砂	94	10.6	42.6	34.0	10.6	2.1
居住地区不詳	14	21.4	42.9	21.4	14.3	0.0

② 性年齢別

- ・男女別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性（66.8％）の方が女性（63.3％）より3.5ポイント高くなっている。
- ・年齢別にみると、『そう思う（計）』の割合は、男性では18～34歳、40～49歳、65～69歳で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、30～34歳、40～44歳、50～59歳、70～74歳で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－176 江東区の治安の良さ（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	488	18.6	48.2	23.0	6.6	3.7
18～19歳	8	50.0	37.5	0.0	0.0	12.5
20～24歳	13	53.8	23.1	15.4	7.7	0.0
25～29歳	22	27.3	50.0	18.2	4.5	0.0
30～34歳	23	30.4	39.1	17.4	4.3	8.7
35～39歳	33	30.3	36.4	18.2	15.2	0.0
40～44歳	47	23.4	44.7	25.5	4.3	2.1
45～49歳	49	18.4	55.1	18.4	4.1	4.1
50～54歳	47	12.8	53.2	19.1	14.9	0.0
55～59歳	53	9.4	45.3	34.0	5.7	5.7
60～64歳	45	13.3	46.7	33.3	4.4	2.2
65～69歳	36	11.1	69.4	13.9	5.6	0.0
70～74歳	37	10.8	51.4	24.3	5.4	8.1
75歳以上	74	16.2	45.9	25.7	5.4	6.8
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

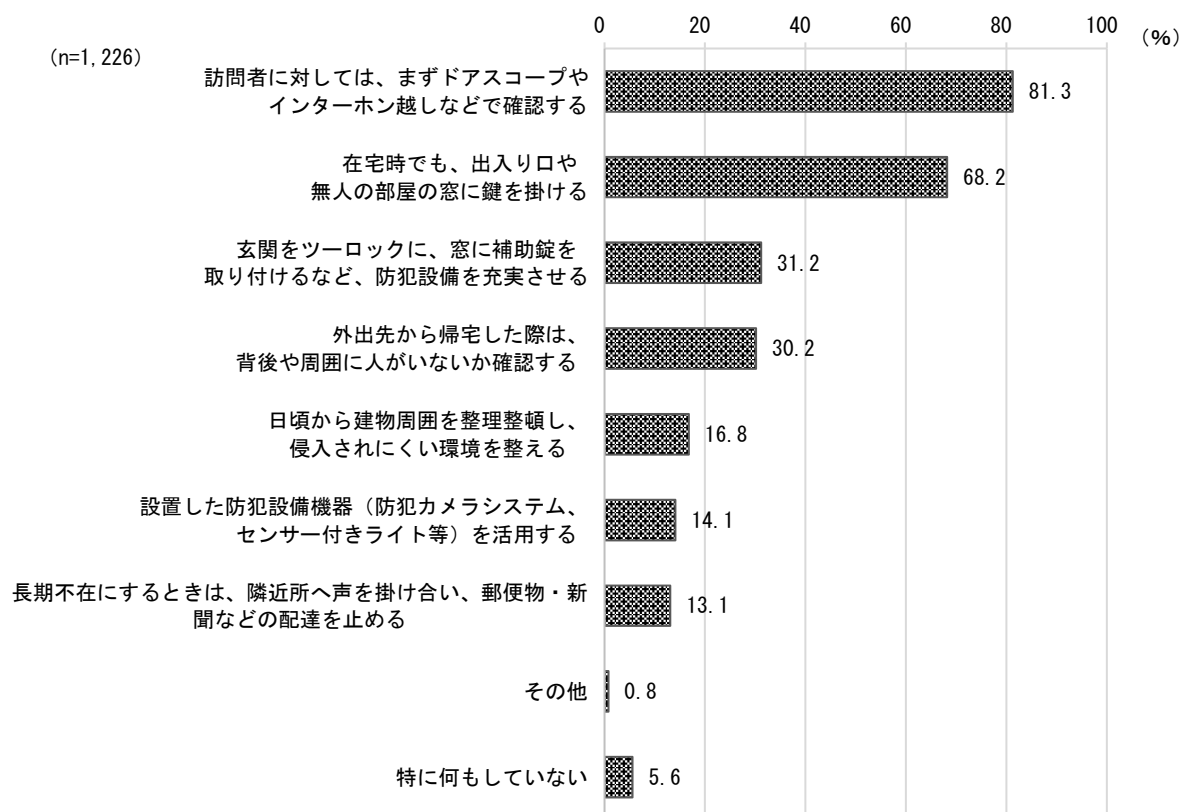
	n	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
全体	685	12.6	50.7	26.9	7.6	2.3
18～19歳	4	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
20～24歳	18	5.6	50.0	22.2	16.7	5.6
25～29歳	45	17.8	44.4	28.9	8.9	0.0
30～34歳	49	18.4	51.0	18.4	12.2	0.0
35～39歳	45	15.6	46.7	22.2	11.1	4.4
40～44歳	64	9.4	59.4	23.4	6.3	1.6
45～49歳	79	7.6	51.9	31.6	6.3	2.5
50～54歳	84	15.5	48.8	23.8	10.7	1.2
55～59歳	63	7.9	55.6	28.6	4.8	3.2
60～64歳	44	11.4	50.0	27.3	9.1	2.3
65～69歳	48	8.3	41.7	37.5	6.3	6.3
70～74歳	49	20.4	61.2	14.3	4.1	0.0
75歳以上	92	12.0	44.6	35.9	4.3	3.3
年齢不詳	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

問58 あなたは、日常生活で以下のような防犯対策をしていますか。あてはまるものを次の中から選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

<全体>

- ・「訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する」が81.3%で最も高く、次いで「在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける」（68.2%）となっている。

図表Ⅳ－177 自宅における防犯対策の実施状況



① 地区別

- ・地区別では、すべての地区で1位は「訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する」、2位は「在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける」となっている。

図表Ⅳ－178 自宅における防犯対策の実施状況（地区別）

(%)

	n	在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける	訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する	外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか確認する	日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整える	玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させる	設置した防犯設備機器（防犯カメラシステム、センサー付きライト等）を活用する	長期不在にするときは、隣近所へ声を掛け合い、郵便物・新聞などの配達を止める	その他	特に何もしていない
全体	1,226	68.2	81.3	30.2	16.8	31.2	14.1	13.1	0.8	5.6
白河	126	64.3	78.6	33.3	20.6	33.3	14.3	14.3	1.6	8.7
小松橋	79	62.0	84.8	22.8	17.7	39.2	16.5	13.9	0.0	7.6
富岡	92	70.7	76.1	35.9	14.1	30.4	16.3	9.8	0.0	5.4
東陽	96	67.7	76.0	27.1	10.4	32.3	16.7	11.5	0.0	7.3
豊洲	279	68.1	82.8	27.2	13.6	30.8	16.5	10.8	1.1	4.7
亀戸	139	72.7	84.2	33.8	25.2	36.7	15.8	15.1	0.0	4.3
大島	135	75.6	76.3	31.1	15.6	27.4	10.4	9.6	1.5	6.7
砂町	171	67.3	83.6	31.6	16.4	31.0	9.4	17.5	1.2	5.8
南砂	94	60.6	88.3	28.7	17.0	20.2	9.6	14.9	0.0	1.1
居住地区不詳	15	73.3	73.3	33.3	33.3	33.3	26.7	26.7	6.7	6.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、男女ともに「訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する」が1位となっているが、女性（84.6%）に対して、男性（77.0%）が7.6ポイント低くなっている。
- ・年齢別にみると、男性はすべての年代で「訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する」が1位となっている。一方女性は、25歳以上で「訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する」が1位となっており、18～19歳では「在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける」「外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか確認する」が、20～24歳では「在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける」がそれぞれ1位となっている。

図表Ⅳ－179 自宅における防犯対策の実施状況（性年齢別）

<男性>

(%)

	n	在宅時でも、出入口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける	訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する	外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか確認する	日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整える	玄関をツールロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させる	設置した防犯設備機器（防犯カメラシステム、センサー付きライト等）を活用する	長期不在にするときは、隣近所へ声を掛け合い、郵便物・新聞などの配達を止める	その他	特に何もしていない
全体	488	67.0	77.0	20.3	15.2	31.4	16.2	11.7	1.2	8.4
18～19歳	8	50.0	75.0	12.5	12.5	12.5	12.5	25.0	0.0	25.0
20～24歳	13	53.8	69.2	23.1	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	15.4
25～29歳	22	72.7	77.3	31.8	9.1	22.7	18.2	4.5	0.0	4.5
30～34歳	23	69.6	73.9	26.1	26.1	30.4	13.0	4.3	0.0	13.0
35～39歳	33	63.6	75.8	24.2	0.0	21.2	12.1	3.0	3.0	6.1
40～44歳	47	72.3	83.0	21.3	8.5	29.8	12.8	12.8	0.0	2.1
45～49歳	49	71.4	77.6	12.2	10.2	38.8	24.5	10.2	4.1	6.1
50～54歳	46	65.2	78.3	15.2	17.4	28.3	21.7	2.2	0.0	10.9
55～59歳	53	69.8	83.0	20.8	18.9	35.8	17.0	9.4	0.0	7.5
60～64歳	45	71.1	84.4	15.6	22.2	33.3	15.6	8.9	2.2	6.7
65～69歳	36	61.1	72.2	16.7	13.9	27.8	13.9	16.7	0.0	2.8
70～74歳	38	65.8	71.1	21.1	18.4	31.6	13.2	15.8	2.6	15.8
75歳以上	74	63.5	71.6	24.3	20.3	37.8	16.2	25.7	1.4	10.8
年齢不詳	1	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

<女性>

(%)

	n	在宅時でも、出入口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける	訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する	外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか確認する	日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整える	玄関をツールロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させる	設置した防犯設備機器（防犯カメラシステム、センサー付きライト等）を活用する	長期不在にするときは、隣近所へ声を掛け合い、郵便物・新聞などの配達を止める	その他	特に何もしていない
全体	688	68.5	84.6	36.0	17.2	31.7	12.4	13.7	0.4	4.1
18～19歳	4	50.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0
20～24歳	18	72.2	66.7	44.4	16.7	11.1	5.6	11.1	0.0	0.0
25～29歳	45	80.0	80.0	37.8	4.4	26.7	6.7	2.2	0.0	4.4
30～34歳	49	73.5	83.7	32.7	6.1	20.4	6.1	0.0	0.0	4.1
35～39歳	45	71.1	86.7	57.8	24.4	33.3	26.7	6.7	0.0	2.2
40～44歳	64	67.2	87.5	26.6	14.1	25.0	4.7	6.3	3.1	1.6
45～49歳	79	69.6	88.6	34.2	15.2	29.1	13.9	6.3	0.0	6.3
50～54歳	84	59.5	92.9	34.5	22.6	39.3	14.3	13.1	0.0	2.4
55～59歳	63	60.3	76.2	39.7	14.3	36.5	12.7	17.5	0.0	6.3
60～64歳	45	57.8	88.9	37.8	13.3	35.6	13.3	6.7	0.0	2.2
65～69歳	48	72.9	83.3	41.7	18.8	31.3	16.7	25.0	0.0	0.0
70～74歳	49	73.5	85.7	32.7	24.5	30.6	18.4	30.6	0.0	8.2
75歳以上	94	73.4	84.0	29.8	24.5	39.4	9.6	28.7	1.1	4.3
年齢不詳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問59 あなたは、消費者トラブルについて相談できる窓口（機関）を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

<全体>

- ・「知らない」が55.0%で、「知っている」（45.0%）を上回っている。

図表Ⅳ－180 消費者トラブルの相談窓口の認知度



① 地区別

- ・地区別では、「知っている」の割合は、豊洲地区（52.0%）、小松橋地区（48.1%）、白河地区（47.6%）で全体を上回っている。

図表Ⅳ－181 消費者トラブルの相談窓口を知っている割合（地区別）

（%）			
	n	知っている	知らない
全体	1,207	45.0	55.0
白河	126	47.6	52.4
小松橋	77	48.1	51.9
富岡	88	36.4	63.6
東陽	96	36.5	63.5
豊洲	275	52.0	48.0
亀戸	135	43.7	56.3
大島	133	39.1	60.9
砂町	169	43.8	56.2
南砂	94	44.7	55.3
居住地区不詳	14	64.3	35.7

② 性年齢別

- ・男女別にみると、「知っている」の割合に、特に大きな違いはみられない。
- ・年齢別にみると、「知っている」の割合は、男性では18～19歳、25～29歳、35～39歳、50歳以上で男性全体を上回っている。女性では18～19歳、55～75歳以上で女性全体を上回っている。

図表Ⅳ－182 消費者トラブルの相談窓を知っている割合（性年齢別）

＜男性＞		（％）	
	n	知っている	知らない
全体	482	44.4	55.6
18～19歳	8	50.0	50.0
20～24歳	13	38.5	61.5
25～29歳	22	50.0	50.0
30～34歳	23	34.8	65.2
35～39歳	33	45.5	54.5
40～44歳	46	23.9	76.1
45～49歳	48	35.4	64.6
50～54歳	47	51.1	48.9
55～59歳	53	49.1	50.9
60～64歳	45	48.9	51.1
65～69歳	36	52.8	47.2
70～74歳	36	50.0	50.0
75歳以上	71	46.5	53.5
年齢不詳	1	100.0	0.0

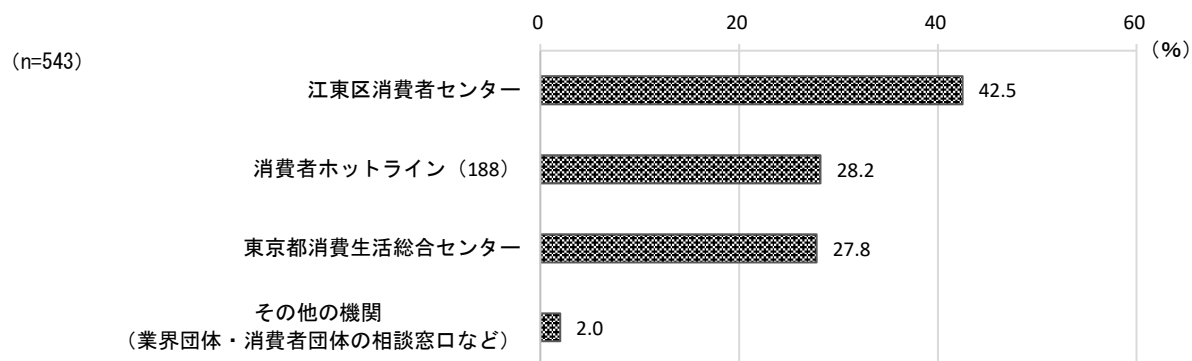
＜女性＞		（％）	
	n	知っている	知らない
全体	678	45.0	55.0
18～19歳	4	50.0	50.0
20～24歳	18	16.7	83.3
25～29歳	45	31.1	68.9
30～34歳	49	32.7	67.3
35～39歳	44	31.8	68.2
40～44歳	64	29.7	70.3
45～49歳	79	38.0	62.0
50～54歳	84	44.0	56.0
55～59歳	62	64.5	35.5
60～64歳	44	52.3	47.7
65～69歳	47	66.0	34.0
70～74歳	48	70.8	29.2
75歳以上	89	47.2	52.8
年齢不詳	1	0.0	100.0

問59－1 問59で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
 知っている窓口（機関）について、あてはまるものを次の中から選び○印をお
 つけください。（○はいくつでも）

<全体>

- ・知っていた通告先では、「江東区消費者センター」が42.5%で最も高く、次いで「消費者
 ホットライン（188）」（28.2%）となっている。

図表Ⅳ－183 消費者トラブルの各相談窓口の認知度



令和6年度 江東区長期計画区民アンケート

調査票

令和6年7月11日(木)までにご回答をお願いいたします

URL:

認証ID :

認証キー :

※パスワードは、計8文字になります。

二次元コード

ご回答にあたってのお願い

- 封筒のあて名のご本人さまがご回答してください。
ただし、あて名のご本人さまが記入・入力困難な場合、ご家族の方がご本人さまの考えを尊重してご回答いただいても構いません。
- 調査項目は全部で**59**問になります。問1より順番に回答してください。
- 質問によっては、あてはまる答えの番号を1つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがございます。お手数ですが質問を確認のうえ番号に○をおつけください。
- 回答は《**オンライン**》または《**郵送**》のいずれかの方法で行うことができます。

〔本アンケートに関する問い合わせ先〕

担当：江東区 政策経営部 企画課 企画担当

電話：03-3647-9168 / Eメール：kikaku@city.koto.lg.jp



江東区観光キャラクター
コトモチちゃん

I. はじめに、あなたご自身についておうかがいします。

F 1 から F 6 まで、それぞれあなたにあてはまる番号に○をつけてください。

F1. 性 別	1. 男 性	2. 女 性	3. その他	4. 回答しない
F2. 年 齢	1. 18～19 歳 5. 35～39 歳 9. 55～59 歳 13. 75 歳以上	2. 20～24 歳 6. 40～44 歳 10. 60～64 歳	3. 25～29 歳 7. 45～49 歳 11. 65～69 歳	4. 30～34 歳 8. 50～54 歳 12. 70～74 歳
F3. ご職業	1. 会社員・団体職員 2. 商工自営業 3. 公務員 4. 会社役員・団体役員 5. パート・アルバイト 6. 学生 7. 無職（専業主婦・主夫含む） 8. その他（ ）			
F4. ご自宅 （居 住 地 区）	地区名		該当する町丁名	
	1. 白河		清澄、常盤、新大橋、森下、平野、三好、白河、高橋	
	2. 小松橋		千石、石島、千田、海辺、扇橋、猿江、住吉、毛利	
	3. 富岡		佐賀、永代、福住、深川、冬木、門前仲町、富岡、牡丹、古石場、越中島	
	4. 東陽		木場、東陽、南砂 2 丁目（1 番 1 号～5 号・5 番～7 番）、新砂 1 丁目 1 番、海の森	
	5. 豊洲（西）		豊洲、東雲、有明、青海	
	6. 豊洲（東）		塩浜、枝川、辰巳、潮見	
	7. 亀戸		亀戸	
	8. 大島		大島	
	9. 砂町		北砂、南砂 1 丁目・5 丁目、南砂 2 丁目（24 番～34 番）、東砂 1 丁目～5 丁目	
10. 南砂		東砂 6 丁目～8 丁目、南砂 2 丁目（1 番 1 号～5 号・5 番～7 番・24 番～34 番を除く）、南砂 3・4・6・7 丁目、新砂 1 丁目（1 番を除く）、新砂 2・3 丁目、新木場、夢の島、若洲		
F5. 世帯の構成	1. ひとり暮らし 2. 夫婦だけ 3. 二世帯世帯（あなたの世代と親） 4. 二世帯世帯（あなたの世代とこども） 5. 三世帯世帯 6. その他（ ）			
	F5-1 右記に該当する家族が同居されている場合は、あてはまる番号に○をつけてください		1. 同居している家族に中学校卒業前のこどもがいる 2. 同居している家族に 65 歳以上の高齢者がいる 3. どちらとも同居していない （65 歳以上のひとり暮らしの方を含む）	
F6. 住宅の形態	1. 一戸建持ち家 2. 分譲マンション（公団・公社*含む） 3. 一戸建借家 4. 賃貸マンション（公団・公社*含む） 5. 賃貸アパート 6. 社宅・公務員宿舎・社員寮など 7. 同居・間借り・住み込み 8. その他（ ）			

* 公団とは「UR都市機構（旧日本住宅公団、住宅・都市整備公団、都市基盤整備公団）」、公社とは「東京都住宅供給公社」を指します。

【地球温暖化対策と環境保全】

問5 あなたは、以下のような環境に配慮した行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

1. 環境を意識した行動を日常生活の中で行っている
2. 外出時や通勤時になるべく公共交通機関（電車・バス）や自転車・徒歩を利用している
3. 節電、節水などの省資源・省エネルギーを進めている
4. 電気製品を買う際は、省エネ性を考えて選ぶようにしている
5. 使い捨て製品の使用を避け、繰り返し使用できる製品や詰め替え製品を購入している
6. フリマサイト・アプリやリサイクルショップなどを活用している
7. ごみの分別（燃やすごみ、燃やさないごみ など）をしている
8. びん、缶、ペットボトルなど、リサイクル可能なものはリサイクルに出している
9. 買い物にはマイバッグを持参している
10. 環境問題（地球温暖化や脱プラスチック等）に関心を持ち、日頃からニュース等で情報を得ている
11. 地域の緑化やごみ拾いなど環境を守る地域活動に参加している
12. 特に何もしていない

【持続可能な資源循環型地域社会の形成】

問6 あなたは、以下のようなごみを減らすための行動に取り組んでいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

1. 買物袋を持参するなどして、できるだけ包装を断っている
2. 食べ残しがないように、必要な分だけ購入したり、食べる分だけ調理するなど、食品ロスを減らす取り組みを行っている
3. 使い捨て商品を使わないようにして、詰め替え製品やリターナブルびんを利用している
4. 町会や自治会などで行っている集団回収や区の行っている資源回収に出している
5. 家具や電気製品は修理してできるだけ長く使っている
6. 生ごみは水切りしたり、生ごみ処理機やコンポストを利用して堆肥化したりしている
7. スーパーなどの店頭回収やバザー・フリーマーケットなどを利用して、地域のリサイクル活動に協力している
8. ごみを再資源化するため、ごみの分別に取り組んでいる
9. その他（具体的に： _____）
10. 特に何もしていない

【みんなで取り組む子育て家庭への支援】

問7 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

あなたは、地域に見守られて子育てしていると感じますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう感じる

2. どちらかといえばそう感じる

3. どちらかといえばそう感じない

4. そう感じない

5. わからない

問7-1 問7で「3. どちらかといえばそう感じない」「4. そう感じない」を選んだ方におたずねします。

地域に見守られて子育てしていると感じない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

1. 近所付き合い等、地域での接点がない

2. 実体験がないなど、具体的に思い当たらない

3. 子育て支援に関する情報やサービスが不足していたり、利用しにくい

4. 子育てやこどもに対する職場や地域の理解、配慮が乏しい

5. 防犯等、安全面での不安がある

6. その他(具体的に：

)

問8 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

あなたは、必要な子育て情報を入手しやすいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. そう思う

2. どちらかといえばそう思う

3. どちらかといえばそう思わない

4. そう思わない

5. わからない

問8-1 問8で「3. どちらかといえばそう思わない」「4. そう思わない」を選んだ方におたずねします。

必要な子育て情報を入手しやすいと思わない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

1. 必要な情報が受動的だと届かない

2. 区の情報がわかりにくい

3. 区の情報発信が不足している

4. 情報の入手方法がわからない

5. 情報を入手していない

6. その他(具体的に：

)

問9 こどものしつけと体罰の考え方についてうかがいます。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. しつけであっても体罰はすべきではない
2. しつけのためなら、ある程度の体罰もやむを得ない
3. しつけのためなら、体罰は必要である
4. わからない

問10 あなたは、児童虐待を疑ったときの通告先について知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. 知っている

2. 知らない → 問10へ

問10-1 問10で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
知っている通告先を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○はいくつでも)

1. 江東区こどもの虐待ホットライン
【3646-5481 (サブロウシロウ ゴヨウハイチバン：南砂こども家庭支援センター)】
2. 養育支援課養育支援係
【3647-4408】
3. 児童相談所全国共通ダイヤル
【189 (イチハヤク)】
4. 最寄りの警察署
【110 番】
5. その他 (具体的に：)

【一人一人に向き合う学校教育の充実】

問11 中学生以下のお子さんがいる保護者の方におたずねします。
江東区では、児童・生徒一人一人に向き合った教育を推進していると思いますか。
あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【こどもが安全に過ごせる居場所・環境づくり】

問12 あなたは、こどもが安全・安心に過ごせる居場所があると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえばそう感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう感じない |
| 5. そう感じない | 6. わからない |

問 13 あなたは、行政や地域の活動（こども 110 番の家、地域でのパトロールなど）が、こどもたちを犯罪や事故から守る地域環境づくりに役立っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は 1 つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【次代を担う青少年の健全育成の推進】

問 14 江東区は、青少年への支援や相談窓口の定着・充実など、青少年が健全に育つ環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は 1 つ）

【青少年への支援や相談の取組例】

青少年交流プラザの運営、ジュニアリーダーの養成、青少年相談、地域の青少年向け事業

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 15 あなたは、この 1 年間にサークルや趣味を目的として、区公共施設を利用または地域などの活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は 1 つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 16 あなたは、SNS やスマートフォン等の安全な利用方法やルール、マナーについて学んだことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は 1 つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

【魅力的で活力ある区内産業・商店街の形成】

問 17 あなたは、区内の企業やお店が元気に活動していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は 1 つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 18 あなたは、魅力のある商店街やお店が区内にあると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は 1 つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

【人・地域をつなぐ地域コミュニティの活性化】

問 19 町会・自治会、NP0、ボランティアなどが日頃より様々な地域活動を主催しています。この一年間、あなたはこれらの地域活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. よく参加している |
| 2. ときどき参加している |
| 3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない |
| 4. まったく参加したことはない |

問 19-1 問 19 で「3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない」「4. まったく参加したことはない」を選んだ方におたずねします。
地域活動へ参加したいと思いますか。あてはまるものを選び、○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問 20 江東区には、気軽に利用できる地域活動施設があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

【地域活動施設の例】

区民館、地区集会所、文化センター、スポーツセンター、児童館、福祉会館

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 21 あなたは、この1年間に地域イベントに参加しましたか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

【地域イベントの例】

江東花火大会、江東区民まつり、国際交流のつどい

- | | |
|---------|------------|
| 1. 参加した | 2. 参加していない |
|---------|------------|

【多様性を認め合う（ダイバーシティ）社会の実現】

問 22 江東区は、多様性を認め合い、誰もが尊重され、暮らしやすいまちであると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

「多様性」とは、年齢、性別、国籍、障害の有無、価値観、生き方など様々な違いのことをいう。

問 23 あなたは、問 22 の多様性について、自分にも関わりがあると感じていますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえばそう感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう感じない |
| 5. そう感じない | |

問 24 あなたは現在、仕事、家庭生活（家事・子育て・介護・家族との交流）、地域・個人の生活（地域活動・趣味・学習・休養）を自分が希望するバランスで実現することが出来ていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 25 あなたは、「ドメスティックバイオレンス（DV=配偶者等からの暴力）」について相談できる窓口を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|----------|------------------|
| 1. 知っている | 2. 知らない → 問 25 へ |
|----------|------------------|

問 25-1 問 25 で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。

相談できると知っていた窓口（機関）を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 江東区女性のなやみと DV ホットライン（配偶者暴力相談支援センター） |
| 2. 江東区生活応援課 |
| 3. 警察署 |
| 4. 警視庁総合相談センター |
| 5. 東京都女性相談センター |
| 6. 東京ウィメンズプラザ |
| 7. その他（具体的に： _____） |

※DV 相談に関する業務は、令和 6 年 4 月より福祉事務所（保護第一課、保護第二課）から江東区生活応援課へ移管しています。

【生涯にわたり学習できる環境の充実】

問 26 あなたは、以下のような学習講座や地域の集まりなどに参加していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

【学習講座や地域の集まりの例】

- ①趣味（野球、サッカー、ウォーキング、ピアノ、ヨガなど）、②教養（英会話など）、
③芸術、④文化、⑤教室（料理など）

- | |
|-----------------------------|
| 1. よく参加している |
| 2. ときどき参加している |
| 3. 参加したことはあるが、今はほとんど参加していない |
| 4. まったく参加したことはない |

問 27 あなたは、学習や講座などを通じて得られた新たな学びを、地域活動や仕事、趣味などに活かしたいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問 28 あなたは、図書館が学びの場として役に立っていると感じていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえば感じる |
| 3. どちらかといえば感じない | 4. そう感じない |
| 5. わからない | |

【スポーツを楽しめる環境の充実】

問 29 あなたは、この1年間にどれくらいの頻度でスポーツ・運動を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 週3日以上（年151日以上） |
| 2. 週2日程度（年101日～150日） |
| 3. 週1日程度（年51日～100日） |
| 4. 月に1～3日程度（年12日～50日） |
| 5. 3か月に1～2日程度（年4日～11日） |
| 6. 年に1～3日程度 |
| 7. スポーツ・運動をしたが、頻度はわからない |
| 8. スポーツ・運動を全くしなかった |

※「スポーツ・運動」には、散歩や体操などの体を動かすことを意識して行う運動も含む。

【文化・歴史の継承と観光振興】

問 30 あなたは、江東区内に魅力的な文化観光資源があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|-------------------|
| 1. そう思う |
| 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない |
| 4. そう思わない |
| 5. わからない |

「3.」「4.」「5.」を選んだ方は問 30 へお進みください

問 30-1 問 30 で「1. そう思う」「2. どちらかといえばそう思う」を選んだ方におたずねします。

あなたにとって魅力的だと思う観光資源を次の中から、あてはまるものを選び○印をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 神社仏閣・文化財・史跡 |
| 2. 郷土料理（深川めし）やご当地グルメなどの食文化 |
| 3. 江戸切子、木場の角乗などの伝統工芸・民俗芸能 |
| 4. 祭り・イベント |
| 5. キッザニア東京、チームラボ、スモールワールドズ TOKYO などの娯楽施設 |
| 6. 東京都現代美術館、日本科学未来館、深川江戸資料館などの美術館・科学館・博物館・資料館 |
| 7. オリンピック・パラリンピック開催競技場などのスポーツ施設 |
| 8. キャンプ・バーベキューなどアウトドアが体験できる公園・施設 |
| 9. 河川運河、東京湾、遊歩道、親水公園などの水辺環境 |
| 10. ゲートブリッジ、永代橋、夢の大橋などの橋 |
| 11. 豊洲市場及び関連施設 |
| 12. その他（具体的に： |

問 31 あなたは、江東区には未来に引き継ぎたい文化財、民俗芸能や伝統技能があると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

【民俗芸能・伝統芸能の例】

江戸切子、船大工、木工（建具・彫刻）、染色（無地染・更紗染）、木場の角乗、木場の木遣、深川の力持、砂村囃子（すなむらばやし）、富岡八幡の手古舞

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【切れ目のない支援による母子保健の充実】

問 32 中学生以下のお子さんがある保護者の方におたずねします。

江東区は健診、各種相談事業、産前・産後支援等の母子保健サービスが充実していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【健康づくりの推進と保健・医療体制の充実】

問 33 あなたは、ご自身が健康であると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 34 あなたは、悩みを抱えた時やストレスを感じた時、誰かに支援を求めることにためらいを感じますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう感じる | 2. どちらかといえばそう感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう感じない |
| 5. そう感じない | |

問 35 あなたは、この1年間で何らかのがん検診を受けましたか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 区のがん検診 | 2. 職場のがん検診 |
| 3. 人間ドックなどのがん検診 | 4. その他(具体的に:) |
| 5. がん検診は受けていない | |

問 36 あなたは、①かかりつけ医・②かかりつけ歯科医・③かかりつけ薬局をもっていますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

①かかりつけ医	1. もっている	2. もっていない
②かかりつけ歯科医	1. もっている	2. もっていない
③かかりつけ薬局	1. もっている	2. もっていない

問 37 あなたは、普段の体調不良時や休日・夜間の急病時などに、身近で必要とする医療を受けられると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

【感染症対策と生活衛生の確保】

問 38 あなたは、感染症予防や食中毒予防のために「①手洗い」「②咳エチケット」を励行していますか。それぞれについて、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つずつ)

※咳エチケットとは：咳やくしゃみをするときにマスクをつけたり、ティッシュで口と鼻を覆う等、周りの人に感染させないように配慮すること

①手洗い	1. 行っている	2. 行っていない
②咳エチケット	1. 行っている	2. 行っていない

【高齢者支援と活躍の推進】

問 39 65 歳以上の方におたずねします。

あなたは現在、生きがいや幸せを感じる生活を送ることができていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 40 65 歳以上の方におたずねします。

あなたは、ボランティアなどの地域活動や就労を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | |
|--------------|
| 1. 就労をしている |
| 2. 地域活動をしている |
| 3. 何もしていない |

問 40-1 問 40 で「2. 地域活動をしている」を選んだ方におたずねします。

具体的な活動内容について、あてはまるものを選び○印をおつけください。
(○はいくつでも)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ボランティア活動 | 2. 町会・自治会活動 |
| 3. 老人クラブ | 4. 趣味の活動 |
| 5. その他の活動 | |

問 40-2 問 40 で「3. 何もしていない」を選んだ方におたずねします。

地域活動や就労を行っていない理由について、あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|--------------------------------|
| 1. 関心がない |
| 2. 関心はあるがどのような活動先や勤め先があるかわからない |
| 3. ひとりでは地域活動や勤めることが不安 |
| 4. 参加したい活動先や勤め先はあるが通いづらい |
| 5. 家族や健康上の理由から活動や就労ができない |
| 6. その他（具体的に： _____） |

問 41 地域包括支援センター（長寿サポートセンター）では、保健師（看護師）、社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職が互いに連携しながら高齢者の方が住み慣れた地域で暮らしていけるよう支援しています。あなたは、その活動内容を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 内容を知っている | 2. ある程度の内容は知っている |
| 3. 内容は知らないが、聞いたことはある | 4. 知らない |

問 42 65 歳以上の方におたずねします。

あなたは、以下のような介護予防活動に取り組んでいますか。あてはまるものすべてに○印をおつけください。（○はいくつでも）

- | |
|---------------------------------|
| 1. 適度な運動をする |
| 2. バランスの取れた食事をとる |
| 3. 定期的に歯科検診を受診している |
| 4. 嚥下機能向上のため、口の体操をしている |
| 5. 趣味のサークルやボランティアなどのコミュニティに参加する |
| 6. その他（具体的に： _____） |
| 7. 特に何もしていない |

【障害者支援と共生社会の実現】

問 43 あなたは、まちで障害者が困っているときに声をかけたことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問 44 江東区は、障害者が地域活動やスポーツ、趣味、イベント等の社会活動に参加しやすい環境が整っていると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。（○は1つ）

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

【地域福祉と生活支援の充実（次代を担う青少年の健全育成の推進）】

問 45 日々の暮らしの中で、悩みや困りごとなど、生活の相談をすることが出来る相手があなたの身近にいますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|--------------|
| 1. いる |
| 2. いない |
| 3. どちらともいえない |

問 45-1 問 45 で「1. いる」と答えた方におたずねします。
相談する相手は、どのような方ですか。(○はいくつでも)

1. 同居している家族
2. 親族
3. 友人
4. 区役所や施設など相談機関の職員
5. その他（具体的に：_____）

→ 問 45-2 問 45 で「2. いらない」と答えた方におたずねします。
あなたが相談相手がいなくて感じている理由について、最もあてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. 悩みや困りごとを他人に話したくないから
2. 相談すると相手の負担になるから
3. 誰に相談すればいいかわからないから
4. 相談するまでの悩みや困りごとがないから
5. その他（具体的に： ）

問 46 あなたは、民生・児童委員や社会福祉協議会等、地域の中で困りごとを相談できる先を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

1. 知っている
2. 知らない

問 46-1 問 46 で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
 知っている相談先を次の中から、あてはまるものを選び○印をおつけください。
 (○はいくつでも)

1. 民生・児童委員
2. 社会福祉協議会
3. その他（具体的に： ）

【計画的なまちづくりの推進】

問 47 江東区は、地域の特色を活かしたまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 48 あなたは、江東区のまち並みについて美しいと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問 49 江東区では、ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

【ユニバーサルデザインの例】

バリアフリースイレ、駅のホームドア、スロープ化（段差解消）、視覚障害者誘導用ブロック（通称・点字ブロック）、ノンステップバス

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

「ユニバーサルデザイン」とは、万人のための設計思想であり、年齢、性別、国籍、個人の能力に関わらず、できるだけ多くの人々が自立して安全、快適、安心に暮らせる生活環境をデザインすることをいう。

【良好な住宅の形成と住環境の向上】

問 50 あなたは、今お住まいの住環境について満足していますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. 不満である | |

【便利で安全な道路・交通ネットワークの整備】

問 51 あなたは、江東区内を便利で快適に移動できると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 52 江東区では、交通ルールが定着していると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

【災害に強い都市の形成】

問 53 江東区は、災害に強いまちづくりが進んでいると思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | 6. わからない |

問 54 あなたは、江東区洪水ハザードマップを見たことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1. 見たことがあり、自宅周辺の状況も把握している |
| 2. 見たことはあるが、自宅周辺の状況はわからない |
| 3. 見たことはない |
| 4. あることも知らない |

【地域防災力の強化】

問 55 あなたは、防災訓練などの防災活動に参加したことがありますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | |
|------------------|
| 1. 過去1年以内に参加した |
| 2. 過去3年以内に参加した |
| 3. これまでに1度以上参加した |
| 4. 参加したことがない |

問 56 あなたの家庭では、以下のような防災対策を行っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------|
| 1. 家具などの転倒防止対策 |
| 2. 消火器の使用方法的確認 |
| 3. 非常用食料・水の準備 |
| 4. 携帯(簡易)トイレの備蓄 |
| 5. 非常用電源(発電機、電池、モバイルバッテリーなど)の確保 |
| 6. 非常用の持ち出し袋の準備 |
| 7. 避難方法・避難所・避難場所の確認 |
| 8. 家族間の連絡方法の共有 |
| 9. 近所の人とのつきあい |
| 10. その他(具体的に:) |
| 11. 特に何もしていない |

【犯罪のないまちづくり】

問 57 あなたは、江東区内の治安は良いと思いますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう思わない |
| 5. そう思わない | |

問 58 あなたは、日常生活で防犯対策をしていますか。あてはまるものを次の中から選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 在宅時でも、出入り口や無人の部屋の窓に鍵を掛ける |
| 2. 訪問者に対しては、まずドアスコープやインターホン越しなどで確認する |
| 3. 外出先から帰宅した際は、背後や周囲に人がいないか確認する |
| 4. 日頃から建物周囲を整理整頓し、侵入されにくい環境を整える |
| 5. 玄関をツーロックに、窓に補助錠を取り付けるなど、防犯設備を充実させる |
| 6. 設置した防犯設備機器（防犯カメラシステム、センサー付きライト等）を活用する |
| 7. 長期不在にするときは、隣近所へ声を掛け合い、郵便物・新聞などの配達を止める |
| 8. その他（具体的に： _____） |
| 9. 特に何もしていない |

問 59 あなたは、消費者トラブルについて相談できる窓口（機関）を知っていますか。あてはまるものを選び○印をおつけください。(○は1つ)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 59-1 問 59 で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。
知っている窓口（機関）について、あてはまるものを次の中から選び○印をおつけください。(○はいくつでも)

- | |
|------------------------------|
| 1. 江東区消費者センター |
| 2. 消費者ホットライン（188） |
| 3. 東京都消費生活総合センター |
| 4. その他の機関（業界団体・消費者団体の相談窓口など） |

以上でアンケート調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

以下のいずれかの方法で、**令和 6 年7月11日(木)までに**、返信してください。

- ☐ 郵送によりご回答いただける場合
同封した返信用封筒に入れて、郵便ポストにご投函ください（切手不要）。
返信用封筒にご住所やお名前を記載する必要はございません。
- ☐ オンラインによりご回答いただける場合
別紙「**区民アンケートのお願い**」に記載されている方法で回答ページにアクセス
のうえ、手順に沿って回答してください。

令和6年度 江東区長期計画区民アンケート調査報告書

令和7年3月 印刷物登録番号（6）110号

編集発行

江東区政策経営部企画課

東京都江東区東陽4-11-28

電話 03（3647）9111（大代表）